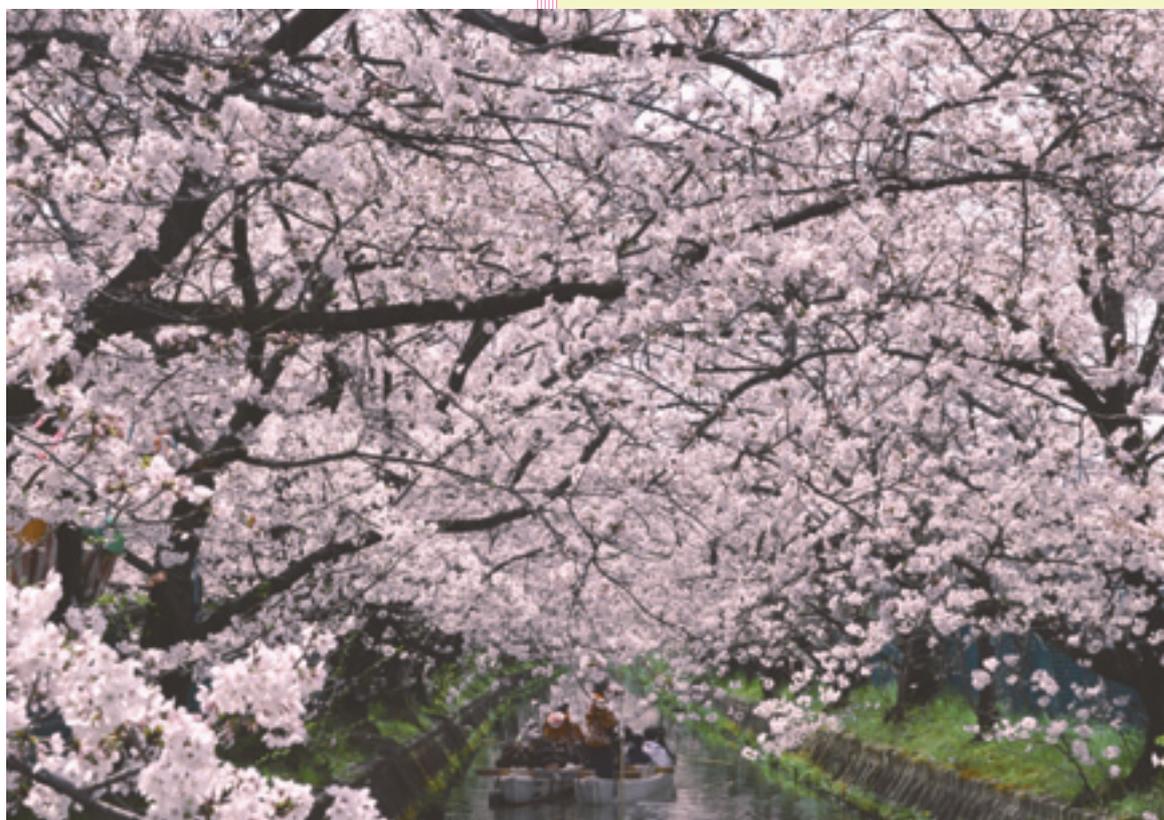


# 門真市幸福度指標について

概要版



平成 27 年 3 月

門真市



## 幸せを実感できるまちへ

これまでの豊かさの物差しは、主として物質的・経済的な尺度から測られてきましたが、急激な少子高齢化とともに、人口減少社会に突入し、成熟社会となり縮小社会へと向かっている現在では、経済成長追求型の発展とは異なる豊かさ、幸せの尺度、あり方を模索する動きが国や国際社会を中心に、地方自治体においても始まってきました。

このような中、本市におきましても、市民の皆様が実感として幸せを感じていただくことが重要であると考え、平成25年度に幸福度指標に関する研究会を立ち上げ、平成26年度には、市民の皆様、学識の皆様とともに、幸福度指標の策定に取り組んでまいりました。

幸福度指標の策定にあたっては、まだまだ先進事例が少なく、また、学術的にも研究途上にあることから、「幸福」という抽象的で非常に主観的な概念を指標化していくことは、極めて難しい作業ではありましたが、貴重なデータや課題が得られるなど、大きな成果があったと考えております。

市役所の仕事は、市民の皆様の幸福感の向上を実現させることに他ならないものであり、この成果を様々な場面で活かしていきたいと思っております。

今回、策定いたしました幸福度指標の取扱いについては、第5次総合計画（改定版）の中で、評価のツールとなる指標に幸福度指標を取り込むことで、より一層、PDCAサイクルを活かし、重点的に取り組むべき施策への反映に努め、本市にとって、向上させるべき幸福感に結びつく施策とはどのようなものなのかを、試行錯誤しながらになるかとは思いますが、検討しながら、本市の目指すべき将来像である「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちの実現を目指してまいります。

最後になりましたが、策定にあたりまして、貴重なご意見・ご提言をいただきました幸福度指標策定委員会をはじめ、市民の幸福度に関するアンケート調査にご協力いただきました市民の皆様方に心より感謝を申し上げますとともに、今後も本市の「幸福度の向上」に向けた取組に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月 門真市長 園部 一成



## 門真市幸福度指標策定にあたって

現在、世界的に「持続可能性」や「幸福度」に対する関心が広がっています。幸福というと、これまでは所得や資産の多さなど、経済的な要素が基準になるとされてきたのですが、そういった要素だけで成り立つものではないということが言われるようになってきました。環境（アメニティ）のよさ、安全・安心、生活の質、人々とのつながり（社会関係資本）といった、非経済的要素が人々の幸福度に影響している可能性があります。

門真市幸福度指標策定委員会では、このような問題意識を背景に、門真市が基礎自治体として市民の幸福度の向上に向けてどのようなことができるのか、という観点から、門真市幸福度指標の検討を進め、本報告書に掲載のとおり、「概念指標」と「モニタリング指標」からなる指標体系をまとめました。基礎自治体として、このような理論的・体系的な形で幸福度指標を策定したことは、全国的に見ても先駆的な事例であると思います。

指標の策定にあたって実施したアンケート調査や、市民・学識経験者・市職員が委員となった策定委員会の議論を通じて、幸福度の向上に向けて、孤立しがちな人々に焦点を当て、地域のつながりを作っていくことの大切さが示唆されました。そして、具体的な取組としては、中学校区単位での地域会議など、門真市ですでに動き出している政策を更に推進していくことが、幸福度の向上につながっていく可能性があります。その際、市民と行政、ボランティア団体等、地域の様々な主体が一体となって、協働で進めていくことが大切です。

今回策定された門真市幸福度指標を門真市政において十分に活用し、市民の幸福度の向上に向けた取組を一層進められることを期待します。

門真市幸福度指標策定委員会 委員長  
京都大学大学院 経済学研究科 教授  
諸 富 徹



# 《 目 次 》

幸せを実感できるまちへ

門真市幸福度指標策定にあたって

はじめに .....	1
1.    これまでの検討経緯 .....	1
2.    今年度の検討経過 .....	1
<b>I.    幸福度指標とは .....</b>	<b>2</b>
1.    幸福度指標の考え方 .....	2
2.    門真市幸福度指標策定の考え方 .....	6
<b>II.   アンケート調査結果 .....</b>	<b>9</b>
1.    調査の方法と回収結果 .....	9
2.    回答者の属性 .....	9
3.    幸福度について .....	10
4.    総合計画体系ごとの分析 .....	14
5.    構成要素ごとの幸福度の比較 .....	52
6.    幸福度の向上に向けて市役所が取り組むべきこと .....	53
<b>III.  門真市幸福度指標 .....</b>	<b>54</b>
<b>IV.  門真市幸福度指標の策定とそれに係る調査の意義 .....</b>	<b>58</b>
1.    これまでの施策評価では評価されにくかった施策への注目 .....	58
2.    政策の対象となりにくかった属性への注目 .....	58
<b>資料編 .....</b>	<b>59</b>
門真市幸福度指標策定委員会諮問 .....	60
門真市幸福度指標策定委員会答申 .....	61
門真市幸福度指標策定経過 .....	65
門真市附属機関に関する条例（抜粋） .....	67
門真市附属機関に関する条例施行規則（抜粋） .....	68
門真市幸福度指標策定委員会委員名簿 .....	70



# はじめに

## 1. これまでの検討経緯

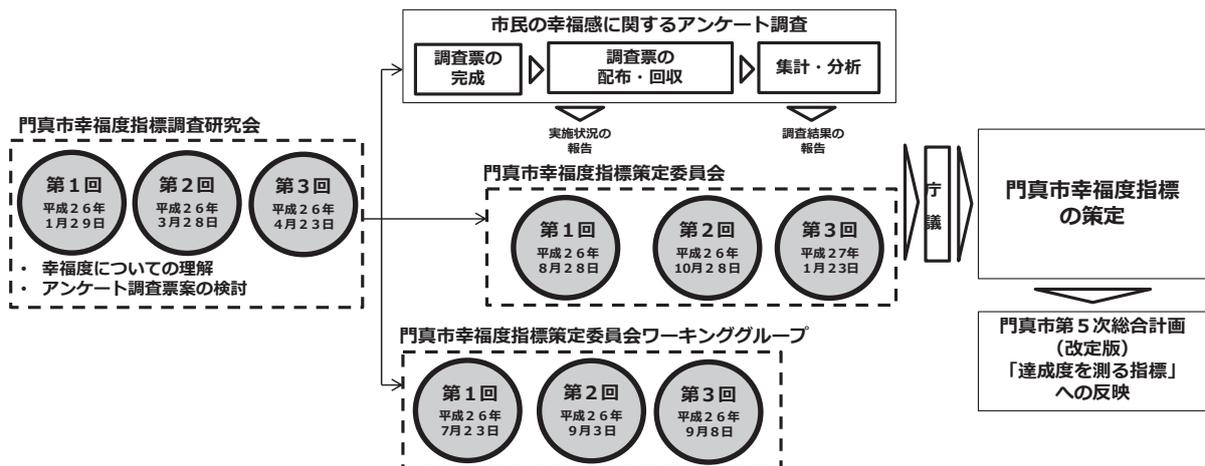
本市では、平成25年度に「門真市幸福度指標調査研究会」を設け、平成26年1月、3月、4月の3回にわたって研究会を開催し、学識経験者を招いて幸福度の考え方について理解を深めた。それとともに、本市民の幸福度をどのように把握すればよいか、その背景となる情報をどのように得ていけばよいか、という観点で、アンケート調査票の検討を進め、その設計図と調査票の案について議論・研究を行った。

## 2. 今年度の検討経過

平成26年度は、幸福度の具体的な把握と、それを背景とした門真市幸福度指標の策定に向けた取組を行った。具体的には、まず、4月に第3回の研究会を開催し、アンケート調査票の内容について取りまとめた後、「市民の幸福感に関するアンケート調査」として平成26年5月22日～平成26年6月13日にかけて、市民2,500人を対象に実施し、市民の幸福度の実態と、その背景となる要素や関連する具体的な行動、意識などを把握した。また、研究会を発展させる形で、市民・学識経験者・市幹部職員からなる「門真市幸福度指標策定委員会」を設け、そのもとに「門真市幸福度指標策定委員会ワーキンググループ」を設置し、アンケート調査の結果を踏まえながら、「概念指標」と「モニタリング指標」から成る「門真市幸福度指標」の体系案を取りまとめた。

さらに、設定した指標について、同時期に改定を行っていた「門真市第5次総合計画」の「達成度を測る指標」の中に位置付け、総合計画に基づく市の具体的な取組と関連付けを行った。(図表0-1)

図表 0-1 門真市幸福度指標策定の経緯



# I. 幸福度指標とは

## 1. 幸福度指標の考え方

### (1) 幸福度指標を検討する背景

現代社会においては、日々の食事や衛生環境、自由な経済活動など、豊かな生活を送る上で必要な物質的、制度的環境の整備が進んだ。一方で、世帯の核家族化、さらには単身世帯の増加によって、社会的なつながりが希薄になり、孤独感・孤立感などから「生きづらさ」を抱える人が少なくない。また、国際機関などを中心に、経済成長追求型の発展とは異なる社会の発展のあり方を模索する動き、GDPにかわる社会の豊かさや発展の尺度を模索する動きが出てきている。

このような状況下において、多様化する住民ニーズに対して、財政状況が厳しい地方自治体が「あれもこれも」と応えていくのは難しい。一方で、全体のニーズの量だけで取組の優先順位を判断すると、本当に支援が必要な人々のニーズが切り捨てられてしまう危険性がある。

こうした背景から、基礎自治体である門真市が、市民の幸福度とその背景にある状況とを把握し、幸福度の向上に向けて、どのような取組を進めていく必要があるか検討するために、「幸福度指標」の検討を進めるものである。

### (2) 他地域における取り組み事例

幸福度指標については、全国の自治体でも策定に向けた取組が進められている。

#### ① 東京都荒川区

東京都荒川区は、基礎自治体として全国に先駆けて幸福度指標の検討を始めた。平成17年11月に荒川区民総幸福度のプロジェクトチームが発足し、平成24年に区の基本構想に基づく指標案を「荒川区民総幸福度（GAH）指標」として提示。平成26年にはアンケート調査を実施している。

荒川区民総幸福度指標は、幸福実感度を「健康・福祉」「子育て・教育」といった要素に分け、その中でさらに健康実感度、つながりの実感度、といった主観的な感覚を指標案として挙げている。その上で、それぞれの分野について、主観指標・客観指標が様々に入った関連指標を例示として挙げている。（図表 I-1）

#### ② 京都府京丹後市

京都府京丹後市では、「市民総幸福の最大化」を目指したまちづくりに向け、平成24年に「幸福のまちづくり研究会」を立ち上げ、平成26年6月までに6回の会議を開催している。その中で、「市民幸せ度アンケート調査」を実施し、その結果に基づいた「幸福度指標（たたき台）」を発表している。

京丹後市の「幸福度指標（たたき台）」は「経済的に安定を得られる」「健康でいられる」といった分野別の体系を示した上で、所得、消費、定住といった具体的な項目について、消費であれば「必要なモノやサービスを購入しやすいと感じているか」といった主観指標と、「購買力流出率」「小売事業所数」などの客観指標を組み合わせる指標としている。また、主観的幸福を「幸福だと感じているか」という項目だけでなく、「人から頼りにされていると感じるか」「何らかのスピリチュアルな価値観を持っているか」など、8つの項目について尋ねているのが特徴的である。（図表 I-2）

### ③ 愛知県長久手市

市民を中心に「ながくて幸せ実感調査隊」を結成。幸福度についての勉強会や、市のイベント、祭りなどの場で来場者に「あなたの幸福度」「長久手市の幸福度」などについて調査を実施している。

このほか、三重県松阪市や新潟県新潟市など、各地で幸福度の把握や幸福度指標の検討に向けた取り組みが進められている。

図表 T-1 荒川区民総幸福度(GAH)指標案一覧

指標案	幸福実感指標案	質問文案	関連指標(例示)	
幸福実感度		あなたは幸せだと感じますか？		
健康実感度		あなたは、健康であると感じますか？		
健康	体の健康	運動の実施度	あなたは、体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？ ※スポーツ、ランニング、散歩や階段の利用などを含む。	○健康寿命 ○早世率 ○要介護出現率 ○転倒率 ○BMI25以上の率 ○メタボリックシンドロームの該当者予備群減少率 ○運動習慣のある人の割合 ●食生活に満足している人の割合 ○野菜を毎日摂る人の割合
		健康的な食生活の実感度	あなたは、健康的な食生活を送ることができていると思いますか？	
		体の休息度	あなたは、体を休めることができていると思いますか？	
福祉	心の健康	つながりの実感度	あなたは、家族や友人など人とのつながりがあると感じますか？ ※ここでのつながりとは、話をしたりあいさつをしたりといった関係を含む。	○健康寿命 ○自殺死亡率 ○うつ傾向率 ●地域に頼れる人がいる実感 (※文化に関する幸福実感指標案)
		自分の役割・居場所がある実感度	あなたは、家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があったり、自分の居場所があったりすると感じますか？	
		心の安らぎの実感度	あなたは、心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？	
健康・福祉の環境	医療の充実度	お住まいの地域では、病氣やけがをした時の医療が充実していると感じますか？ ※医療の充実とは、病院や薬局などの施設の充実や、医療の質の充実などを指す。	○1万人当たり医療施設数 ○1万人当たり薬局数	
	福祉の充実度	お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？ ※福祉の充実とは、高齢者の介護施設や障がい者の生活支援施設といった施設の充実や、福祉サービスの質の充実などを指す。	○特別養護老人ホーム待機者数 ●障がい者福祉サービスへの満足度	
子育て・教育	子どもの成長の実感度	あなたは、自分のお子さんが健やかに成長していると感じますか？		
	望む子育てができている実感度	あなたは、自分が望む子育てをすることができていると感じますか？		
	親子コミュニケーションの充実度	あなたの家庭では、親子間でコミュニケーションがとれていると感じますか？	○親子の会話時間	
教育環境	家族関係	あなたの家族には、子育てに関する理解や協力があると感じますか？ ※ここでの家族とは、配偶者、自身及び配偶者の親、親類などを含み、同居しているかを問わない。	●家族内での育児分担度	
	「生きる力」の習得度	あなたは、自分のお子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力など「生きる力」を身につけていると感じますか？ ※「生きる力」とは、知力面、道徳面、身体面に関して、社会で生活していく上で必要な知識やそれを活用する技術を身につけていることを指す。	●子どもへの「しつけの実施度」 ●食を通じた「生きる力」の習得度 ○学力調査結果 ○児童、生徒一人当たり読書冊数 ●子どもに社会性・思いやりがあると感じる親の割合 ○体力測定総合評価 ○外国語の習得度 ●学校教育の満足度 ○いじめ認知件数 ●経済支援の子育て・教育への貢献度 ○待機児童数 ●在宅支援事業の子育てへの貢献度 ○オムツ替え・授乳できる場所の数 ●遊び場や体験できる場・機会の充実度 ○子ども施設の整備率 ○子育て応援サイトアクセス件数	
	子育て・教育環境の満足度	お住まいの地域における子育て・教育関連事業・サービス・施設など(民・官が提供するものを問わず)に満足していますか？	●子育てについて相談・頼れる人がいる実感度	
産業	生活のゆとり	あなたは、経済的にも精神的にも余裕のある生活を送ることができていると感じますか？		
	仕事の安定	あなたは、生活を送るのに必要な収入を安定的に得ていくことに不安を感じますか？	●望まない非正規雇用の割合 ○失業率 ○再就職までの期間 ●生活の余裕を感じる人の割合 ○労働時間	
	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の仕事のやりがい	あなたは、仕事と私生活とのバランスが取れていると感じますか？ あなたは、仕事にやりがいや充実感を感じていますか？	●自由に過ごすことができる時間の有無 ●自分が活躍する場があると感じる人の割合 ○区内事業者の売上 ○区内事業者数・従業員数 ○新製品・新技術の開発件数 ○営業時間	
経済環境	まちの産業	荒川区の企業(お店や工場など)は、元気で活力があると感じますか？	●品揃えに対する不満度 ○あらかわ遊園入場者数 ○パラの市来場者数 ○区施設・イベント来客者数	
	買い物利便性	あなたは、荒川区区内での買い物が便利だと思いますか？		
	まちの魅力	あなたは、荒川区が区外から人が訪れたい魅力あるまちだと思いますか？		
環境	生活環境の充実度	お住まいの地域では暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
	利便性	お住まいの地域の商業施設や公共施設は、バリアフリー化など利用者に配慮されていると感じますか？ ※施設のバリアフリーとは、身体障がい者や高齢者が生活を営む上で支障がないように建物が配慮されていることを指す。	○バリアフリー進捗率 ○商業施設・公共施設のバリアフリー整備状況	
	心のバリアフリー	お住まいの地域では、困っている人を発見がしやすかったり、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じますか？	○おせっかいおじさんおばさん運動を知っている人の割合	
持続可能性	交通利便性	お住まいの地域では、交通の便がいいと感じますか？ ※ここでの交通とは、交通機関、自転車、自動車や徒歩での移動などを含む。	○駐輪可能台数 ○最寄り交通機関へのアクセス時間 ●自動車の走行や駐車しやすいと感じる率 ●公共交通が整備されていて地区内や他地区への交通の便がよいと感じる率 ●人が歩く空間が整備されていて歩いて素早く快適であると感じる率 ●まちなみに統一感があると感じる区民の割合 ●景観が良好であると感じる区民の割合 ○違反広告物除却件数 ○緑被率	
	まちなみの良さ	お住まいの地域のまちなみ(景観・緑など)は良いと感じますか？	○駅前周辺の歩きだまご者の数 ○放置自転車撤去数 ○資源の回収量 ○ごみの排出量 ○リサイクル率 ○エコライフチャレンジファミリー参加世帯数	
	周辺環境の快適さ	お住まいの地域では、生活する上で不快さを感じますか？ ※ここでの不快さとは、放置自転車、ポイ捨てなどを含む。		

幸福実感指標案		関連指標(例示)
指標案	質問文案	
余暇の過ごし方や文化とのふれあいによる精神的豊かさ・心のゆとりの実感度	あなたは、余暇の過ごし方や文化とのふれあいによって精神的な豊かさ、心のゆとりを感じていますか？	●余暇・文化活動を行うことができる機会 ●自由に過ごすことができる時間の有無 ○文化施設数 ○文化・娯楽関連イベント数
余暇の満足度	あなたは、自分の余暇の過ごし方に満足していますか？	○図書館利用者数 ○スポーツひろばの参加者数 ○生涯学習講座開催回数
生涯学習環境の充実度	生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？	●地域行事への参加による充実度 ●荒川の文化に関心がある区民の割合 ●区に魅力があると感じる区民の割合 ●荒川区の地域ブランドへの関心度 ●地域行事への参加による充実度 ●地域の人と交流できる機会の充実度 ●地域の憩える場の充実度 ●子育てについて相談・頼れる人がいる実感度 ●災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じる人の割合
地域への愛着度	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？	●多文化共生への関心度
地域の人との交流の充実度	お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていますか？	
地域に頼れる人がいる実感度	お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？	
文化的寛容性	お住まいの地域では、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？	
安全・安心実感度	お住まいの地域は安全だと感じますか？ ※ここでの安全とは、防犯性・防災性などをすべて含む。	
犯罪への不安	お住まいの地域では、犯罪について不安を感じますか？	○犯罪認知件数 ○自転車盗難件数 ●不安を感じる暗がりがあると感じる人の割合 ○街路灯の数 ○防犯カメラ設置数 ○地域の見守り(防犯パトロール)実施回数 ○交通事故死傷者数 ○自転車交通事故件数 ○交通安全運動参加者数 ●交通マナーが浸透していると感じる人の割合 ○自転車運転免許保有者数
交通安全性	お住まいの地域では、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じますか？	○生活事故の110番事件数 ●生活圏内でヒヤリハットを感じる人の割合
生活安全性	家庭や学校・職場などで、交通事故以外の生活上の事故の危険を感じますか？ ※ここでの生活上の事故とは、手すりがないことによる転倒、柵がないことによる転落、乳幼児の事故などを含む。	○住宅の耐震化率 ○家具の転倒防止をしている人の率 ○備蓄をしている(3日分)人の率 ○訓練参加者数 ○一時避難場所を認知している人の率 ○町会防災訓練実施率 ○消防団の団員数 ●災害時に頼れる人がいる人の率 ●声掛けできる隣人がいる人の率 ○不燃領域率 ○地域危険度(ランク) ○老朽住宅率 ○備蓄食糧の充足率 ○避難所の数
個人の備え	災害(地震・火災・風水害)に対する備えを十分にしている安心感がありますか？	
災害時の絆・助け合い	災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じますか？	
防災性	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？	

(資料) RILAC公益財団法人荒川区自治総合研究所

図表I-2 京丹後市「幸福度指標(たたき台)」

体系・分野	指標	資料典拠		
経済的に安定を得られる	所得	主観 生活に必要な所得・収入を得られていると感じているか		
		客観 生活保護率	福祉行政報告	
		客観 暮らしの資金貸付件数・額 就学援助費支給率	市健康福祉部統計 市の教育	
	消費	主観 必要なモノやサービスを購入しやすいと感じているか		
		客観 購買力流出比率 小売事業所数(人口1000人比) サービス事業所数(人口1000人比) 飲食店数(人口1000人比) 小売業年間商品販売額(人口当たり) 大型小売店店舗面積(人口当たり)	商業統計 経済センサス・商業統計 経済センサス・商業統計 商業統計 全国大型小売店総覧	
		定住	主観 これからも京丹後市に住み続けたいと思うか	
			客観 地元居住率 転入・転出世帯割合	人口基本台帳 人口基本台帳
		産業	主観 地域の経済が良いと感じているか	
	客観 DI(景気動向指数) 法人税割額 正職員比率 有効求人倍率 年間の米総生産量 漁港における陸揚金額 従業者1人当たり商業年間商品販売額 工業従業者1人当たり出荷額 観光入込客数 年間宿泊客数		京都北都信用金庫 市町村税課税状況等の調 国勢調査 ハローワーク峰山管内 総合計画指標 漁港港勢 経済センサス・商業統計 工業統計 観光入込客数・消費額調査 観光入込客数・消費額調査	
	健康		主観 健康だと感じているか	
客観 要介護(支援)認定者割合市健康福祉部統計 二次予防対象者割合市健康福祉部統計 健康寿命 自殺死亡率				
福祉	主観 社会的弱者(未成年者、高齢者、障害者など)への支援や介助が充実していると感じているか			
	客観 地域福祉を担うボランティアの人数(人口比) ホームヘルプサービス事業所数(人口比) ショートステイサービス床数(人口比) グループホーム・ケアホーム定員数(人口比) 認知症サポーター数(人口比) 特別養護老人ホーム待機者数(人口比) 介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数(65歳以上人口当たり)	総合計画指標 総合計画指標 総合計画指標		
	医療	主観 医療が充実していると感じているか		
		客観 客観医療施設数(人口比)	介護サービス施設・事業所調査	

体系・分野	指標		資料出典		
安心して子育て、教育ができる	子育て	主観	子育て環境が整っていると感じているか		
		客観	合計特殊出生率 出生数(15～49歳女性人口当たり) 保育所入所待機児童数	人口動態特殊報告 住民基本台帳 福祉行政報告	
		客観	延長保育実施保育所割合 休日保育実施保育所割合	総合計画指標	
		教育	主観	教育が充実していると感じているか	
			客観	高等学校進学・志願者比率 小学校児童不登校者数(児童1000人比) 中学校生徒不登校者数(生徒1000人比) いじめの認知件数	学校基本調査 学校基本調査 学校基本調査 いじめ調査
	客観		成人式出席率 スポーツ推進委員活動回数 青少年スポーツ団体・教室数	総合計画指標 市の教育	
	客観				
	健全な環境でくらする	自然環境	主観	地域の自然が素晴らしいと感じているか	
			客観	耕作放棄地面積 森林面積京都府林業統計1 自然公園年間利用者数(人口割合) 10万人当たり公害苦情件数 水質環境基準の達成率(河川)	総合計画指標 自然公園調査
			客観		
周辺環境		主観	生活するうえでゴミ・廃棄物などで不快を感じているか		
		客観	ゴミの排出量 不法投棄・焼却苦情件数	総合計画指標 総合計画指標	
持続可能性		主観	地球環境に配慮した生活をしていると感じているか		
		客観	リサイクル率 環境NPOの数	総合計画指標 総合計画指標	
		客観	バイオガスによる発電量	総合計画指標	
人とパートナーシップをもてる		地域	主観	地域社会とつながりを感じているか	
			客観	NPO法人数(人口10万人比) シルバー人材センター登録者数 老人クラブ登録者数	
	客観				
	人権・男女共同参画	主観	個人として尊重され、互いに認め合っていると感じているか		
		客観	審議会等への女性登用比率 女性公務員の管理職登用比率 女性議員比率	市町村における男女共同参画に関する施設の進捗状況調査	
	文化交流	主観	文化・交流など余暇の過ごし方が充実していると感じているか		
		客観	文化芸術イベント数 図書館資料数 丹後文化会館の利用率 文化財博士登録制度の登録者数(人口比)	市の教育 総合計画指標	
		客観			
安心・安全・快適生活できる	快適	主観	安心・安全で快適な生活がおくれていると感じているか		
		客観	地域食糧自給率 道路整備(舗装)率 都市公園数(人口1万人比) 都市公園面積(人口当たり) 木造住宅の耐震化率総合計画指標 新築住宅着工戸数(世帯当たり) 住宅延べ床面積(世帯当たり) 持ち家世帯比率 交通空白地人口 水洗化普及率	総合計画指標 都市計画現況調査 都市計画現況調査 建築着工統計 住宅・土地統計調査 国勢調査 総合計画指標 水洗化事業普及状況調査	
		防犯・交通安全	主観	犯罪の不安を感じているか	
			客観	交番・派出所・駐在所数(人口10万人比) 刑法犯罪認知件数(犯罪率・人口10万人比) 交通事故発生件数(発生率・人口10万人比) 人身事故発生件数警察署	警察署 警察署 警察署
			客観		
		防災	主観	災害に対する備えができていると感じているか	
	客観		自主防災組織数 消防団員数(人口1万人比) 河川整備率 土砂災害危険箇所の整備率 出火率(人口1万人比)		
	客観				
	自治	客観	財政力指数 地方税収入額(人口当たり) 課税対象所得額	市町村別決算状況調 市町村別決算状況調 市町村税課税状況等の調	
		客観			
	主観的幸福	主観	幸福だと感じているか 他人の喜ぶこと、他人のためになることを行いたいと思うか 人から頼りにされていると感じるか 人から支えられていると感じるか ボランティア活動をしているか 物事の良い面、明るい面を見る方が 何らかのスピリチュアルな価値観を持っているか 社会が公平・公正によりよい方向に発展していると思うか		

(資料) 京丹後市

## 2. 門真市幸福度指標策定の考え方

### (1) 構成要素と決定要因に分ける

門真市幸福度指標については、先に紹介した荒川区などの事例を参考に検討したが、検討にあたり重視したことは、門真市という基礎自治体が策定する指標として、最終的に市の施策の検討に資する必要がある、ということである。

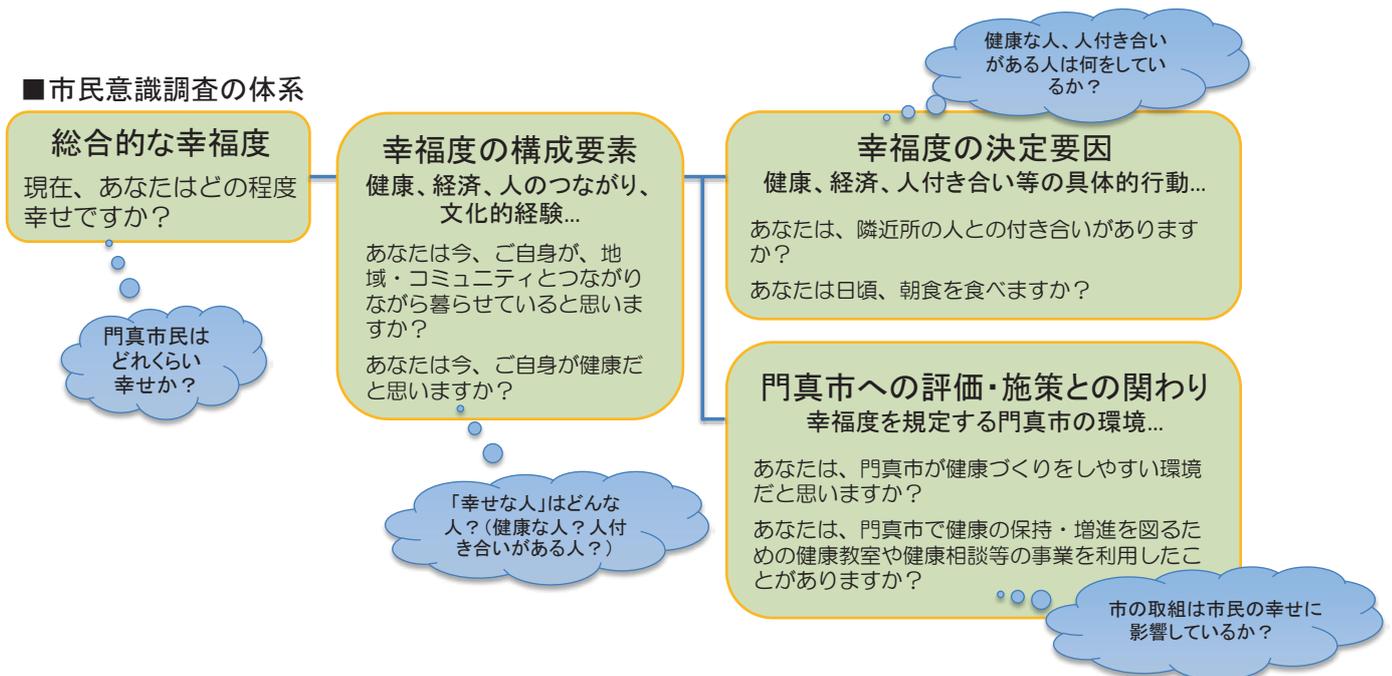
加えて、「幸福」は個人ごとに異なる主観的な感覚であり、それを「幸福度」として指標化するためには、市民アンケートを行い、市民の意識を調査する必要がある。

そこで、市民アンケートにおいて、各人の「幸福度」を点数化してもらい、その高い（あるいは低い）幸福度を支えている「構成要素」は何か、すなわち「幸福な人はどのような人か」ということを探っていくために、人の主観的な幸福につながる要因を「構成要素」と「決定要因」に分け、それに市役所の関わりを含めて総合的な幸福につながる関係性を整理した（図表 I-3）。

「構成要素」とは、健康状態や経済環境、人とのつながりなど、総合的な「幸福」という感情をもたらし、幸福度の高低に影響を与えていると考えられる各要素のこととした。それに対して、その健康状態や経済環境、人とのつながりといった構成要素の状態を決定づけている項目を「決定要因」とした。健康状態であれば睡眠時間や朝食摂取の有無、経済環境であれば所得や就労の状況、人とのつながりであれば、近所づきあいの状況、といった事項である。

先行事例においては、「主観指標」と「客観指標」を分けているものもあるが、本市においては、主観か客観かというよりも、総合的な「幸福」を構成する主観的な思いと、それを決定づける客観的な状況という関係を整理した上で、客観的な状況に関連する市の状況について質問をする、という考え方でアンケートを設計している。

図表 I-3 「構成要素」と「決定要因」



## (2) 総合計画の体系に沿った調査票の設計

市の施策の検討に資する幸福度指標とするためには、市の取組と幸福度との関係が明らかになるよう、アンケート調査項目を設計する必要がある。

本市の取組との関係付けについては、市として取り組めることを検討するために、先述の「構成要素」と「決定要因」を門真市第5次総合計画（以下「総合計画」という）の施策体系に則して検討し、関連する状況についての本市の評価とともに調査票に反映することにより行うこととした（図表I-4）。これにより、最終的に策定された幸福度指標の一部については、同時期に検討した総合計画の改定版に反映させることができた。

本市の幸福度指標は、アンケート調査と、その結果によって策定した指標を理論的に体系付けた上で、さらにそれを市の総合計画に基づく施策体系との整合を図るものであり、基礎自治体における取組としてはあまり見られないチャレンジであった。今後については、総合計画に基づく施策の検証や、政策の方向性を検討するツールとして活用したいと考えている。

図表I-4 総合計画の体系、幸福度の体系とアンケートの質問内容

総合計画の体系	構成要素と決定要因、関係施策との接点の整理	設問番号	アンケート質問内容		
みんなの協働でつくる地域力のあるまち 基本目標1 市民のまちづくりへの参画を促す環境をつくりまします	構成要素① 市役所とのつながり	14	あなたは、市役所や市政を身近に感じますか		
		個別決定要因	15	あなたは、市長の顔と名前をご存知ですか	
			16	あなたは、ご存知の市議会議員がいますか	
		総合評価	17	門真市の行政情報はわかりやすく提供されていると思いますか	
			18	あなたが、日頃、情報を入手する方法について、主なもの以下から2つまで選んで○をつけてください	
		関連施策との接点等	19	あなたは、「広報かどま」「議会だより」をご覧になっていますか	
	20		あなたは、市のホームページをご覧になっていますか		
	構成要素② 地域とのつながり	個別決定要因	21	あなたは今、ご自身が、地域コミュニティとつながりながら暮らしていると思いますか	
			22	あなたは、隣近所の人との付き合いがありますか	
		総合評価	23	あなたは、門真市（あるいはお住いの地域）は、地域や市民活動を通じて、つながりが強い地域だと思いますか	
			24	門真市役所は、地域や市民活動（地域団体など）を活性化するために努力していると思いますか	
		構成要素③ 「市民主役」感	個別決定要因	25	あなたは、ご自身が地域や門真市のまちづくりを担う一員になっていると感じますか
				26	あなたは、NPOやボランティア活動に参加していますか
	総合評価		27	あなたは、門真市がボランティアや市民活動への取組みが盛んなまちだと思いますか	
			28	あなたは、人・まち・元気事業（出前講座・市民講座・市民大学）に参加したことがありますか	
	関連施策との接点等	29	あなたは、NPOやボランティア活動を支援する事を目的とした市民公益活動支援センターをご存知ですか		
		30	あなたは、門真市が市民とともに市政を進めていると感じていますか		
	協働するまちづくりを、先導する市役所を、つくりまします 第2節	構成要素④ 市役所への信頼感	31	あなたは、前回の市長選挙・市議会議員選挙に行きましたか	
			32	あなたは、市民ご意見審制度をご存知ですか	
		総合評価	33	あなたは、市役所へ来庁するときほどのような用件が多いですか	
			34	あなたは、市役所窓口のわかりやすさ・利便性等についてどのように思いますか	
		関連施策との接点等	35	あなたは、職員への対応・行動についてどのように思いますか	
			36	あなたは、門真市は市民にとって利用しやすくわかりやすい組織だと思いますか	
			37	あなたは、安心して楽しく、幸せに子育てができていると感じていますか	
38			あなたは、子育てにどのような不安を感じますか		
将来を担う子どもを育つまち 基本目標2 心豊かでたくましく子どもを育むまちをつくりまします 第2節	構成要素⑤ 子育てへの満足感	個別決定要因	39	あなたは、子育てを支える環境が、あなたにとって、相談したり助けしてくれる人がいますか、いとすればどなたですか	
			総合評価	40	あなたは、門真市は安心して楽しく子育てができる環境だと思いますか
		関連施策との接点等		41	あなたは、以下の子育て支援サービスの施設を利用したことがありますか
			42	あなたは、身近にかりつけの小児科がありますか	
			43	あなたは、子どもとよく遊びに行く公園などがありますか	
			44	あなたは、子育て支援に関する情報を、どこで入手していますか	
	構成要素⑥ 子どもの健やかな成長感	個別決定要因	45	あなたは、子どもが健やかに成長していると感じていますか	
			46	あなたの家庭では、親子間でコミュニケーションがとれていると感じますか	
			47	あなたは、門真市の公立小中学校の教育環境についてどのように思われますか	
			48	あなたのお子さんは、塾や習い事に行っていますか（市内外問わず）	
総合評価	49	あなたは、自分のお子さんが、毎日朝食を食べる、早寝早起きなど、規則正しい生活習慣を身につけていると思いますか			
	50	あなたのお子さんは、社会で生活していく上で必要な知識、社会性、体力などの「生きる力」を身につけていると思いますか			
関連施策との接点等	51	あなたは、門真市は子どもが健やかに育つ事の出来る環境だと思いますか			
	52	あなたは、教育の充実に向けての門真市の以下の取組みについて、ご存知ですか			
	53	あなたは、いじめや不登校、引きこもり等に対する門真市の以下の取組みについて、ご存知ですか			

総合計画の体系		構成要素と決定要因、関係施策との接点の整理		設問番号	アンケート質問内容			
安全・安心で快適に暮らせるまちをつくりたい 基本目標3	安全で安心な暮らしを育む 第1節 安全で安心な暮らしをつくりたい	構成要素⑦ 犯罪や災害への対策	個別決定要因	54	あなたは、門真市内において、以下の項目について、不安を感じることはありませんか			
				55	あなたは、犯罪にあって、犯罪にあいかけたことはありませんか(空き巣、自転車盗、ひったくり、チン等)			
			総合評価	56	あなたは、市内を歩いたり、自転車や自動車などで走っていて、事故にあいそうになってヒヤとしたことはありませんか			
				57	あなたは、門真市は犯罪や事故、災害の心配が少ない安全・安心なまちだと思いますか			
			関連施策との接点等	58	あなたは、一戸一灯運動に参加していますか			
				59	あなたは、消費生活センターをご存知ですか			
			60	あなたは、事故や災害に向けた備えをしていますか				
				61	あなたは、お住まいの地域の防災訓練に参加したことがありますか			
			便利で快適な暮らしをつくりたい 第2節 便利で快適な暮らしをつくりたい	構成要素⑧ 便利で快適な生活実感	個別決定要因	62	あなたは、門真市において、住環境や買い物、通勤通学、通院など日常生活を快適に過ごしていますか	
						63	あなたは、門真市の市街地に魅力を感じますか	
						64	あなたのお住まいの地域は、快適で生活しやすい基盤整備(道路、水道、下水道)がされていると思いますか	
						65	あなたのご自宅から最寄りの駅までは、徒歩何分ですか	
						66	あなたが最もよく外出先(職場、学校、病院、スーパー等)とそこまでの外出手段、所要時間を教えてください	
						総合評価	67	あなたは、門真市は快適で利便性の高い、にぎわいのあるまちだと思いますか
68	あなたは、門真市内の主要な駅周辺地域が、まちの顔としてにぎわいのある魅力的な環境だと思いますか							
関連施策との接点等	69	あなたは、門真市の水道を安心して利用できていると思いますか						
	70	あなたのお住まいの地域の生活道路は、安全で便利な状態だと思いますか						
	71	あなたが、門真市は快適で利便性の高いまちだと思う場合、その理由は何ですか						
いきいきと人が輝く文化薫るまち 基本目標4	共生の社会を育む 第1節 共生の社会を育む	構成要素⑨ 平和で人権が守られる環境	個別決定要因	72	あなたは、日頃、ご自身の人権が守られていると思いますか			
				73	あなたは、ご自身が日頃から他人の人権を尊重できていると思いますか			
			総合評価	74	あなたは、外国人、外国籍の友人がいますか			
				75	あなたは、門真市は人権が尊重され、共生社会の形成が進んでいるまちだと思いますか			
			関連施策との接点等	76	あなたは、人権や平和に関する講演や勉強会に参加したことがありますか			
				77	あなたは、門真市は男女共同参画が進んでいるまちだと思いますか			
			ワークワウする人や出会いを育む文化のまちをつくりたい 第2節 ワークワウする人や出会いを育む文化のまちをつくりたい	構成要素⑩ 文化芸術に触れたり、学習したりする機会	個別決定要因	78	あなたの身近には、豊かな文化・芸術に触れたり、様々な学習ができる環境があると思いますか	
						79	あなたは、過去1年間に、以下の文化芸術を鑑賞・体験したことがありますか	
						80	あなたは、日頃、どのような生涯学習活動を行っていますか	
						総合評価	81	あなたは、門真市が文化・芸術や豊かな「まなび」に触れられる文化的なまちだと思いますか
							82	あなたは、門真市内の以下の生涯学習施設を利用したことがありますか
						関連施策との接点等	83	あなたは、門真市内の以下のスポーツ施設を利用したことがありますか
							84	あなたは、門真市に愛着を感じていますか
						構成要素⑪ 地域への愛着	個別決定要因	85
86	あなたは、門真市は地域文化の保存や継承など、地域への愛着を育むのに熱心なまちだと思いますか							
総合評価	87	あなたは、以下の門真市内の歴史文化遺産をご存知ですか						
	88	あなたは、家族・友人や周囲の人などと支え合いながら暮らしていると思いますか						
関連施策との接点等	89	あなたには、同居家族以外で、あなたが困ったときに頼りになる親類・友人がいますか						
	90	あなたには、同居家族以外で、困ったときに頼りにされる親類や友人がいますか						
健やかな笑顔あふれる支え合いのまち 基本目標5	みんなで困っている人を助けあう福祉のまちをつくりたい 第1節 みんなで困っている人を助けあう福祉のまちをつくりたい	構成要素⑫ 支え合いの実感	個別決定要因	91	あなたは、電車やバスなど公共の場所で、お年寄りや赤ちゃん連れ、体の不自由な方などに座席を譲るなどの行為をしたことがありますか			
				92	あなたは、電車やバスなど公共の場所で、座席を譲ってもらうなどの厚意を受けたことがありますか			
			総合評価	93	あなたは、門真市はみんなで困っている人を助けあう雰囲気があるまちだと思いますか			
				94	あなたは、お住まいの地域の民生委員の顔と名前をご存知ですか			
			関連施策との接点等	95	あなたは、地域住民の参加・協力による小地域ネットワーク活動をご存知ですか。また、参加されたことがありますか			
				96	あなたは、日常生活を快適に送る上で支障になるような、経済的(金銭的)・身体的な不安を抱えていますか			
			構成要素⑬ 日常生活への不安	個別決定要因	97	あなたの経済的環境は、恵まれていると思いますか		
					98	あなたが日常生活を送る中で、一番「経済的負担」と感じているものは何ですか		
					総合評価	99	あなたは、門真市が、日常生活に不安を抱えている人たちに、十分な支援ができていると思いますか	
						100	あなたは、日常生活を送る上で、行政などからの経済的な支援を受けていますか(児童手当を除く)	
					関連施策との接点等	101	あなたは、日常生活を送る上で、介護などの生活支援サービスを受けていますか	
						102	あなたの同居家族に介護サービスを受けている人がいますか	
			を育む健康やかな心と体を育む 第2節 を育む健康やかな心と体を育む	構成要素⑭ 心と体の健康実感	個別決定要因	103	あなたは、今、ご自身が健康だと思いますか	
						104	あなたは、今、以下に掲げるような持病・体質を抱えていますか	
総合評価	105	あなたは、日頃、朝食を食べますか						
	106	あなたは、日頃、どれくらい運動していますか						
関連施策・事業との接点	107	あなたは、日頃、どれくらい睡眠をとっていますか						
	108	あなたは、門真市が健康づくりしやすい環境だと思いますか						
109	あなたは、門真市で健康の保持・増進を図るための健康教室や健康相談等の事業を利用したことがありますか							
	110	あなたは、門真市内でお気に入りの散歩・ジョギングのコースがありますか						
111	あなたは、定期的に健康診断を受けていますか							
	112	あなたは、定期的健康診断を受けていますか						
人や環境にやさしいまちをつくりたい 第1節 人や環境にやさしいまちをつくりたい	環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち 基本目標6	構成要素⑮ 環境意識	個別決定要因	113	あなたは、環境にやさしいまちづくりに向けた活動をして、具体的に実行していることはありますか			
				114	あなたは、門真市は、公害が少ない環境の良いまちだと思いますか			
			総合評価	115	あなたは、門真市の環境に関する以下の項目について、どのように感じていますか			
				116	あなたは、日頃、緑や水などの自然のうるおいを実感して生活できていますか			
			関連施策との接点等	117	あなたが、自然のうるおいを実感するときどのような時ですか			
				118	あなたは、門真市は、公園や親水空間が整備された、うるおいのあるまちだと思いますか			
			119	あなたは、門真市内に自然のうるおいを感じるために、行く場所がありますか				
				120	あなたは、門真市の公園や緑地を身近に感じますか			
			構成要素⑯ ワークライフバランスの実感	個別決定要因	121	あなたは、ご自身が仕事にやりがいを感じつつ、生活とのバランスを取りながら暮らしていると思いますか		
					122	あなたの平均的な出勤(家を出る時間)・帰宅時間を教えてください(通勤・通学されている方のみ)		
					総合評価	123	あなたは、あなたのお宅全体での家事を、おおよそ何%くらい担っていると思いますか	
						124	あなたは、門真市は働きやすく、生活とのバランスを取りやすいまちだと思いますか	
					関連施策との接点等	125	あなたは、門真市に住んでいることで、仕事と生活のバランスを取る上でメリットになっていることはありますか	
						126	あなたは、地域の産業が発展することは良いことだと思いますか	
構成要素⑰ 産業の振興	個別決定要因	127	あなたのお住まいの近く(概ね50メートル以内)に、ものづくりを行う工場がありますか					
		128	あなたは、市内にものづくりを行う工場がどれくらいあると思いますか					
		総合評価	129	あなたは、門真市は産業の盛んな活力のあるまちだと思いますか				
			130	あなたは、門真市の産業施策において、重視すべき事項は何だと思いますか				

## II. アンケート調査結果

### 1. 調査の方法と回収結果

調査対象者：市内に在住する 20 歳以上の市民から 2,500 人を無作為に抽出

調査期間：平成 26 年 5 月 22 日～平成 26 年 6 月 13 日

調査方法：郵送による配布、郵送による回収により実施した。

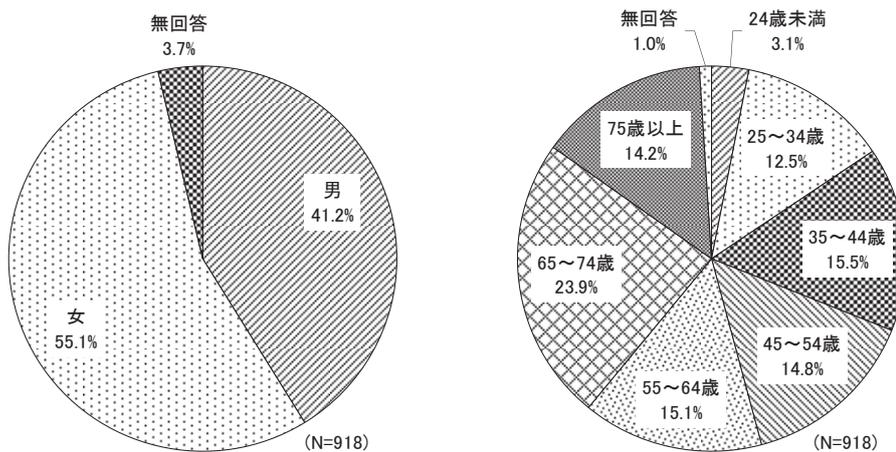
回収結果

調査対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
20 歳以上市民	2,500 件	918 通	36.7%

### 2. 回答者の属性

回答者の属性は、男性が 41.2%、女性が 55.1%。年代別には 65～74 歳が最も多く、次いで 35～44 歳、55～64 歳の順となっている。以下年齢別の分析にあたっては、一定信頼できる母数を確保する観点から、24 歳未満と 25～34 歳を統合し、「35 歳未満」として分析を行う。なお、年齢の区分については、前期高齢者、後期高齢者等、政策的な節目となる年齢を考慮した。

#### (1) 性別・年齢



### 3. 幸福度について

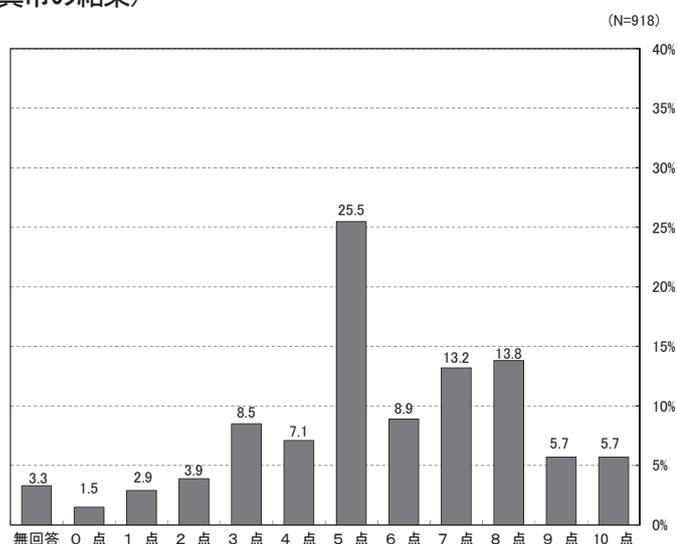
#### (1) 現在の幸福度

##### ① 全体

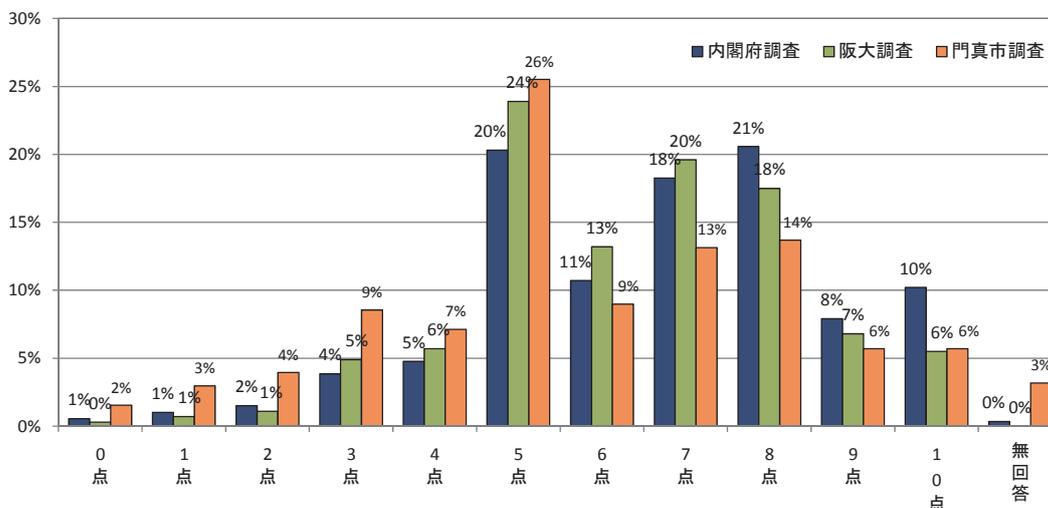
幸福度の分布状況についてみると、5点という回答が最も多く、次いで8点、7点の順に回答が多かった。今回の調査と同様に、幸福度を10点満点で回答するよう求めている内閣府の調査<sup>1</sup>、大阪大学の竹教授らが行った調査<sup>2</sup>と比較すると、いずれの調査についても5点、7点、8点とする回答が多かったが、内閣府調査では8点とする回答割合が最も高く、大阪大学の調査及び本市の調査では5点とする回答割合が最も高い。また、5点とする回答割合については、本市の調査が最も高い。平均点を算出すると本市の調査が5.7点、内閣府が6.7点、大阪大学の調査が6.3点となっている。全体として傾向は似ているものの、本市において幸福度の点数はやや低めに出ているといえる。

幸福度分布状況

(門真市の結果)



(他調査との比較)



<sup>1</sup>内閣府経済社会総合研究所「生活の質に関する調査（世帯調査：訪問留置法）の結果について」（2013年）

<sup>2</sup>大竹文雄・白石小百合・筒井義郎編『日本の幸福度—格差・労働・家族』日本評論社（2010）

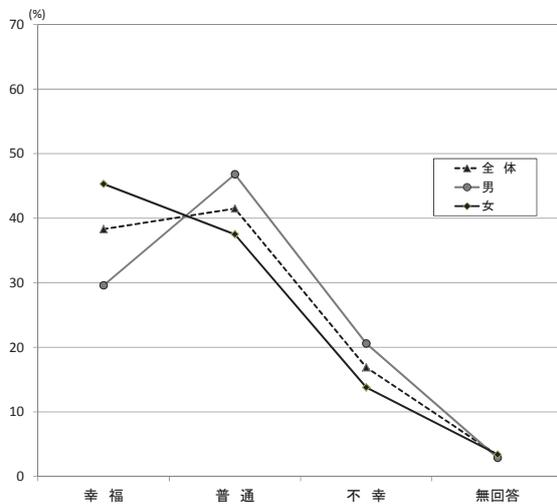
以下の分析では、個別の幸福度の点数のほか 10～7 点と回答した人を「幸福」、6～4 点と回答した人を「普通」、3 点以下で回答した人を「不幸」と分類して分析を進める。

## ② 性・年齢別

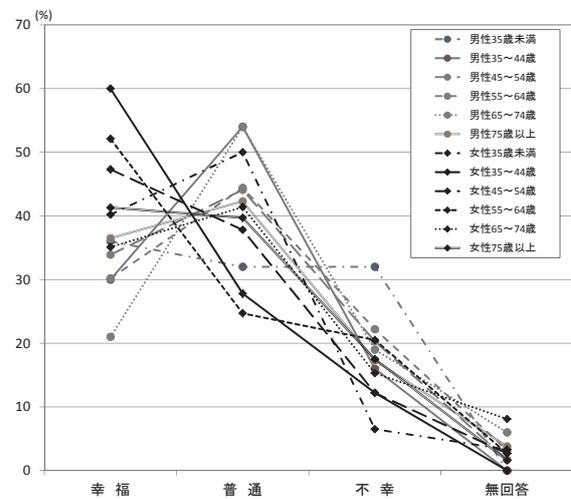
性・年齢別に幸福度の点数を見ると、女性は幸福という人が最も多いのに対し、男性は普通という人が最も多く、不幸という人の比率は男性の方が女性よりもかなり高い。

女性 35～44 歳が幸福という人の比率が最も高く、男性 65～74 歳において最も幸福という人の比率が低い、男性 35 歳未満において不幸という人の比率が特に高いのに対し、同年代の女性は特に不幸という人の比率が低い。男性において幸福という人の比率が最も高いのは 75 歳以上となっている。

男女別幸福度



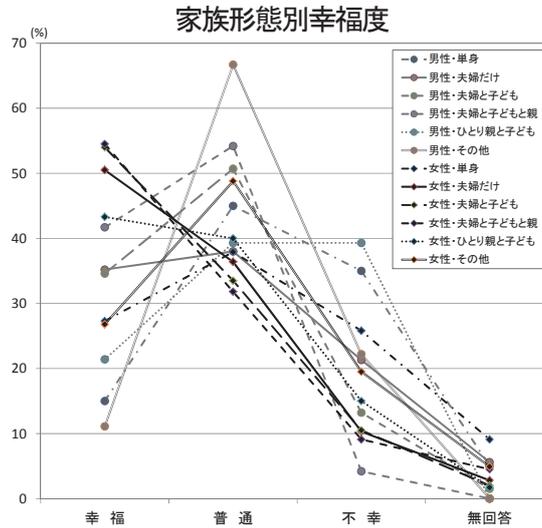
性・年齢別幸福度



### ③ 家族形態別

家族形態別に見ると、男女とも「夫婦と子どもと親」という三世代世帯において、幸福という人の比率が最も高い。

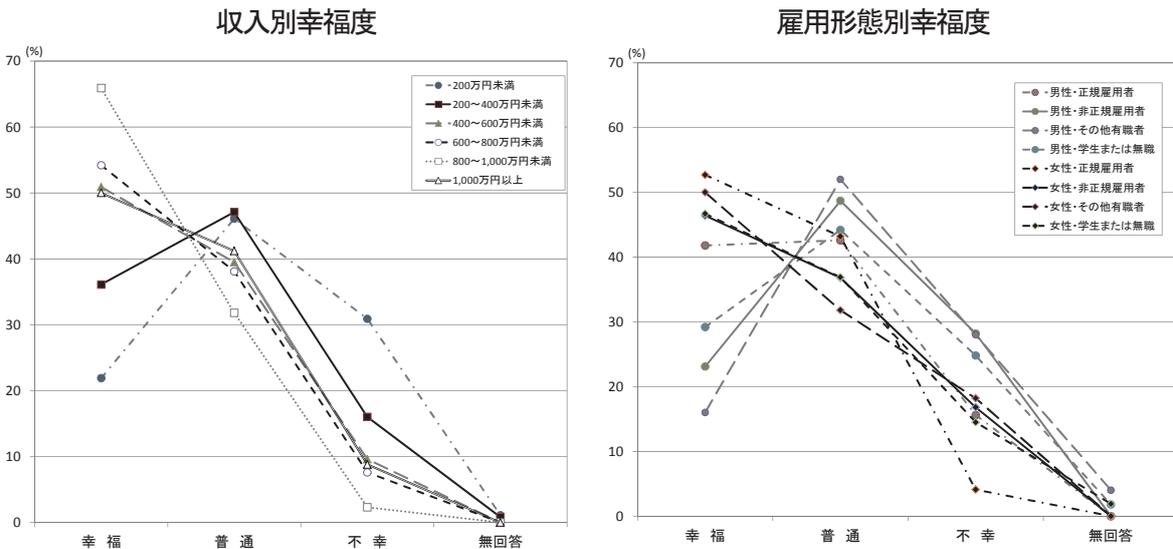
男性において、不幸という人の比率が最も高いのは「ひとり親と子ども」であり、次いで「単身」も全体に比べてかなり高くなっている。女性においては「単身」が不幸という人の比率が最も高い。単身世帯については、男女とも幸福という人の比率も低く、全体的に幸福度が低い。



### ④ 収入・雇用形態別

収入別に見ると、世帯収入が200万円未満になると、幸福という人の比率が顕著に低く、不幸という人の比率が顕著に高い。世帯年収400~600万円未満、600~800万円未満、1,000万円以上の各層は、幸福、不幸という比率にほとんど差がなく、顕著に高いのは800~1000万円未満となっている。

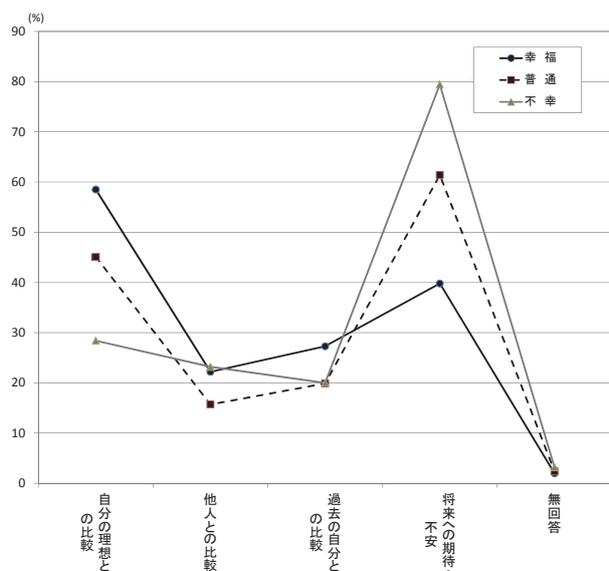
雇用形態別に見ると、非正規雇用者、無職の幸福の比率が低く、正規雇用者との差が顕著である。



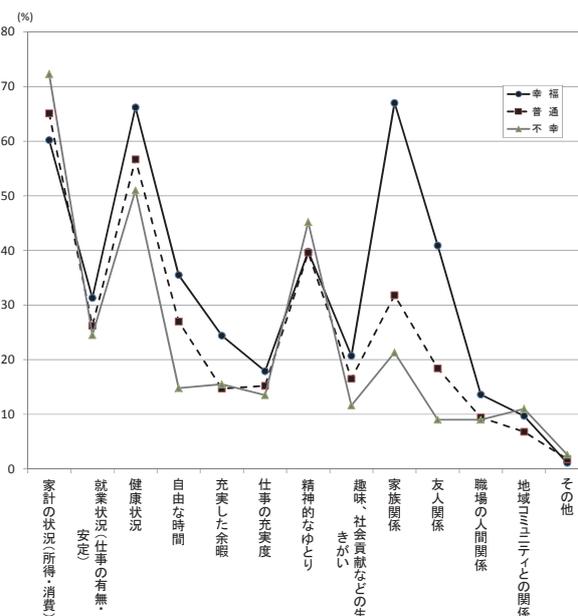
## (2) 幸福度を判断する際に重視した基準や事項

幸福度を判断する際に重視した基準や事項としては、幸福という人は幸福度を判断する際に「自分の理想との比較」を重視し、不幸という人は「将来への期待・不安」を重視する傾向が見られる。また、幸福という人は、「家族関係」や「友人関係」といった人間関係を重視する事項として挙げる比率が普通や不幸という人に比べて高いのに対し、不幸という人は「家計の状況」や「精神的なゆとり」を挙げる人の比率が高くなっている。

重視した基準



重視した事項



## 4. 総合計画体系ごとの分析

### (1) 基本目標1. みんなの協働でつくる地域力のあるまち

#### ① 市役所とのつながり(構成要素①)

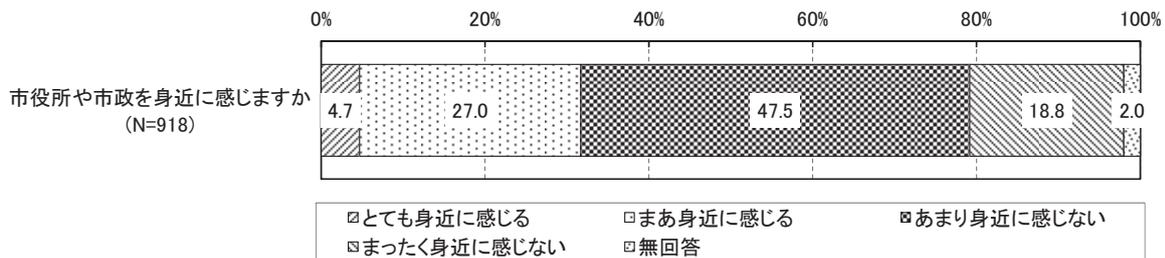
市役所とのつながりについて、市役所や市政を「とても身近に感じる」という人は4.7%、「まあ身近に感じる」という人と合わせても31.7%にとどまっており、身近には感じていないという人の方が多くなっている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「まったく身近に感じない」という人は、幸福という人の比率が全体に比べて低く、不幸という人の比率が全体に比べて高い。一方で、「とても身近に感じる」という人においても、不幸という人の比率は高く、不幸と感じる境遇の中で、行政と深い接点がある人とならない人がいることがうかがえる。

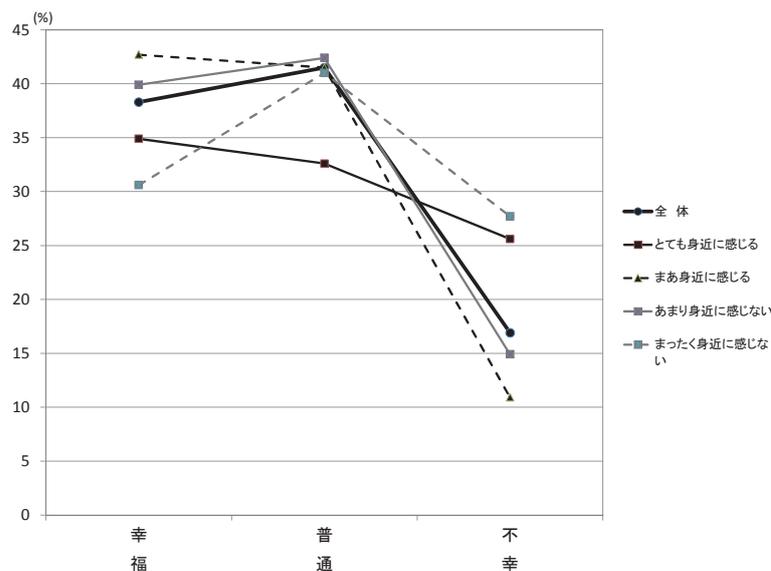
構成要素と決定要因の関係を見ると、市政や市役所を「とても身近に感じる」という人は、「市長の顔も名前も知っている」「広報かどまをよく見る」という人が多い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、不幸という人は、「市長の顔も名前も知らない」という人の比率が目立って高いなど、全体的に市政に関する関心の薄さがうかがえる。また、不幸という人は、「情報の入手方法」として「新聞」を挙げている人の比率が目立って低い。

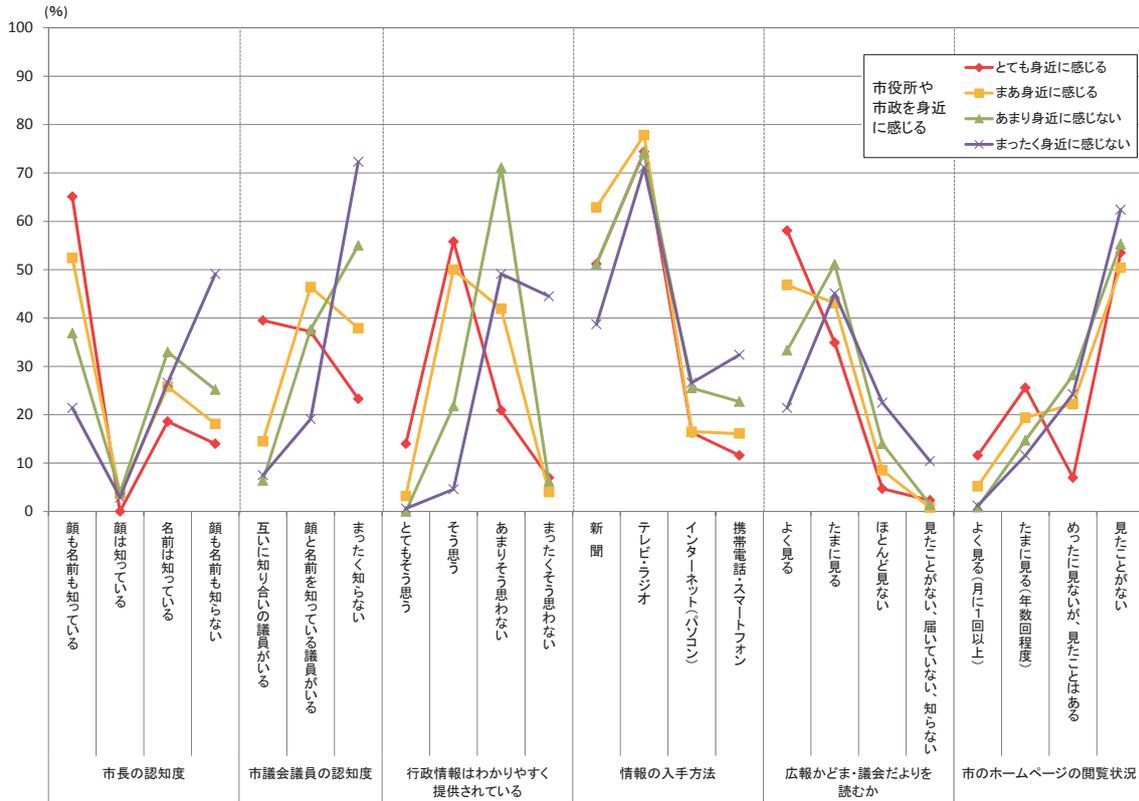
#### ア. 構成要素の回答状況



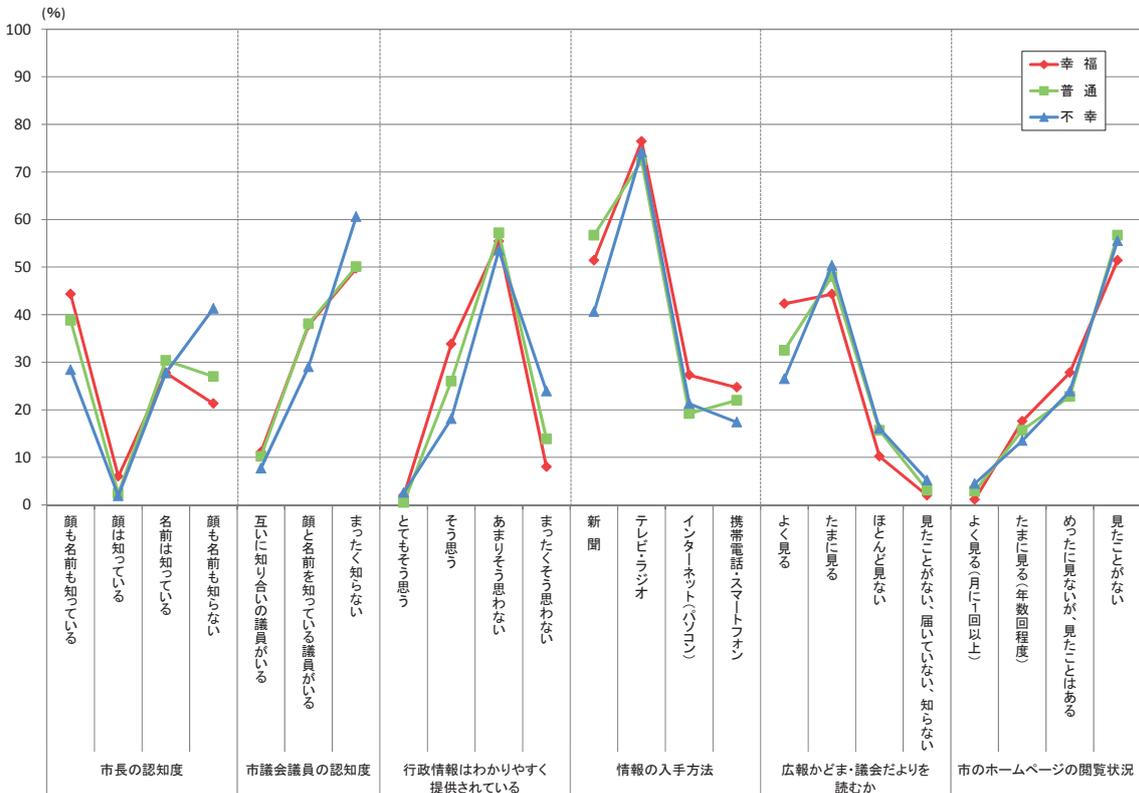
#### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



## ② 地域とのつながり(構成要素②)

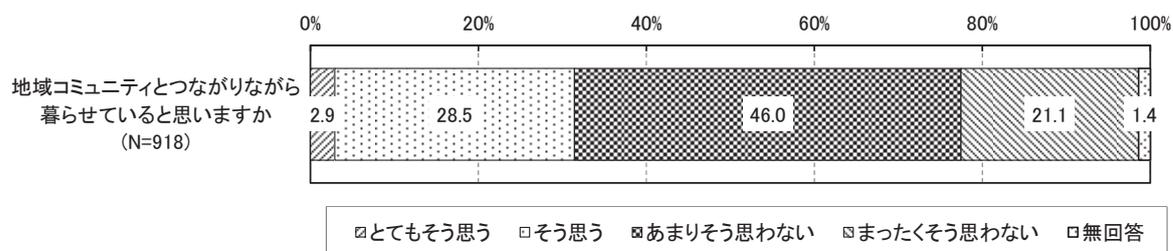
地域コミュニティとつながりながら暮らしていると思うか、という問いに対しては、「あまりそう思わない」という回答の比率が5割近くを占め、「まったくそう思わない」を含めると、全体のおよそ3分の2が地域コミュニティとのつながりを感じられていない。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「とてもそう思う」と、地域コミュニティとのつながりを感じている人において、幸福という人の比率が全体に比べて目立って高い。一方で、「まったくそう思わない」という人において、不幸という人の比率が目立って高い。

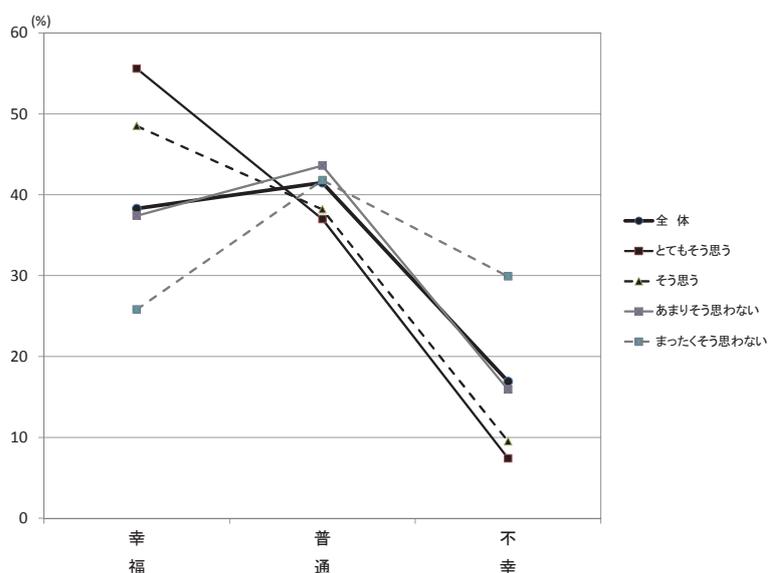
構成要素と決定要因の関係を見ると、コミュニティとのつながりを感じている人は、隣近所の人との付き合いが「よくある」という比率が目立って高い。

幸福という人は隣近所の人との付き合いが「よくある」という回答の比率が目立って高い。一方で不幸という人は隣近所の人との付き合いが「まったくない」という回答の比率が目立って高いなど、地域のつながりや、地域のつながりに関する市の取組に対する評価が、評価する人の幸福度によって大きく異なっている。

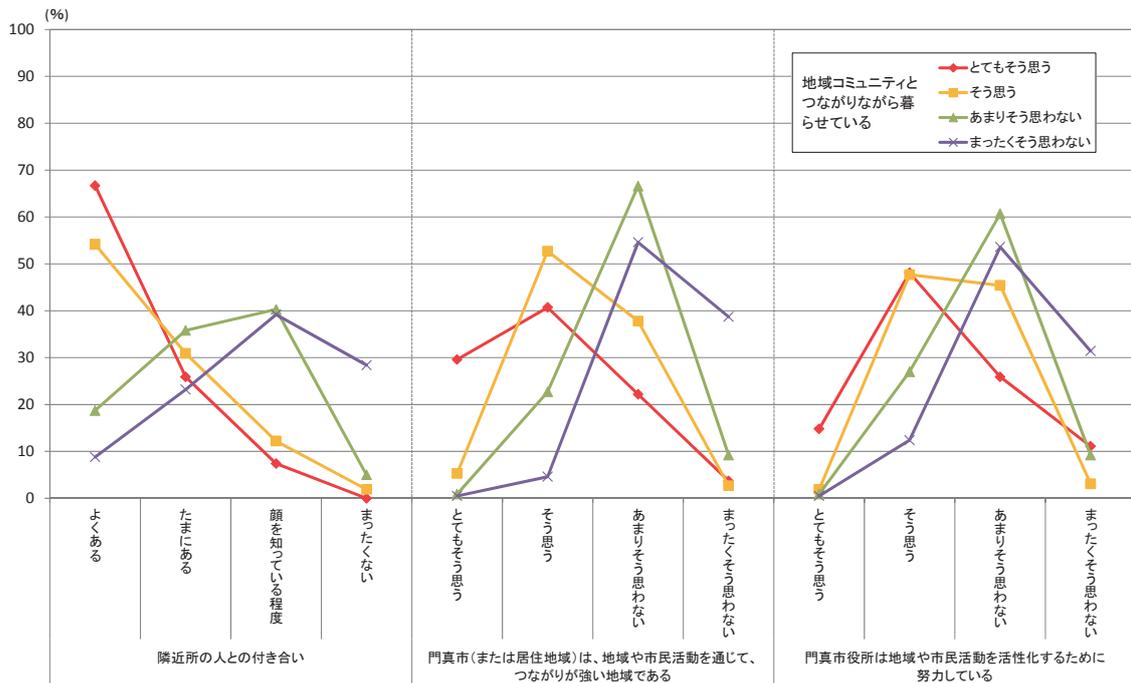
### ア. 構成要素の回答状況



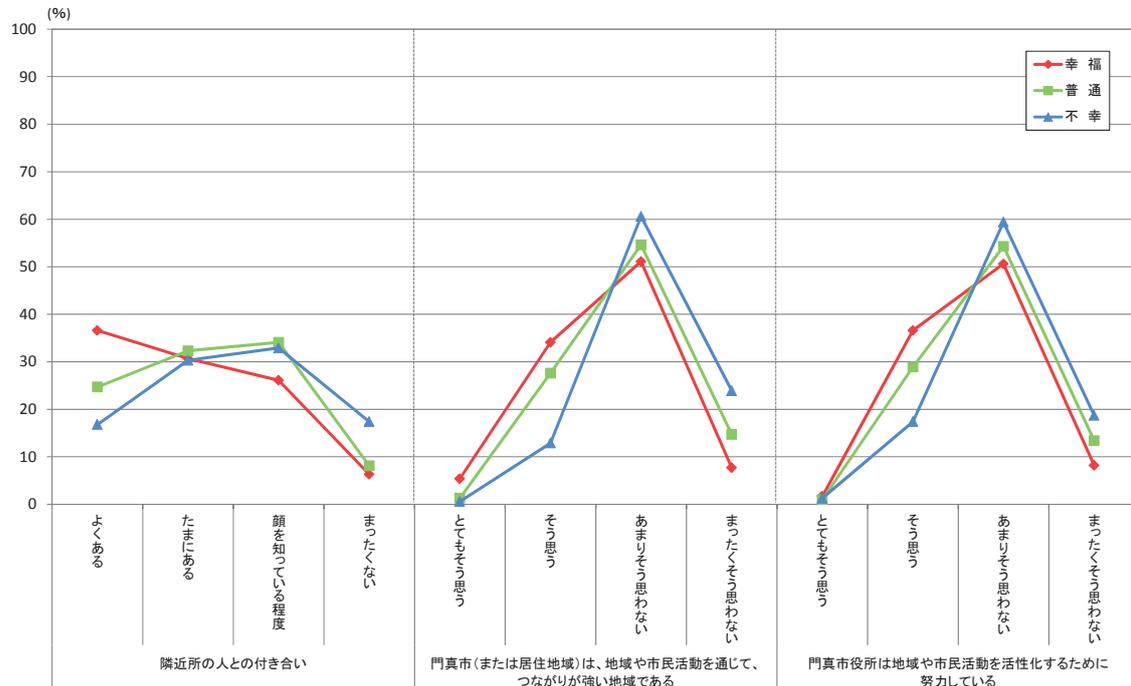
### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



### ③ 市民主役感(構成要素③)

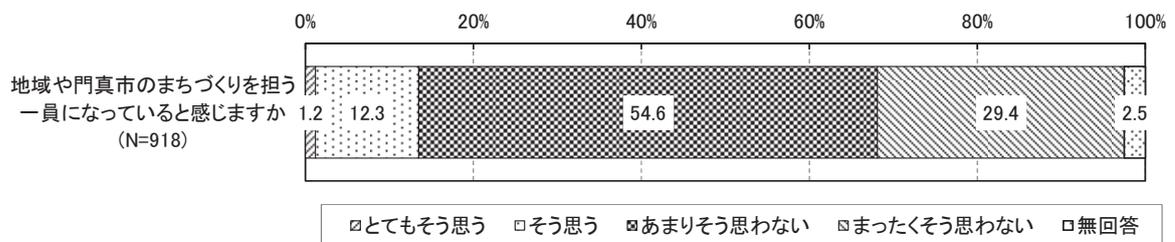
地域や門真市のまちづくりを担う一員となっていると感じるか、という問いに対して、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせても 13.5%と、「まちづくりを担う一員になっている」と感じられている市民の比率は低い。

構成要素と幸福度の関係を見ると、数少ない「とてもそう思う」という人において、幸福という人の比率は目立って高く、不幸という人はゼロであった。「まったくそう思わない」という人においては、不幸という人の比率が目立って高い。

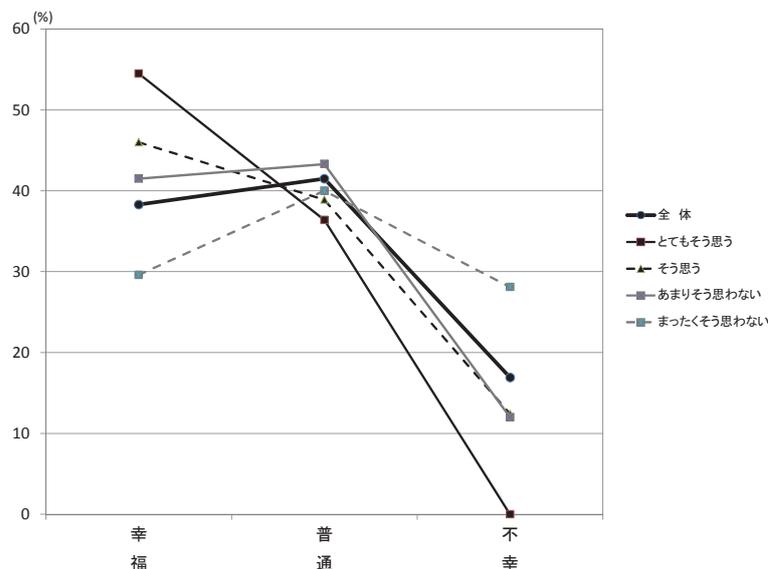
構成要素と決定要因の関係を見ると、「とてもそう思う」という人はNPOやボランティア活動に「積極的に参加している」という回答の比率が高い。「まったくそう思わない」という人はNPOやボランティア活動には「まったく参加していない」という人がほとんどであり、「人・まち・元気事業」や市民公益活動支援センターの認知度も低い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、「人・まち・元気事業」の認知度について、幸福度の高低によって認知度に差が出ている。

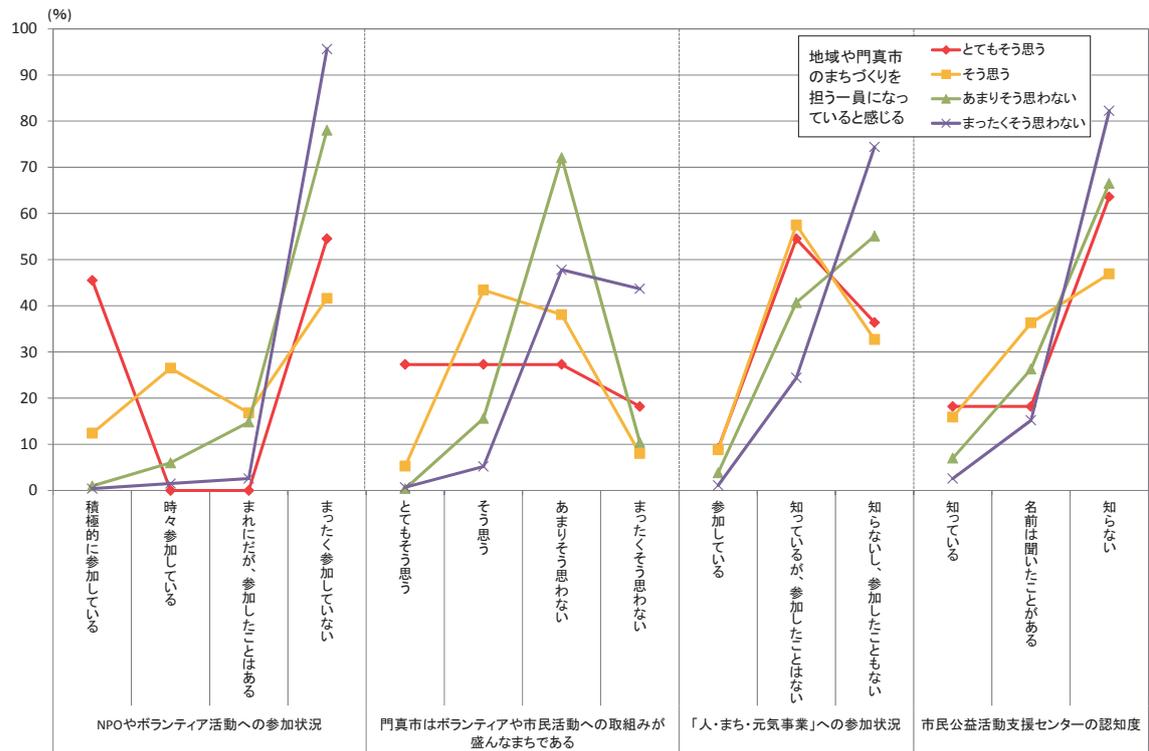
#### ア. 構成要素の回答状況



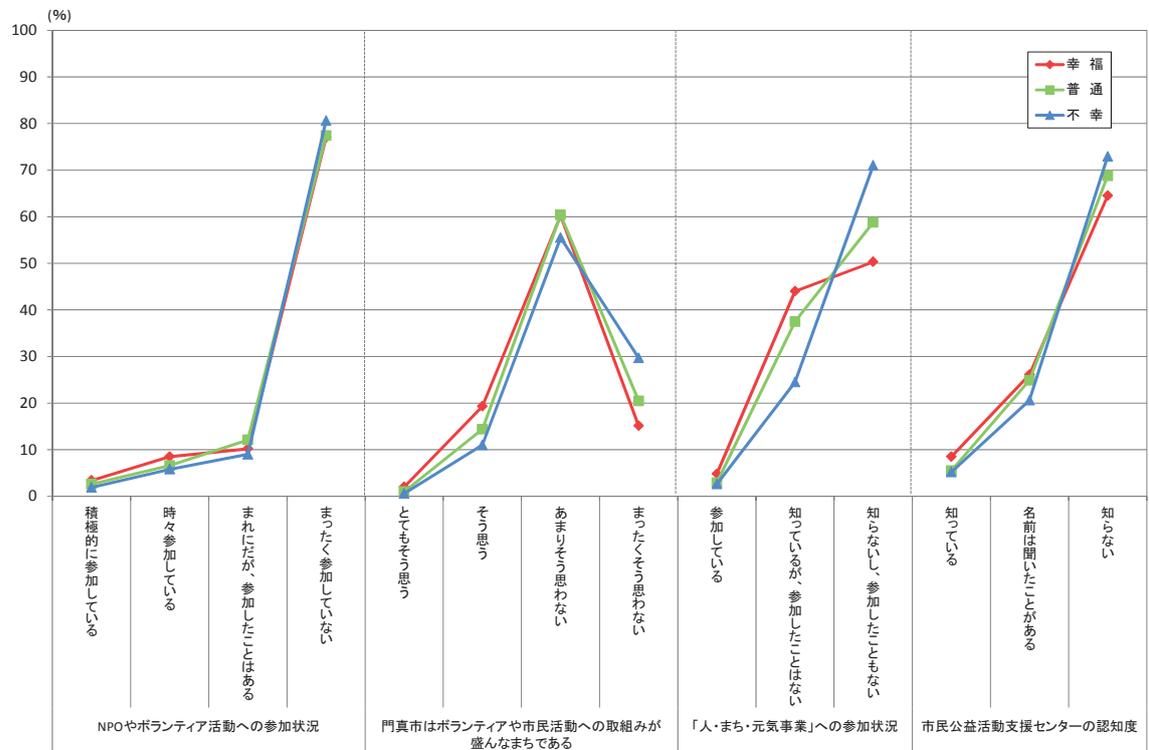
#### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



#### ④ 市役所への信頼感(構成要素④)

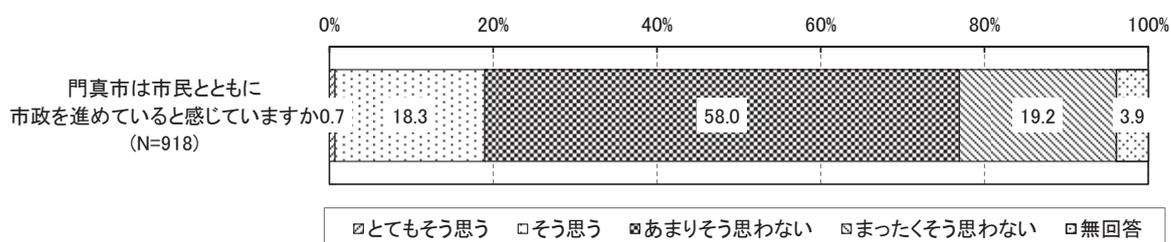
門真市は市民とともに市政を進めていると感じていますか、という市役所への信頼感を問う設問に対しては、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせると2割程度となっている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「そう思う」という人において、幸福という人の比率が高く、「まったくそう思わない」という人において不幸という人の比率が目立って高い。

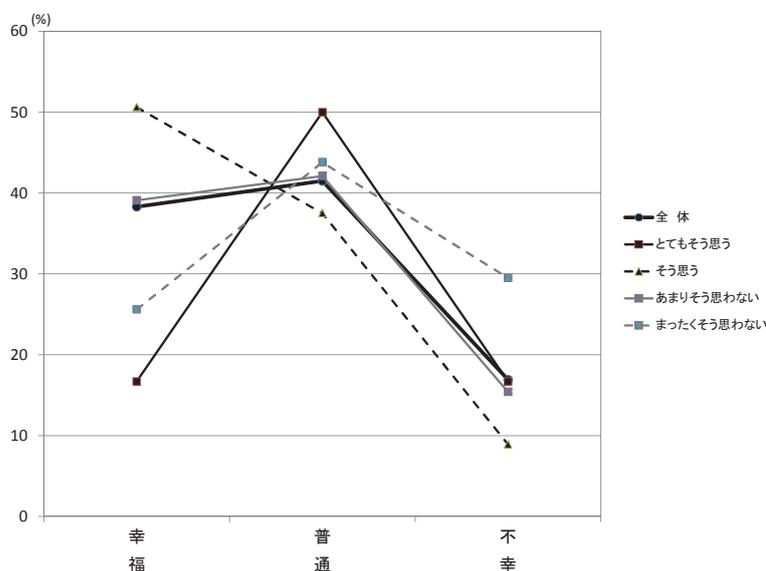
構成要素と決定要因の関係を見ると、市長選挙や市議会議員選挙の投票状況について、投票に行っている人ほど市役所への信頼感が高い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、不幸という人は、投票に行ったという人の比率が低いほか、市役所窓口のわかりやすさ・利便性等、職員の対応・行動の評価などについて、全体的に評価が低い。

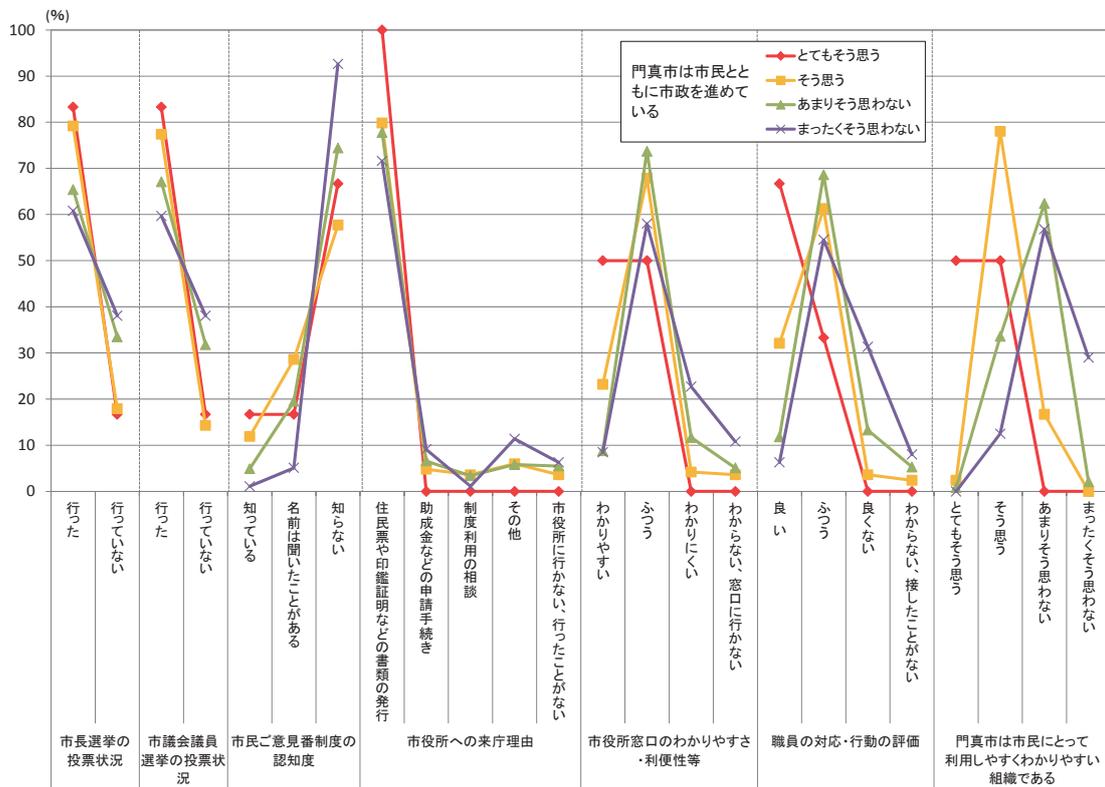
#### ア. 構成要素の回答状況



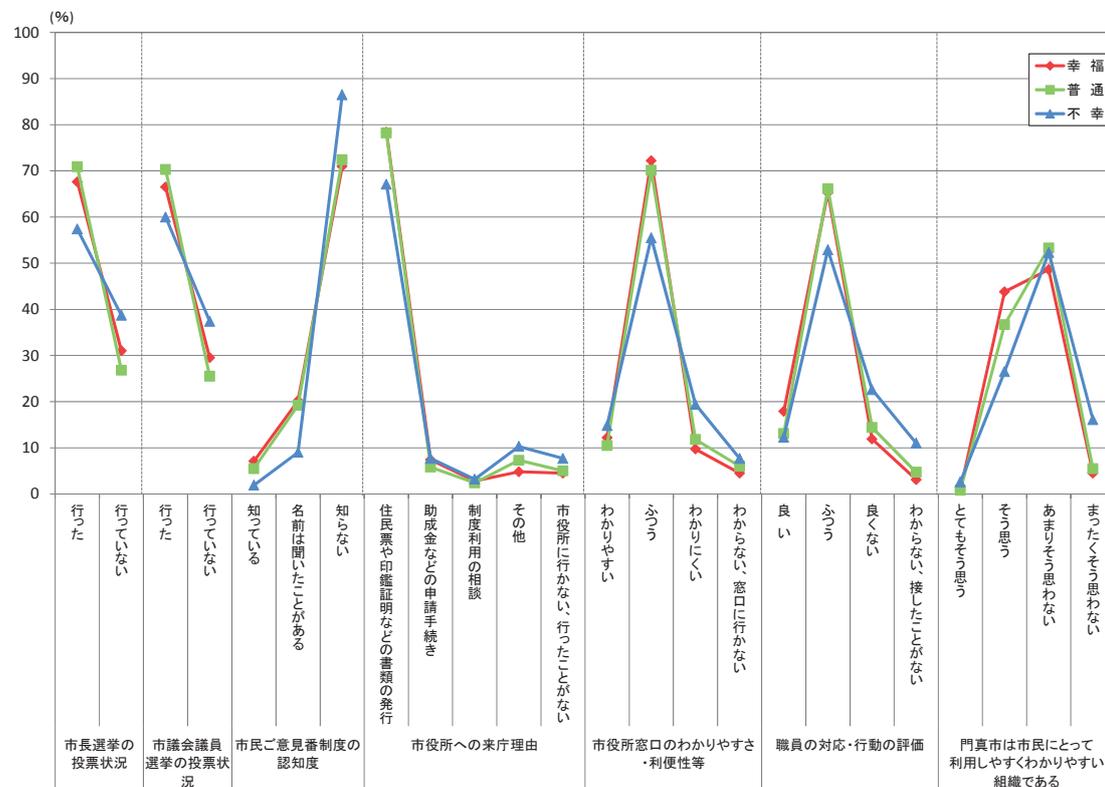
#### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



## (2) 基本目標2. 将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち

### ① 子育てへの満足感(構成要素⑤)

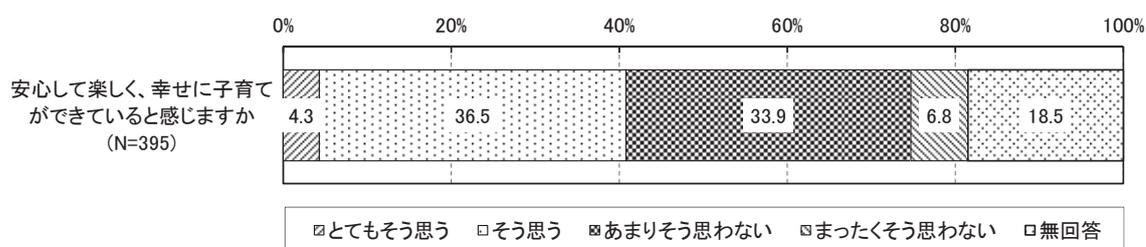
安心して楽しく、幸せに子育てができていると感じるか、という子育てへの満足感を問う設問に対しては、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせるとおよそ4割が肯定的な回答をしている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「とてもそう思う」という人は幸福という人の比率が目立って高く、「まったくそう思わない」という人は、不幸という人の比率が目立って高い。

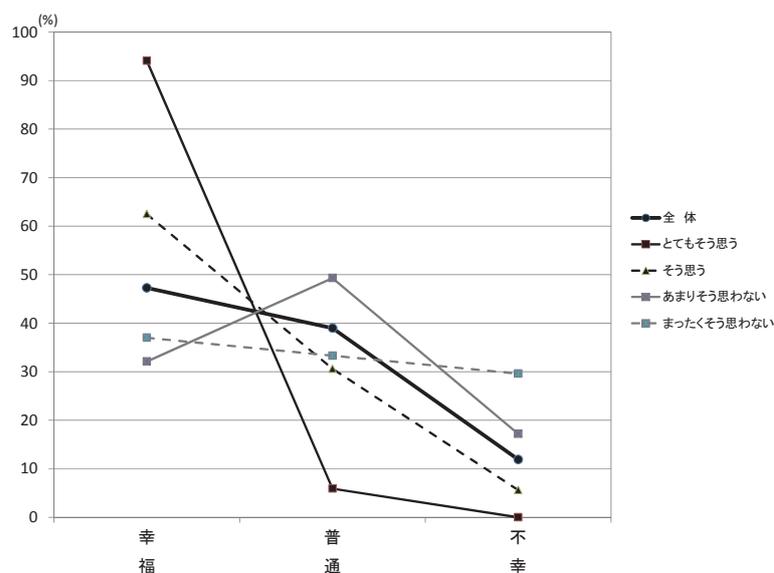
構成要素と決定要因の関係を見ると、「とてもそう思う」「そう思う」という人は、子育ての相談相手が「配偶者」という比率や、子どもとよく遊びに行く公園がある、という比率が目立って高い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、幸福という人は、子育ての相談相手が「配偶者」という比率や子どもとよく遊びに行く公園がある、という比率が目立って高いなど、構成要素と似た傾向を示している。不幸という人は、相談相手として「配偶者」や「親」を挙げる比率が低く、「いない」という回答の比率が目立って高い。

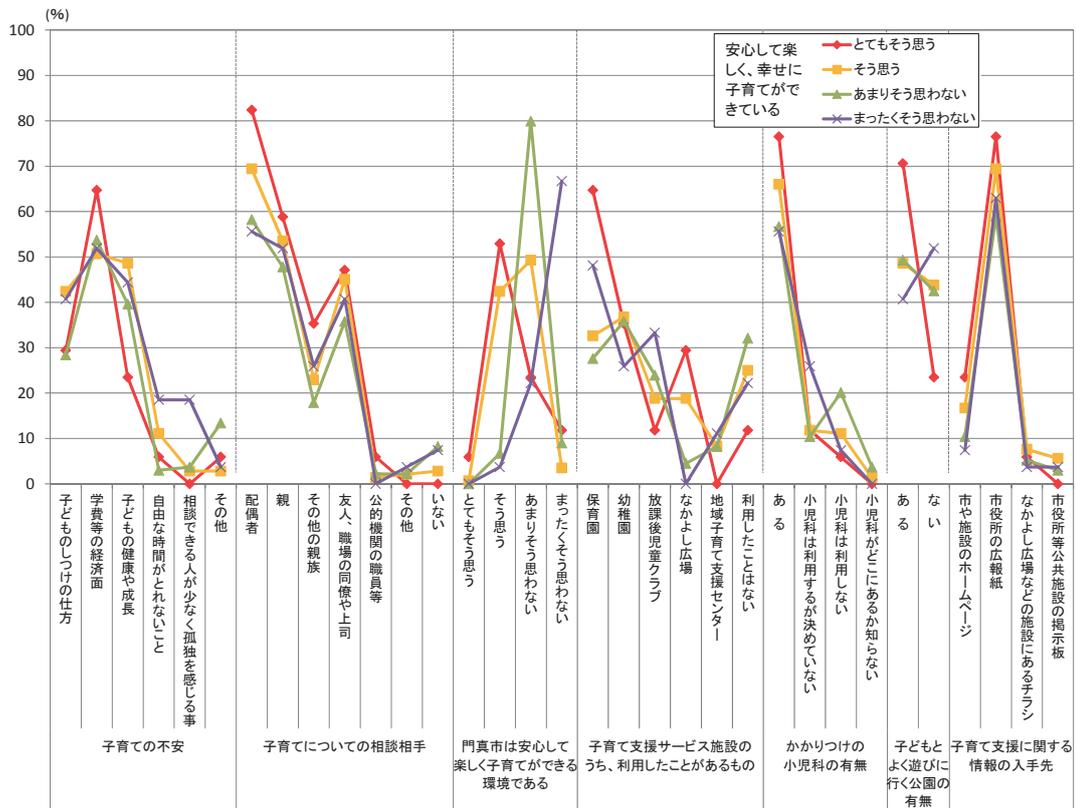
#### ア. 構成要素の回答状況



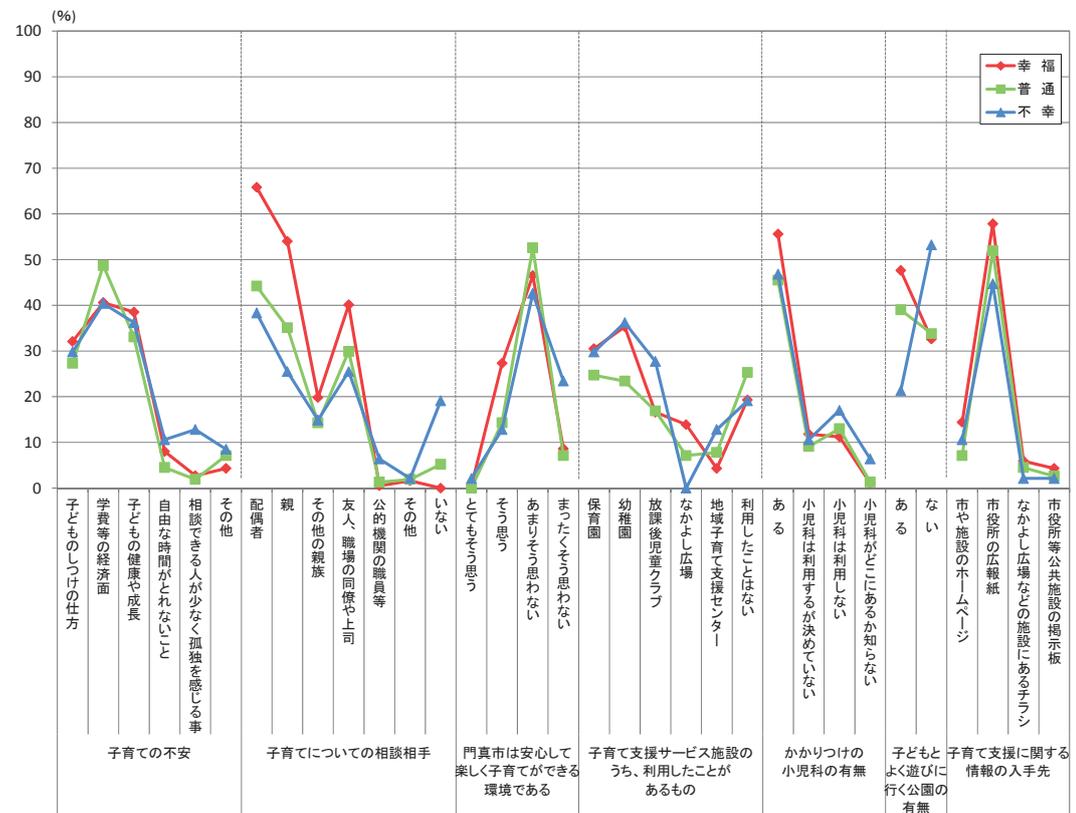
#### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



## ② 子どもの健やかな成長実感(構成要素⑥)

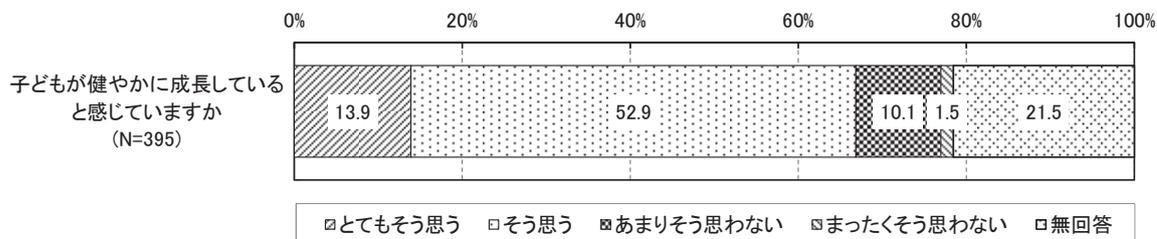
子どもが健やかに成長していると感じるか、という問いに対しては、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせると全体のおよそ3分の2が肯定的な回答をしている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「とてもそう思う」という人は幸福という人の比率が目立って高く、「まったくそう思わない」という人は不幸という人の比率が目立って高い。

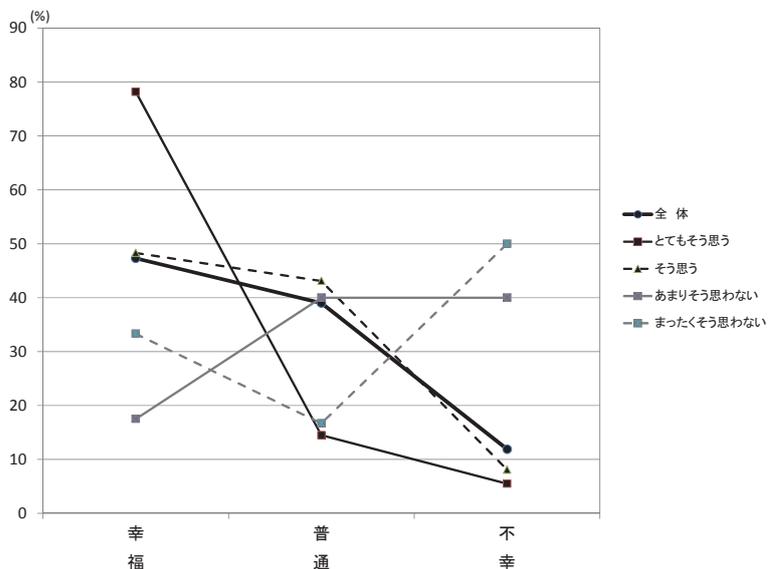
構成要素と決定要因の関係を見ると、子どもの健やかな成長実感について肯定的な回答をしている人は、親子間でコミュニケーションが取れていると感じている人が多い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、幸福という人は親子間でコミュニケーションが取れていると感じている人が多く、不幸という人は逆にコミュニケーションがあまり取れていないと感じている人が多い。また、不幸という人において、子どもが塾や習い事に行っていないという人の比率が目立って高い。

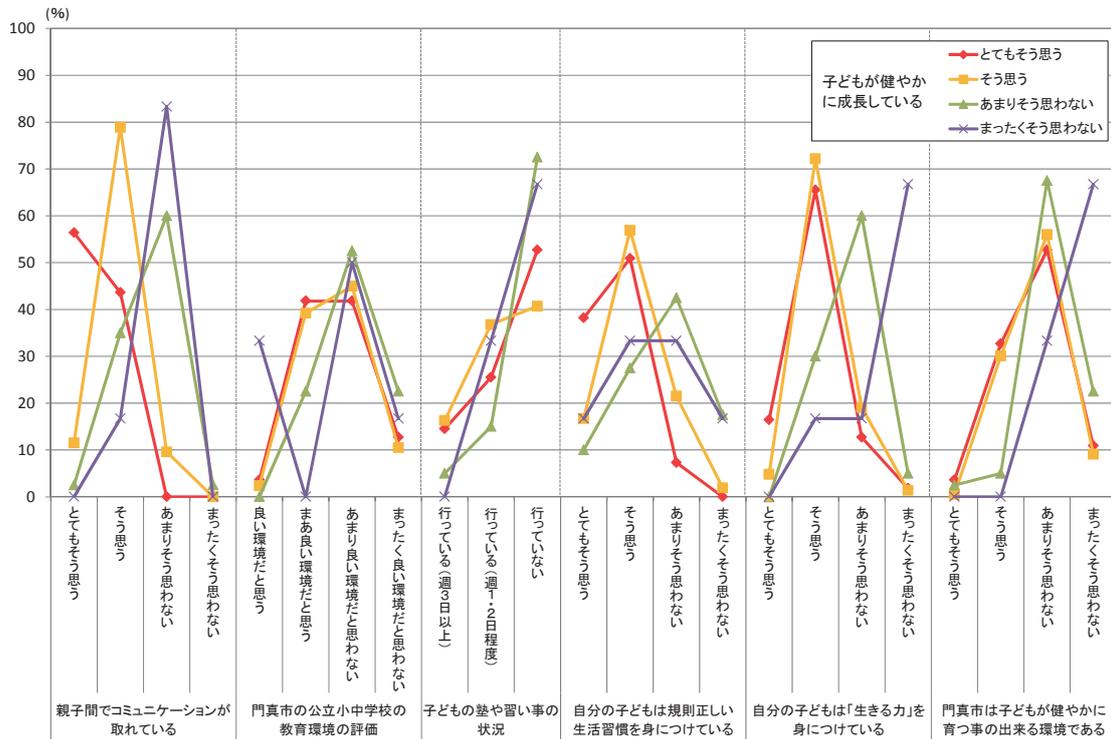
### ア. 構成要素の回答状況



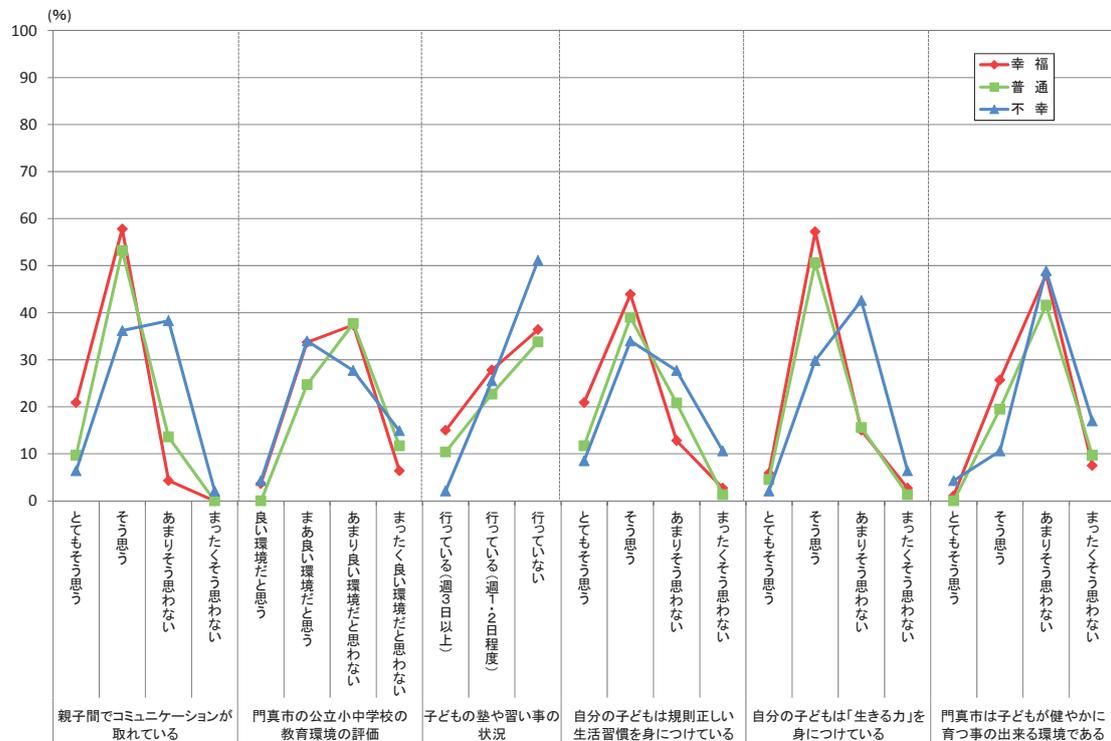
### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



### (3) 基本目標3. 安全・安心で快適に暮らせる明るいまち

#### ① 犯罪や災害への対策(構成要素⑦)

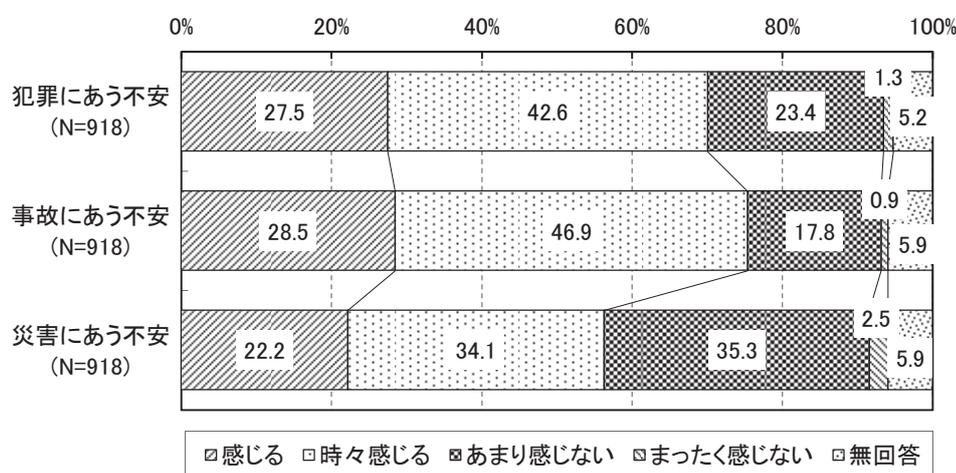
犯罪や事故・災害にあう不安については、いずれも半分以上の人が「感じる」「時々感じる」と回答している。特に事故にあう不安についての比率が最も高い。

構成要素と幸福度の関係を見ると、事故にあう不安については「まったく感じない」という人において幸福という人の比率が高いが、全体的にあまり大きな傾向の差は見られない。

構成要素と決定要因の関係を見ると、実際に犯罪被害にあったり、事故にあいかけた経験がある人は、犯罪や事故にあう不安を「感じる」という比率が特に高くなっている。

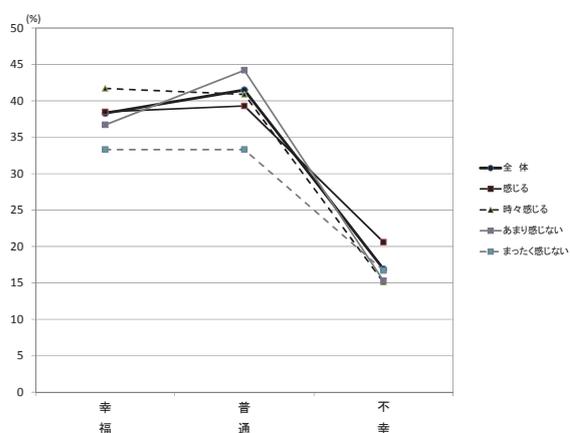
幸福度と決定要因の関係を見ると、不幸という人において、事故や災害に向けた備えとして「最寄りの避難場所を確認している」という人の比率が低く、「特にしていない」という回答の比率が目立って高い。

#### ア. 構成要素の回答状況

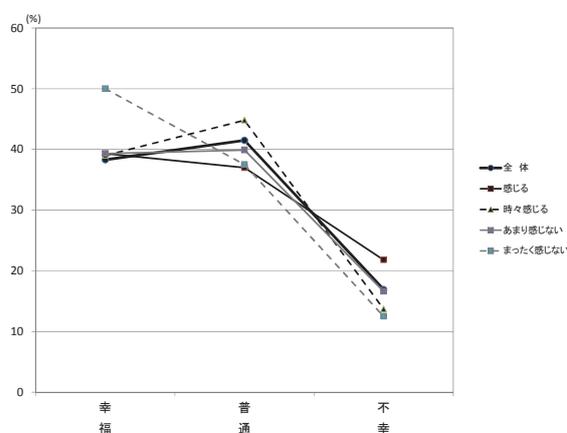


#### イ. 構成要素と幸福度の関係

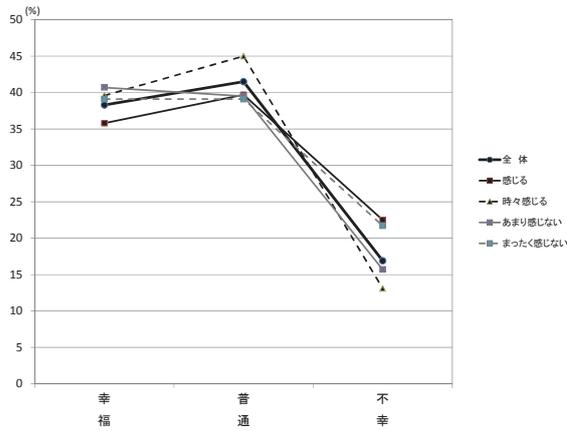
(犯罪にあう不安)



(事故にあう不安)

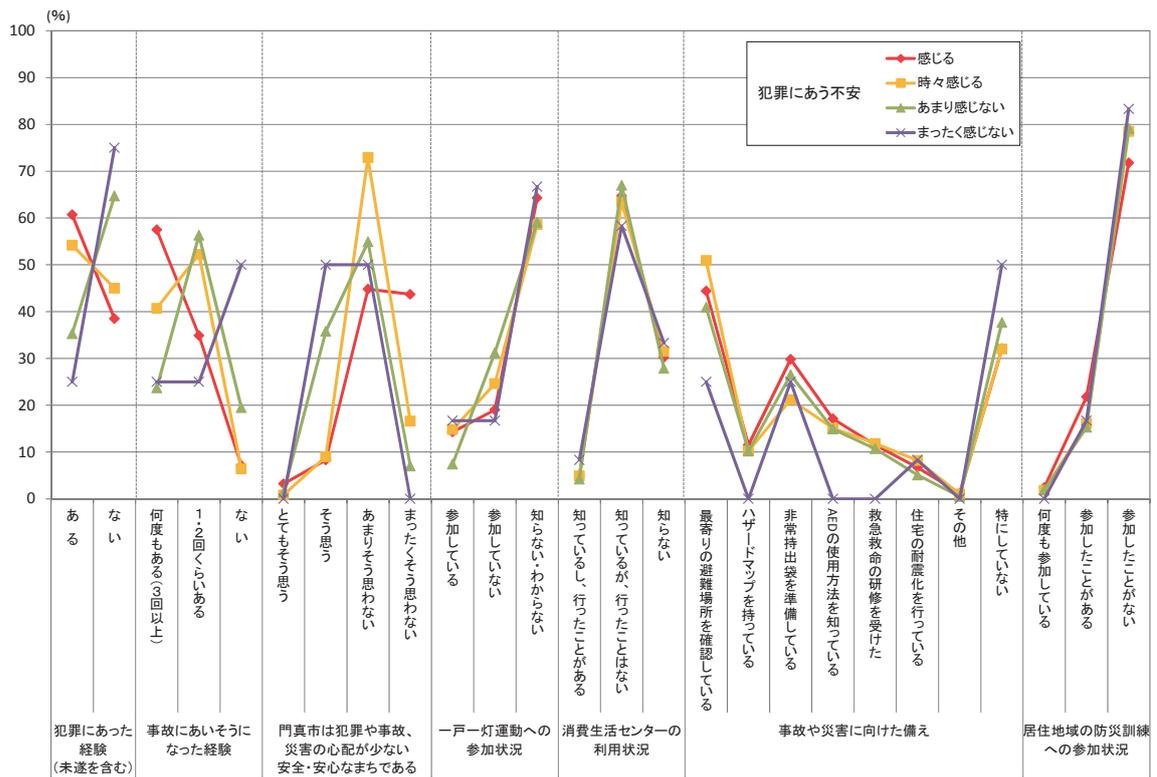


(災害にあう不安)

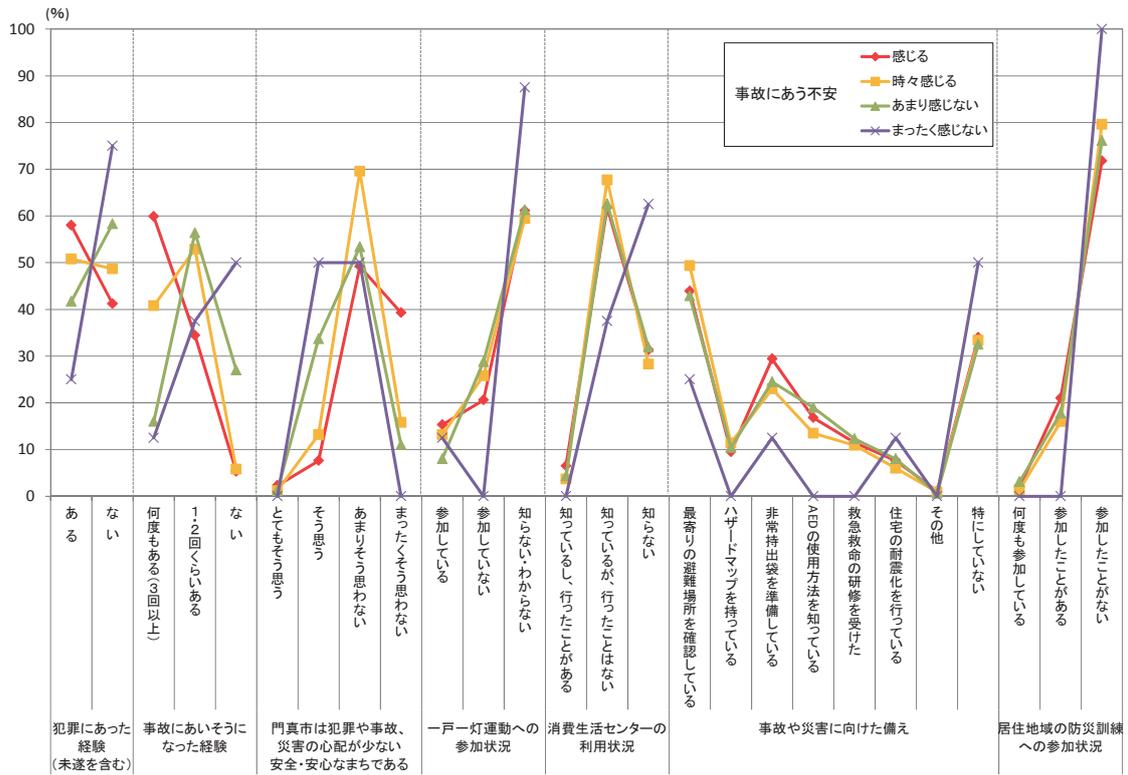


ウ. 構成要素と決定要因の関係

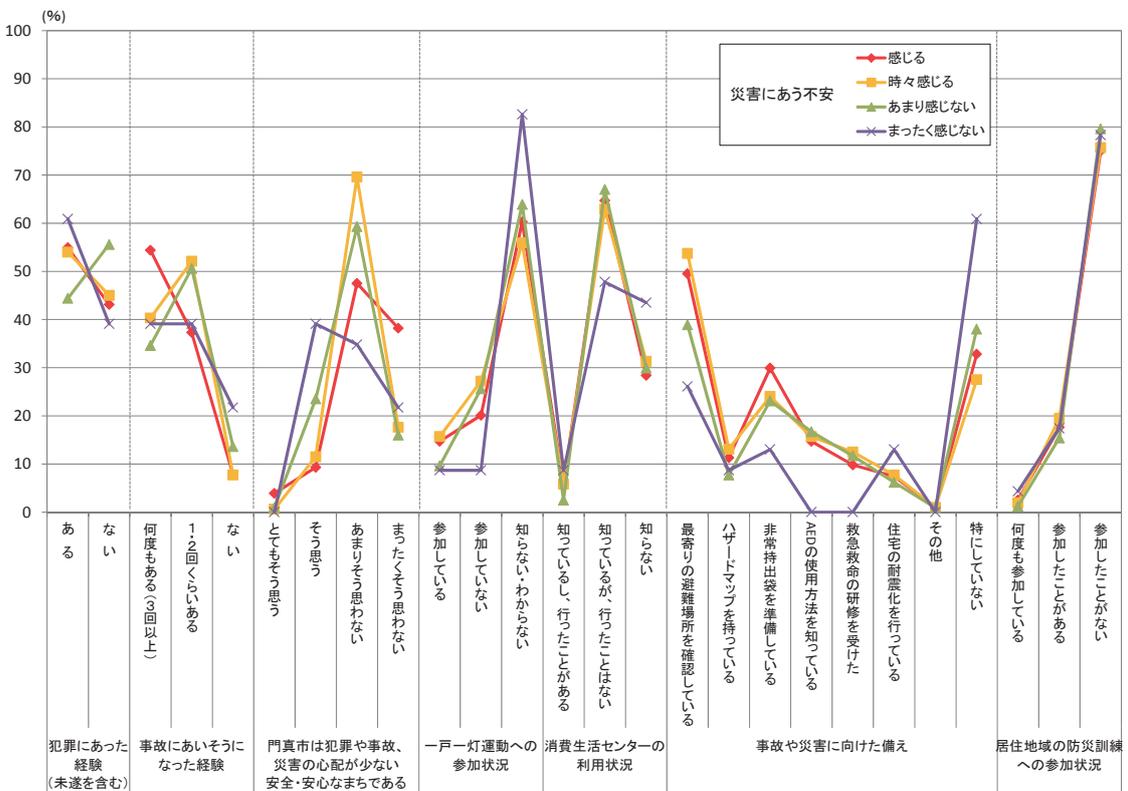
(犯罪にあう不安)



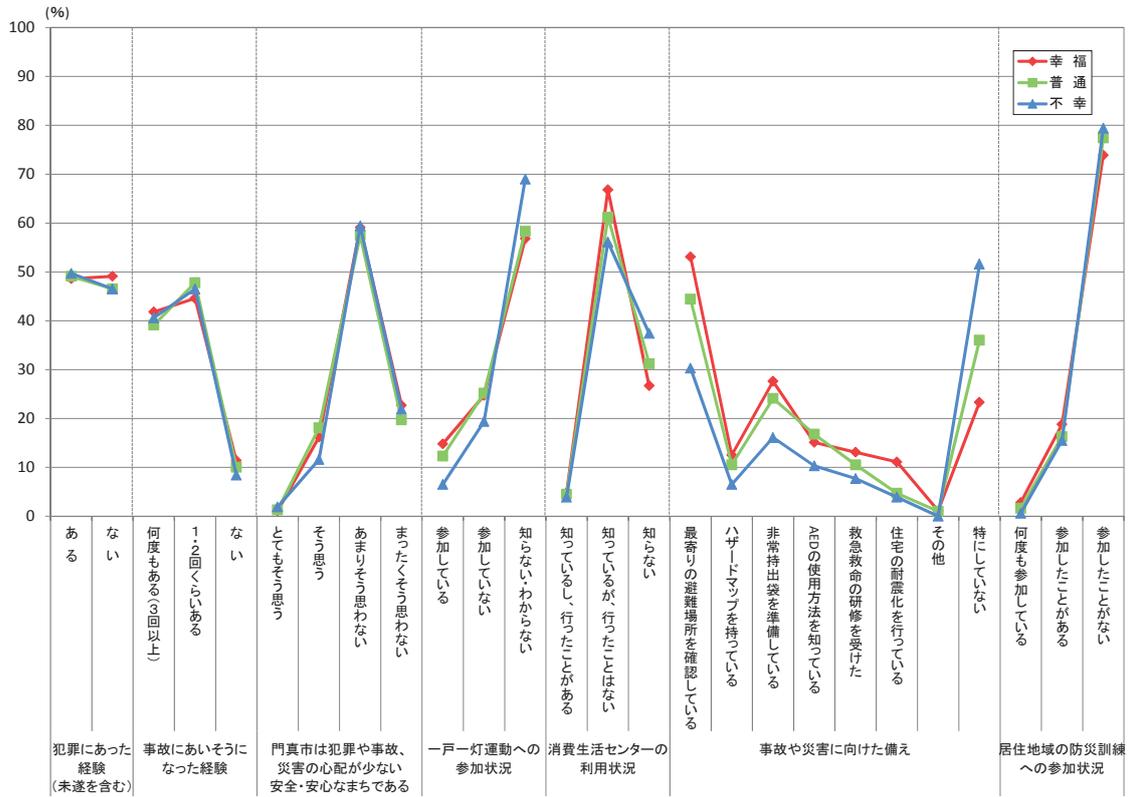
### (事故にあう不安)



### (災害にあう不安)



## エ. 幸福度と決定要因の関係



## ② 便利で快適な生活実感(構成要素⑧)

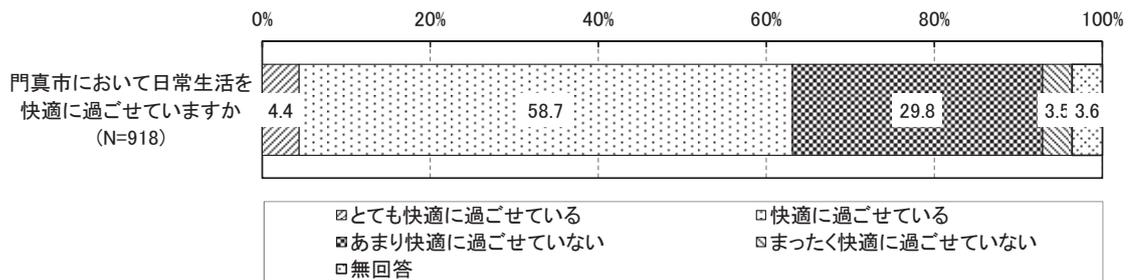
門真市において日常生活を快適に過ごせているか、という便利で快適な生活実感を問う設問に対しては、「とても快適に過ごせている」と「快適に過ごせている」を合わせると、6割以上が肯定的な回答をしている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「とても快適に過ごせている」という人は、幸福という人の比率が目立って高い。

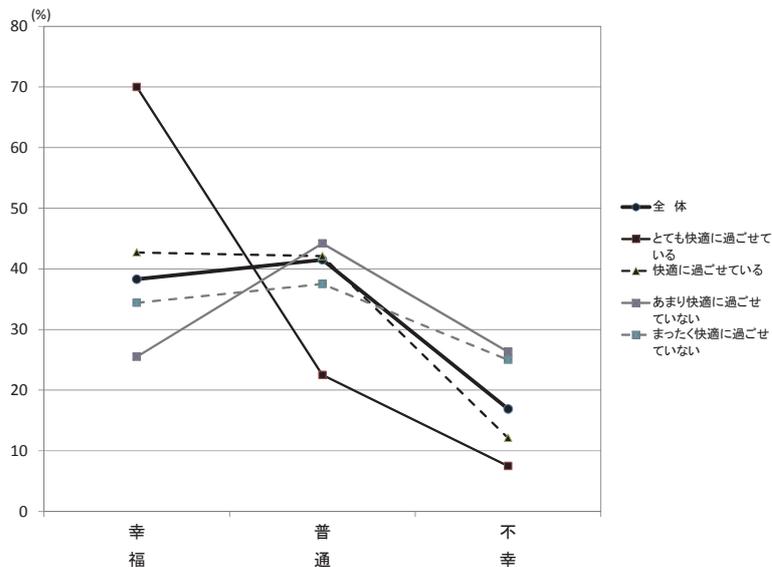
構成要素と決定要因の関係を見ると、「とても快適に過ごせている」「快適に過ごせている」という人は、「居住地域は、快適で生活しやすい基盤整備されている」「主要駅周辺地域はまちの顔としてにぎわいのある魅力的な環境である」「門真市の水道を安心して利用できている」といった項目で、他の属性に比べて評価が高い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、他の分野に比べて大きな傾向の差は見られないが、不幸という人は「門真市の市街地に魅力を感じるか」「門真市は快適で利便性の高い、にぎわいのあるまちである」「門真市の水道を安心して利用できている」「居住地域の生活道路は安全で便利な状態である」といった問いについて、他の属性より評価が低い。

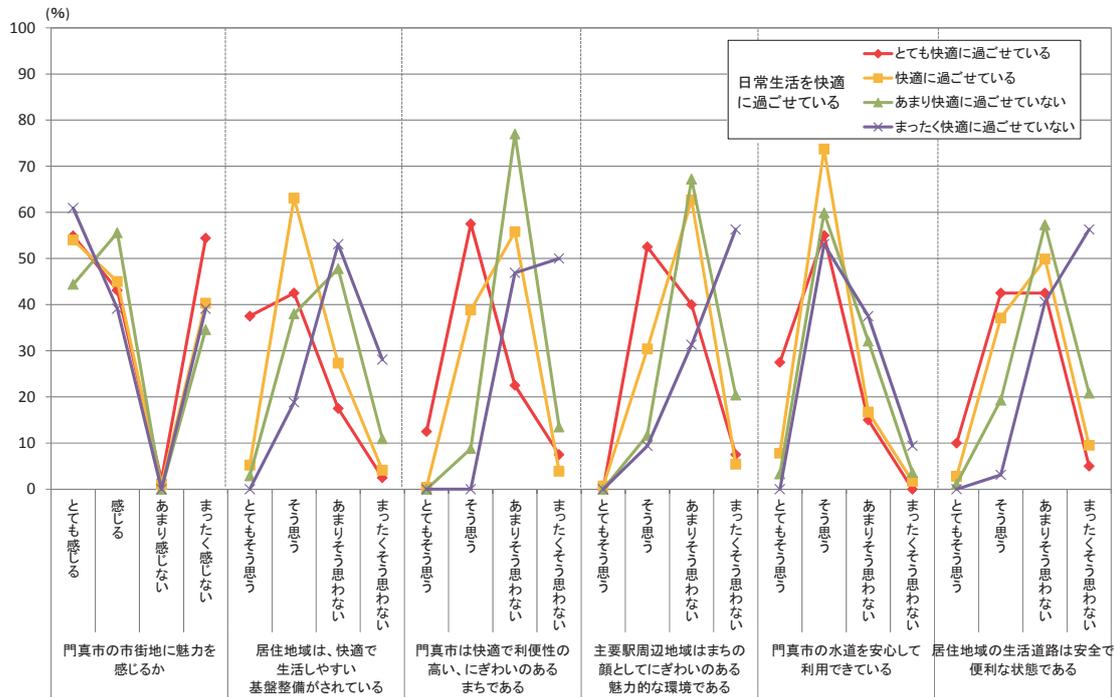
### ア. 構成要素の回答状況



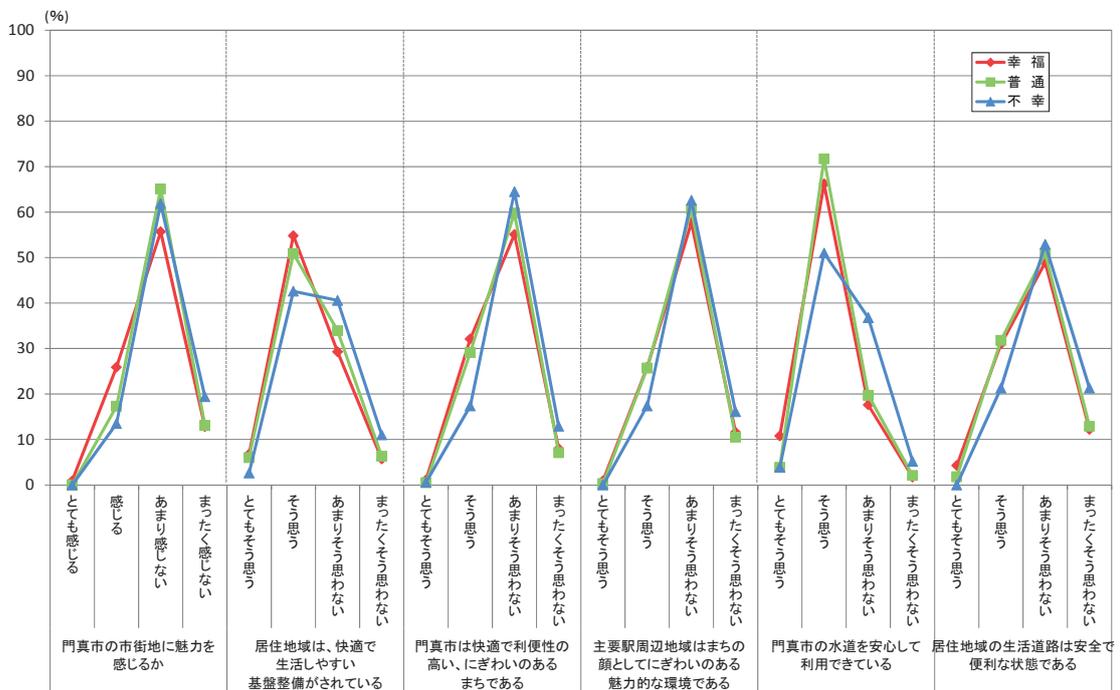
### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



#### (4) 基本目標4. いきいきと人が輝く文化薫るまち

##### ① 平和で人権が守られる環境(構成要素⑨)

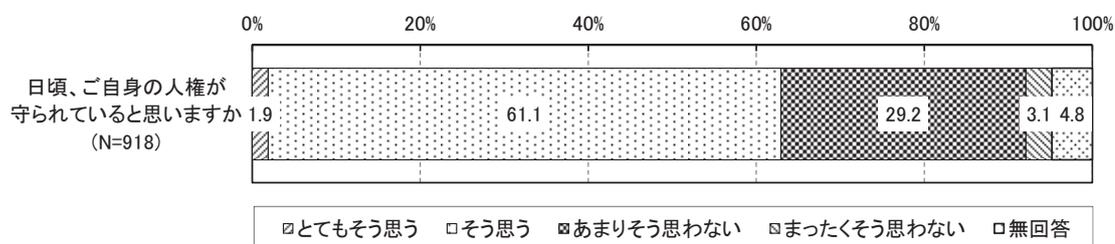
日頃、自分の人権が守られていると思うか、という問いに対しては、「そう思う」という回答が最も多く、「とてもそう思う」と合わせて6割強が肯定的な回答をしている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「とてもそう思う」という人は、幸福という人の比率が目立って高く、「まったくそう思わない」という人は、不幸という人の比率が目立って高い。

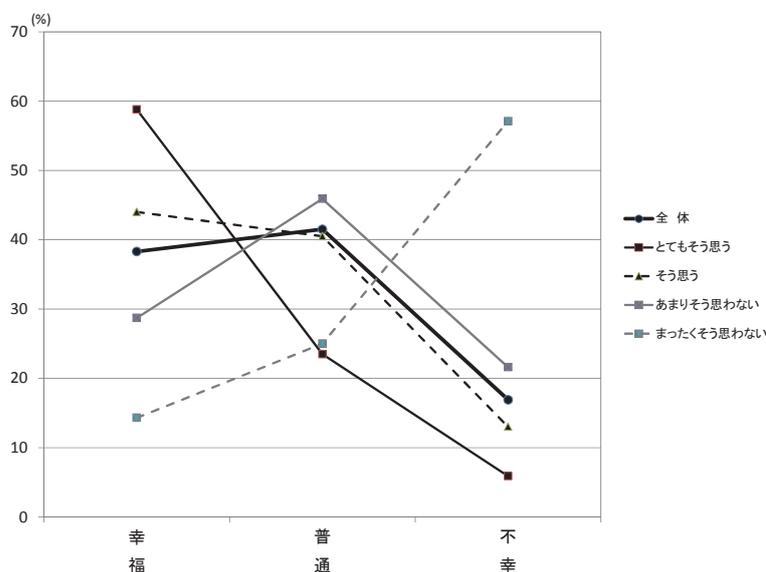
構成要素と決定要因の関係を見ると、自分の人権が守られていると感じている人は、「他者の人権が尊重できている」という人の比率も高い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、幸福という人は「他者の人権を尊重できている」という比率が高く、普通、不幸の順にその比率が下がっていく。

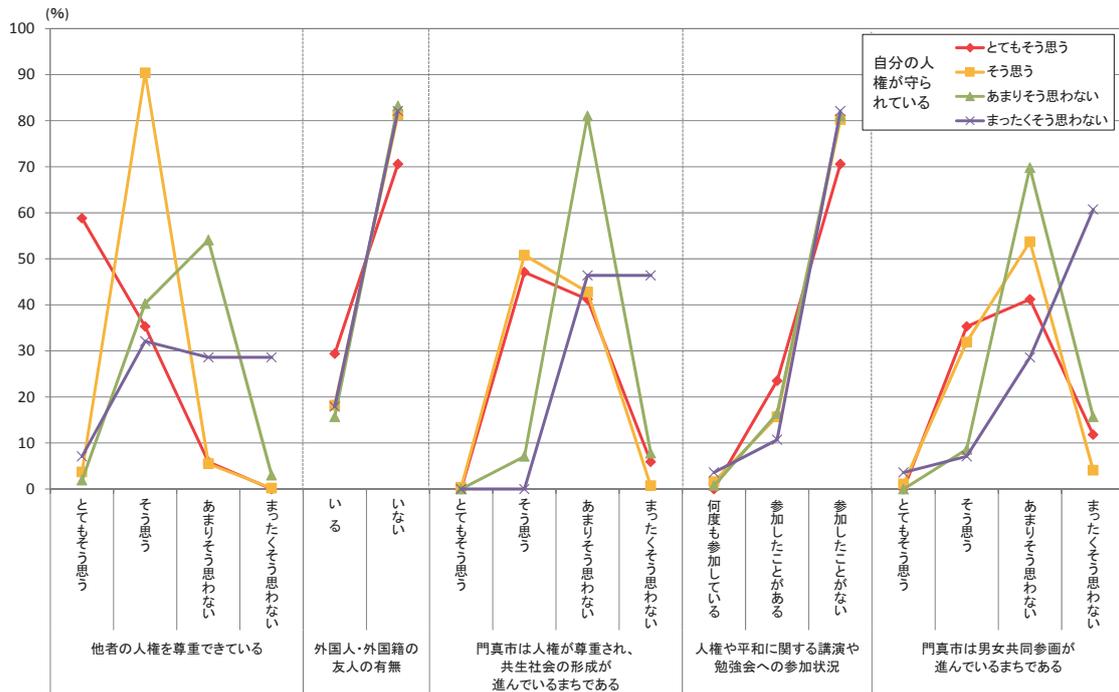
#### ア. 構成要素の回答状況



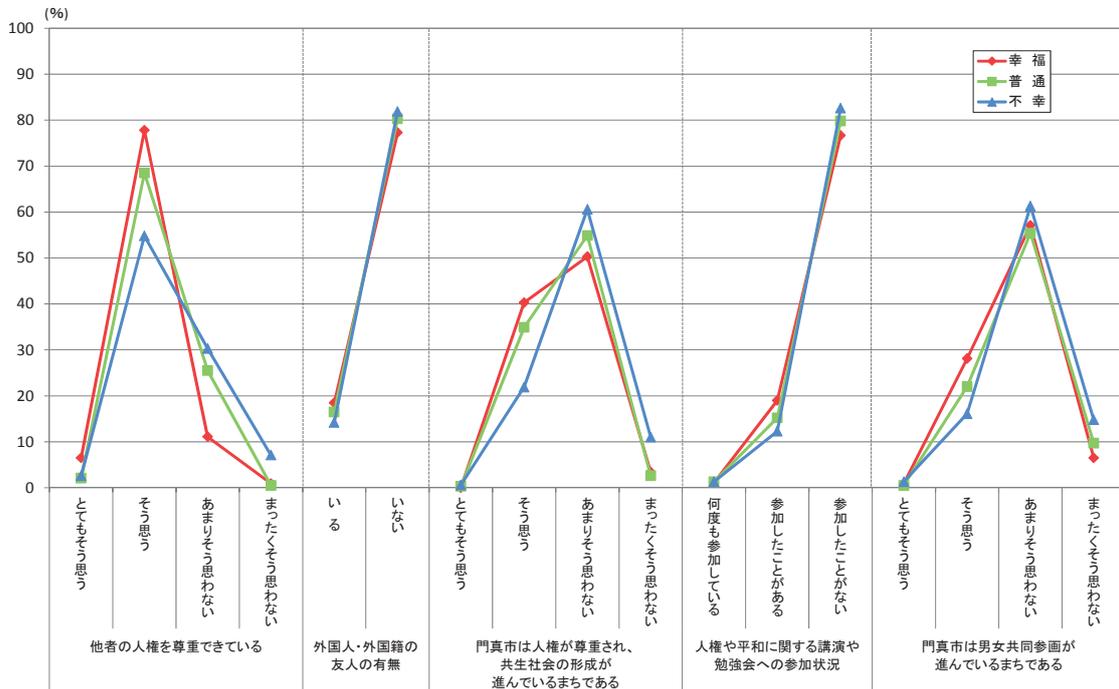
#### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



## ② 文化芸術に触れたり、学習したりする機会(構成要素⑩)

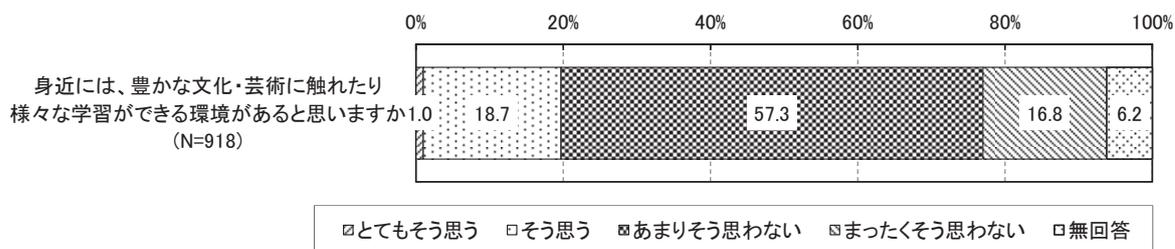
身近に文化・芸術に触れる環境があると思うか、という問いに対しては、「あまりそう思わない」という回答が最も多く、「まったくそう思わない」と合わせて7割以上が否定的な回答をしている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「まったくそう思わない」という人においては、不幸という人の比率が目立って高い。

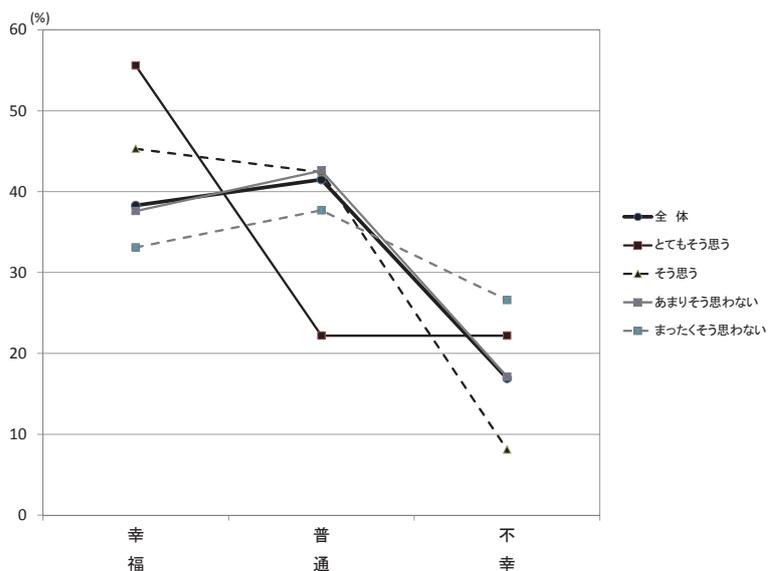
構成要素と決定要因の関係を見ると、身近に文化・芸術に触れる環境があると感じている人は、「音楽、美術など芸術的な活動」「文化、歴史など教養を高める活動」「スポーツ（観戦を含む）」を日頃から行っている比率が、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」という人に比べて顕著に高くなっている。

幸福度と決定要因の関係を見ると、幸福という人は「音楽」「美術」「演劇・舞踏」といった文化芸術を鑑賞・体験している比率が高く、図書館やルミエールホール、市民プラザなどの利用率も高い。一方、不幸という人は「この1年間、特に文化・芸術を体験していない」という比率が目立って高い。

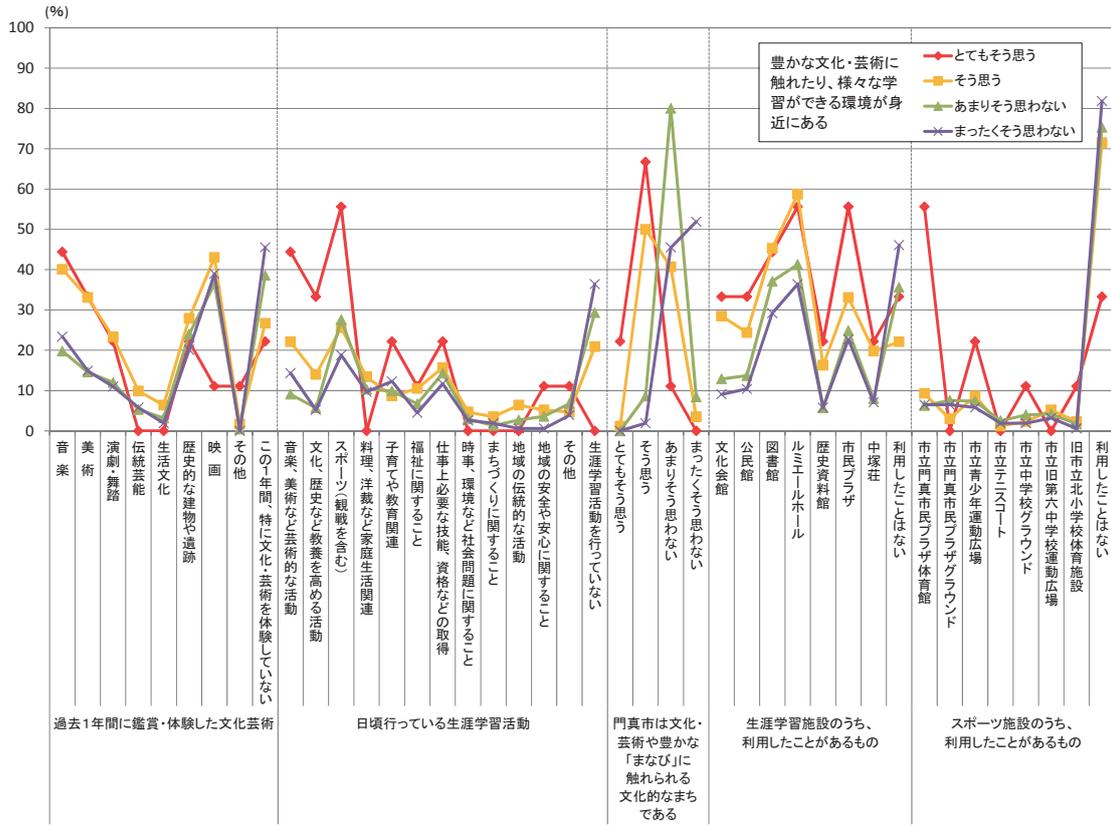
### ア. 構成要素の回答状況



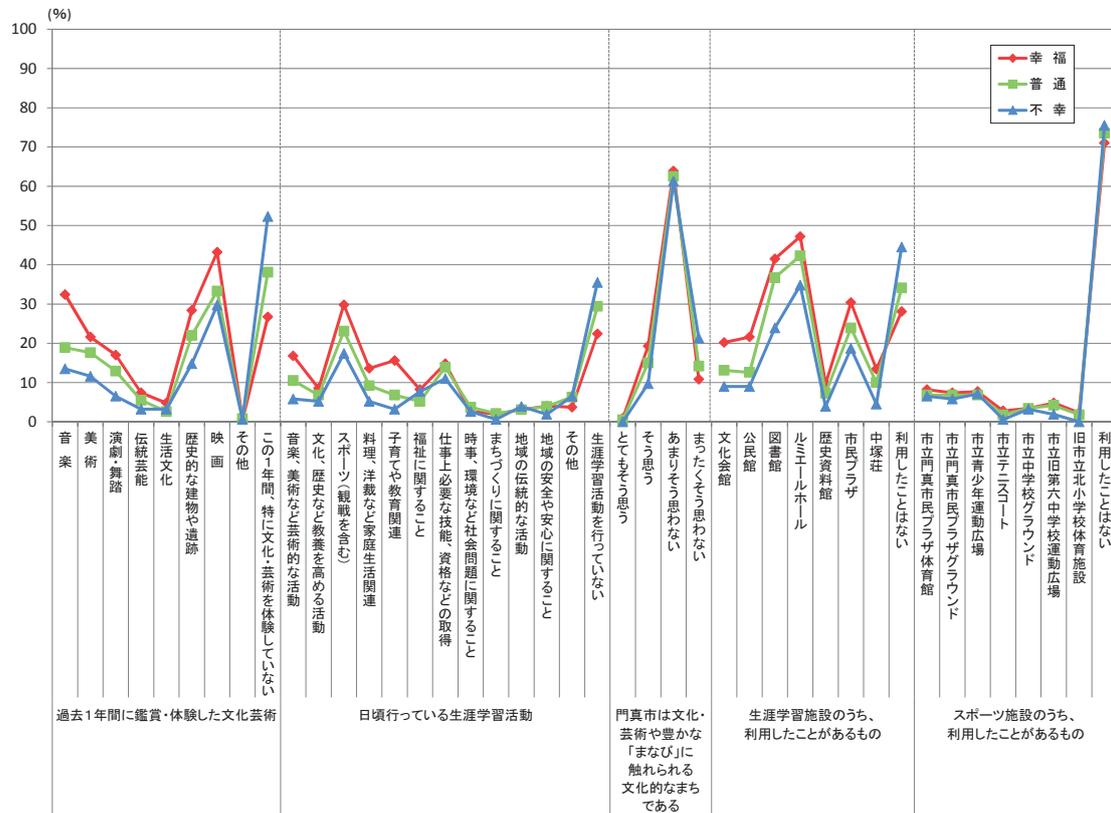
### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



### ③ 地域への愛着(構成要素①)

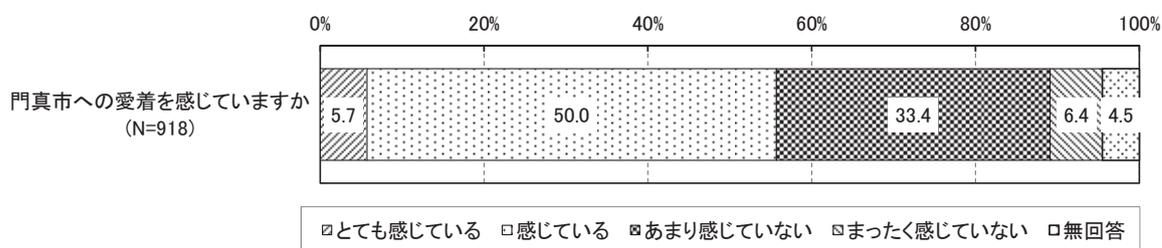
門真市に愛着を感じているか、という問いに対しては、「とても感じている」「感じている」を合わせると5割を超えている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「とても感じている」という人は、幸福という人の割合が目立って高く、「まったく感じていない」という人は不幸という人の比率が目立って高い。

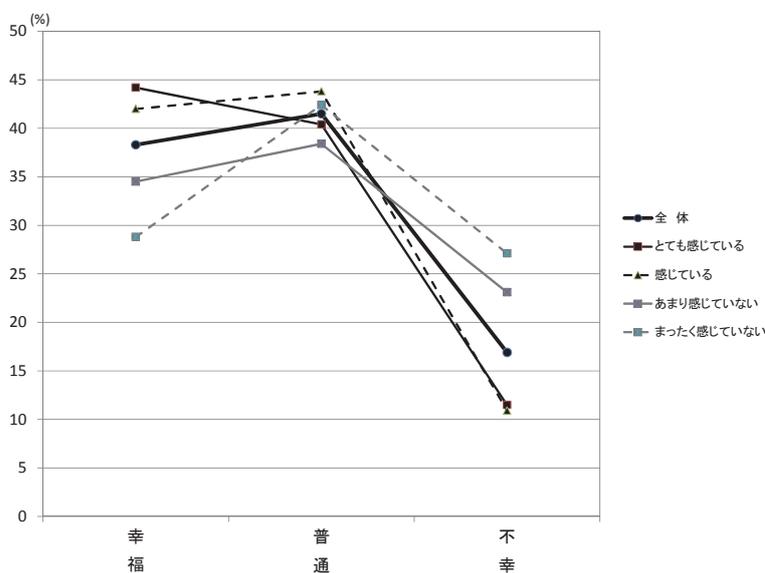
構成要素と決定要因の関係を見ると、門真市に愛着を感じている人は、伝統文化行事への参加経験がある人が多く、市内の歴史文化遺産への認知度も高い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、幸福と普通という人の間に大きな差はないが、不幸という人は伝統文化行事について「参加したことがない」という比率が目立って高く、市内の歴史文化遺産への認知度も目立って低いなど、地域の行事や名所に対する関心の薄さがうかがえる。

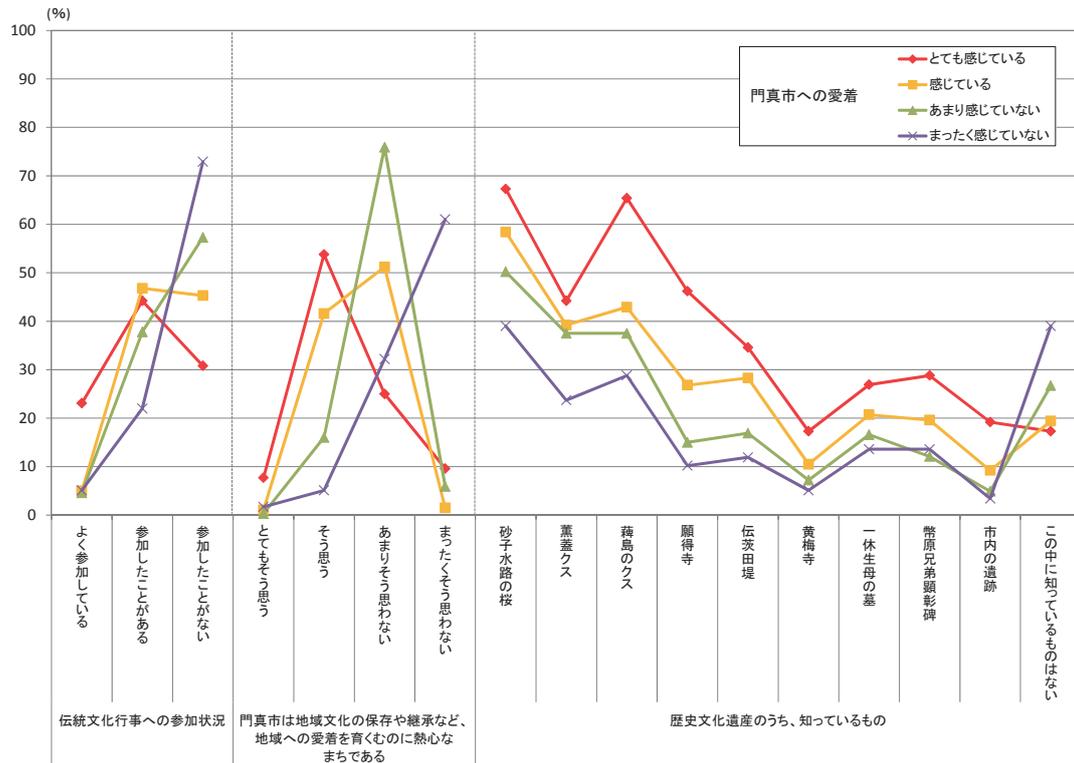
#### ア. 構成要素の回答状況



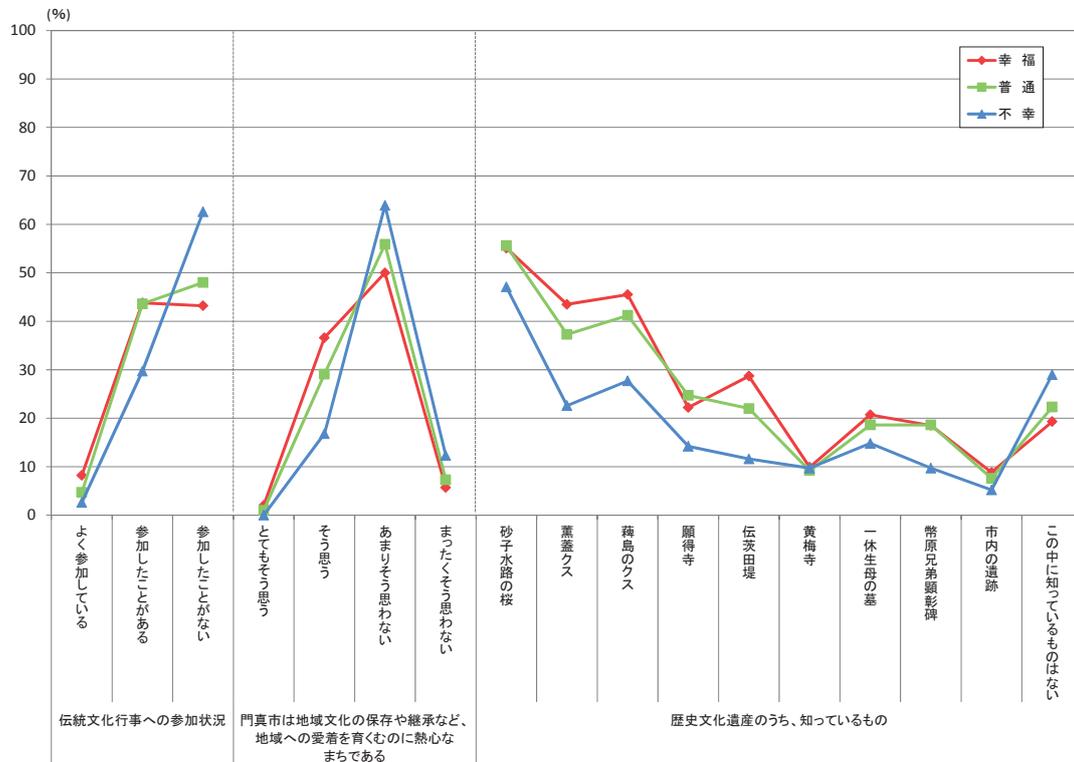
#### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



## (5) 基本目標5. 健やかな笑顔あふれる支え合いのまち

### ① 支え合い実感(構成要素⑫)

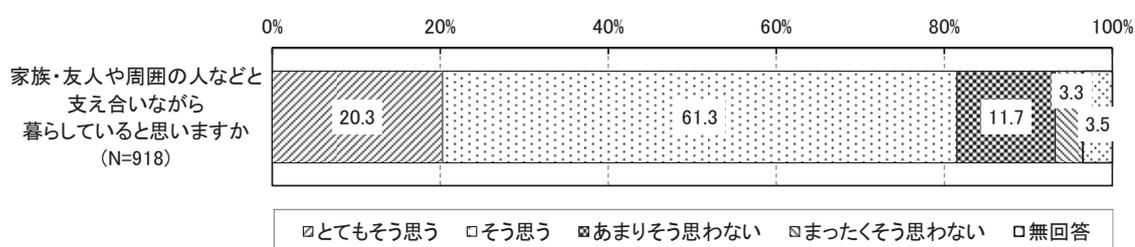
家族・友人や周囲の人などと支え合いながら暮らしていると思うか、という問いに対しては、「とてもそう思う」が約2割、「そう思う」が約6割で、合わせて8割以上が肯定的な回答をしている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「とてもそう思う」という人は幸福という比率が顕著に高く、「まったくそう思わない」という人は、不幸という比率が顕著に高い。

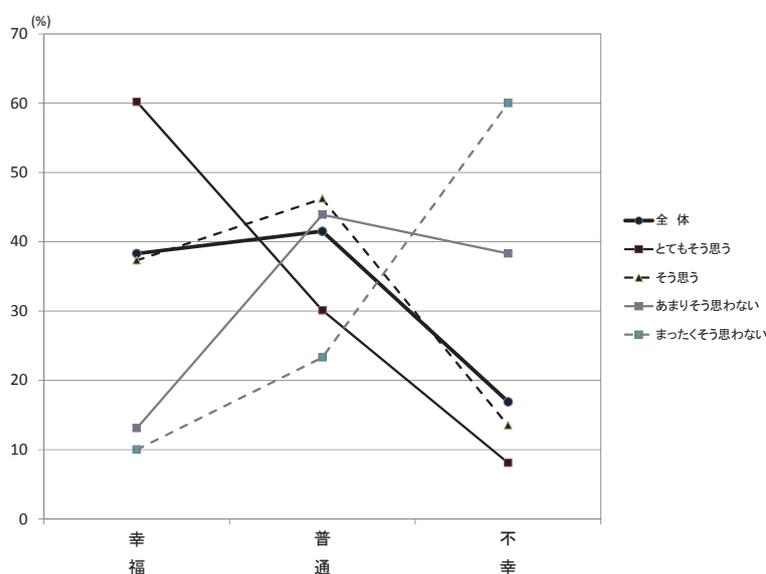
構成要素と決定要因の関係を見ると、肯定的な回答をしている人は、困ったときに頼りになる、反対に頼りにされる人が「いる」という回答が多いほか、民生委員の認知度が比較的高い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、幸福という人は困ったときに頼りになる、頼りにされる人が「いる」という回答が多い。不幸という人はそのような人が「いない」という回答が多い。

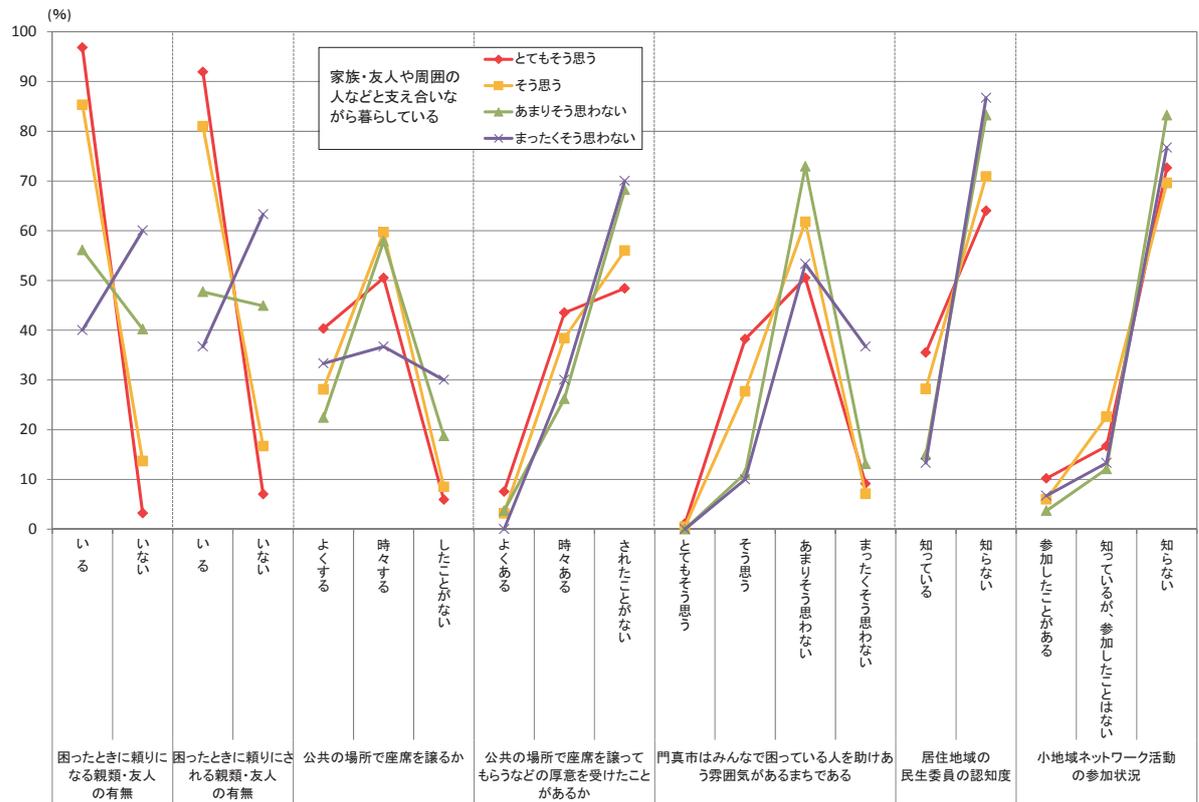
### ア. 構成要素の回答状況



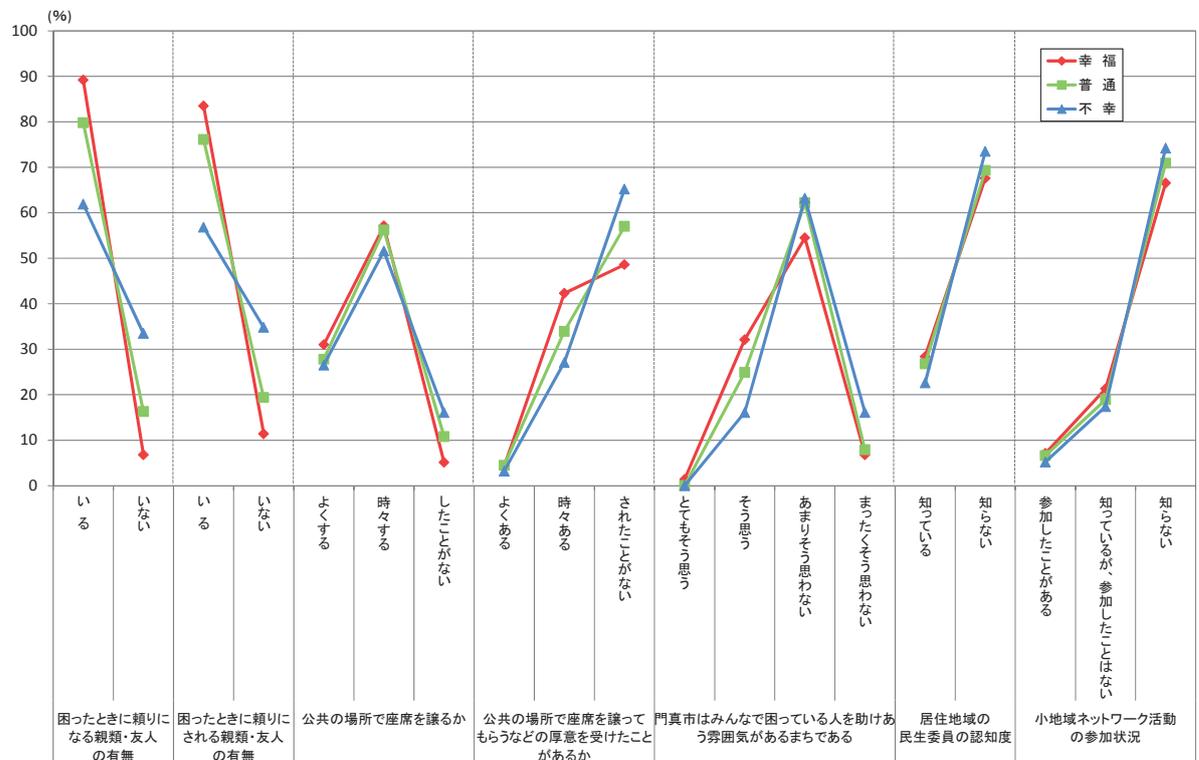
### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



## ② 日常生活への不安(構成要素⑬)

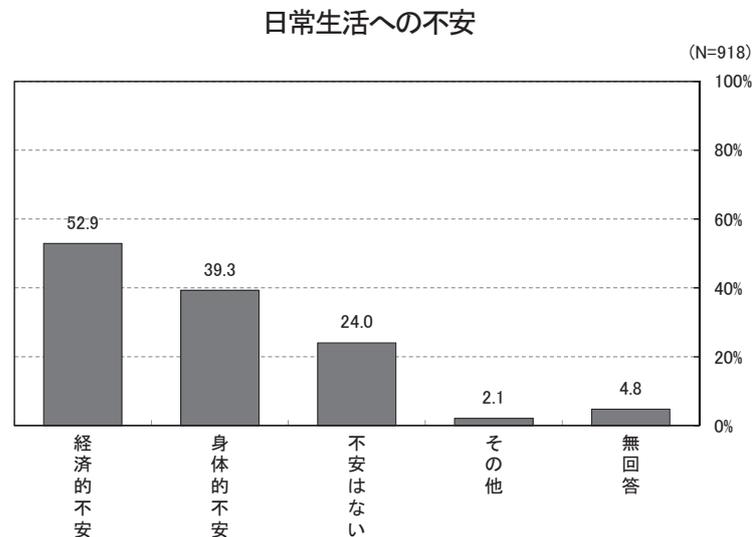
日常生活を送る上での不安としては、「経済的不安がある」としている人が52.9%と半数以上であり、「不安はない」という回答は24.0%となっている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「不安はない」という人は、幸福という人の比率が顕著に高い。

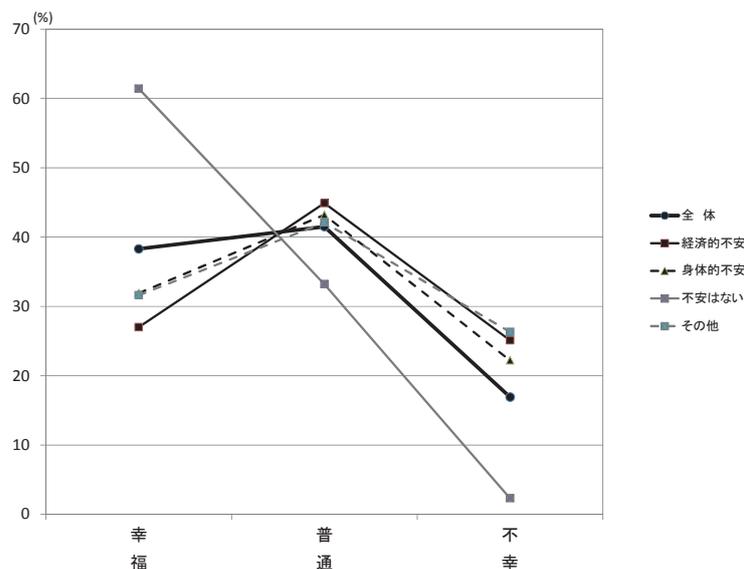
構成要素と決定要因の関係を見ると、経済的な不安があるという人は、経済的負担のうち、「家賃・住宅ローン等住居に関する負担」が最も重いと感じており、身体的不安があるという人は「自分や家族の医療・介護に関する負担」が最も重いと感じている。

幸福度と決定要因の関係を見ると、不幸という人は、自身の経済的環境について「あまり恵まれていない」「まったく恵まれていない」という回答の比率が顕著に高いほか、経済的負担について、「食料や日用品の購入に関する負担」が最も重いと感じている人の比率が、他の属性に比べてやや高くなっている。

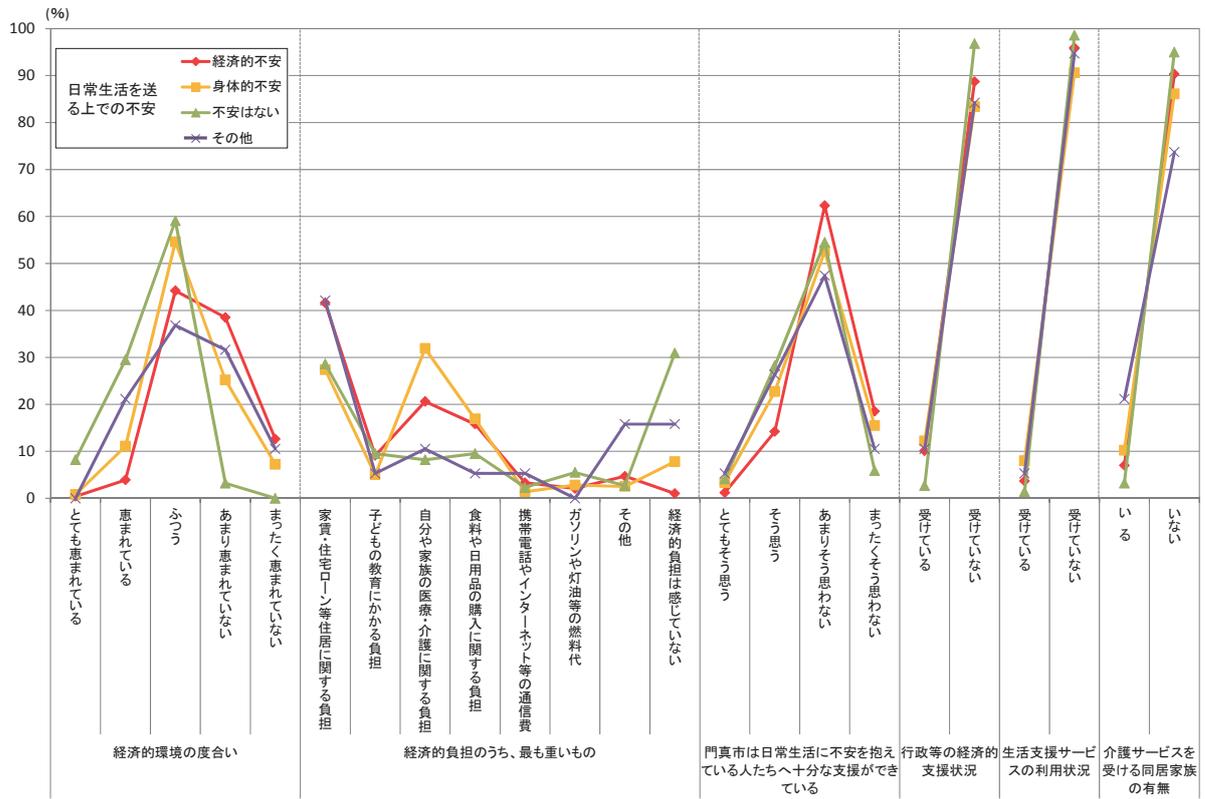
### ア. 構成要素の回答状況



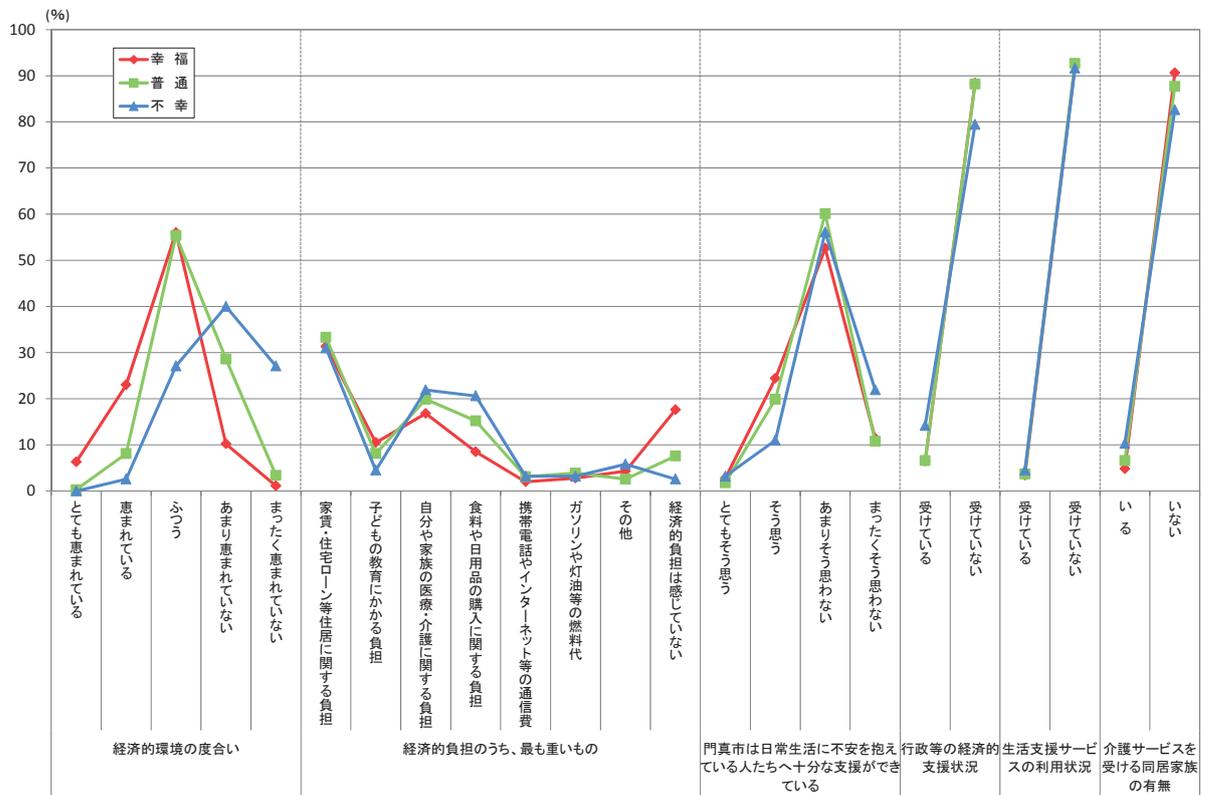
### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



### ③ 心と体の健康実感(構成要素⑭)

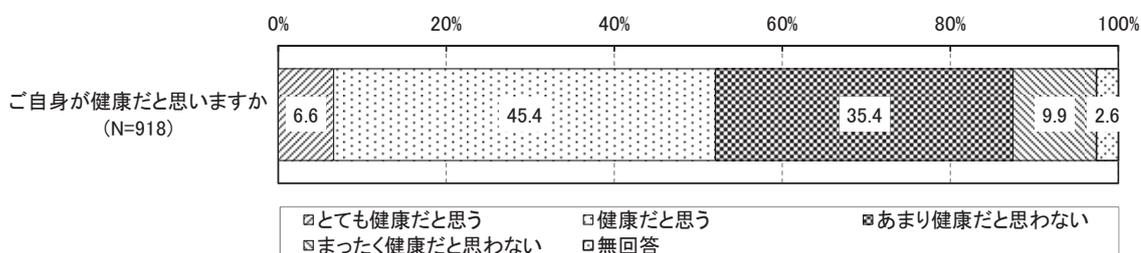
自身の主観的な健康状況については、「とても健康だと思う」「健康だと思う」を合わせると半数をやや超える。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「とても健康だと思う」という人は、幸福という人の比率が目立って高く、「まったく健康だと思わない」という人は、不幸という人の比率が目立って高い。

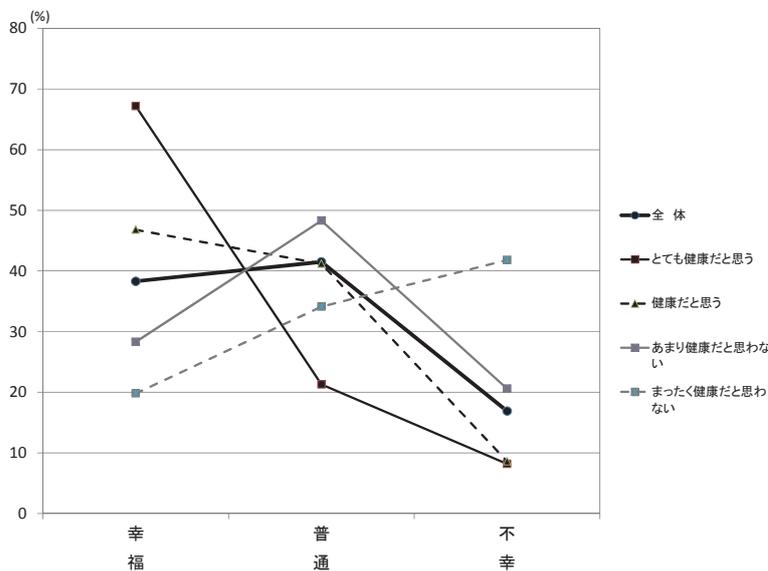
構成要素と決定要因の関係を見ると、否定的な回答をしている人のうち、抱えている持病としては「腰痛・関節痛」を挙げる人の比率が高く、次いで「高血圧」となっている。「とても健康だと思う」という人は、睡眠時間が「6～7時間程度」という比率が目立って高い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、幸福という人は、「持病を抱えていない」「朝食を毎日食べている」といった回答をしている人の比率が高い。

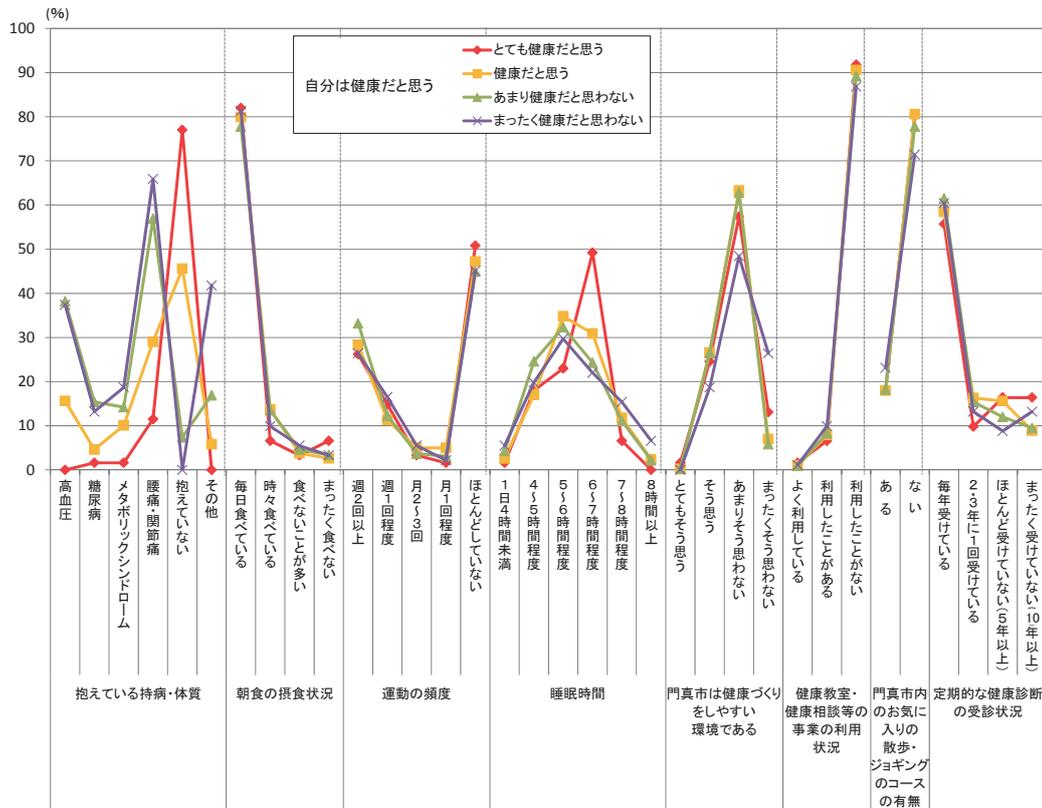
#### ア. 構成要素の回答状況



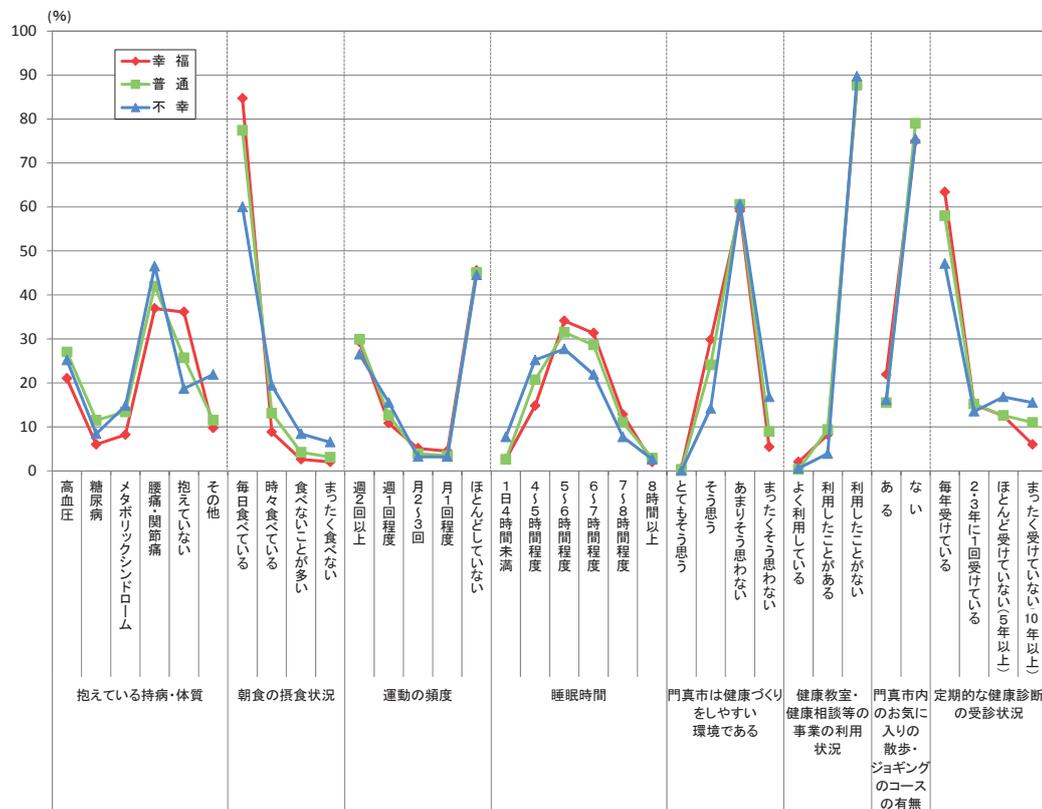
#### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



## (6) 基本目標6. 環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち

### ① 環境意識(構成要素⑮)

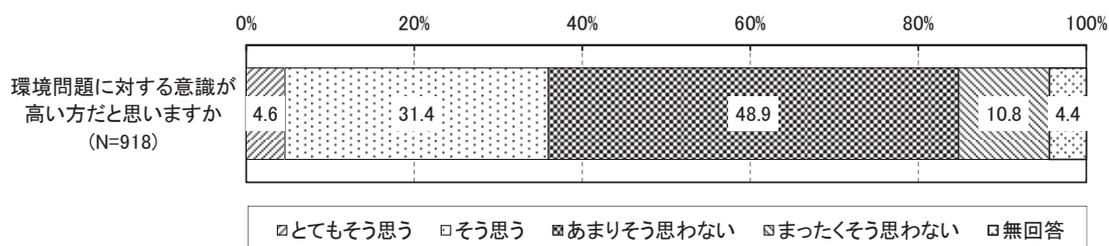
自身は環境問題に対する意識が高い方だと思えるか、という問いに対しては、「あまりそう思わない」という回答が約半数で、「とてもそう思う」「そう思う」と肯定的な回答をしているのは、4割弱となっている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「そう思う」という人は、幸福という人の比率が高いのに対し、「まったくそう思わない」という人は、不幸という人の比率が高い。

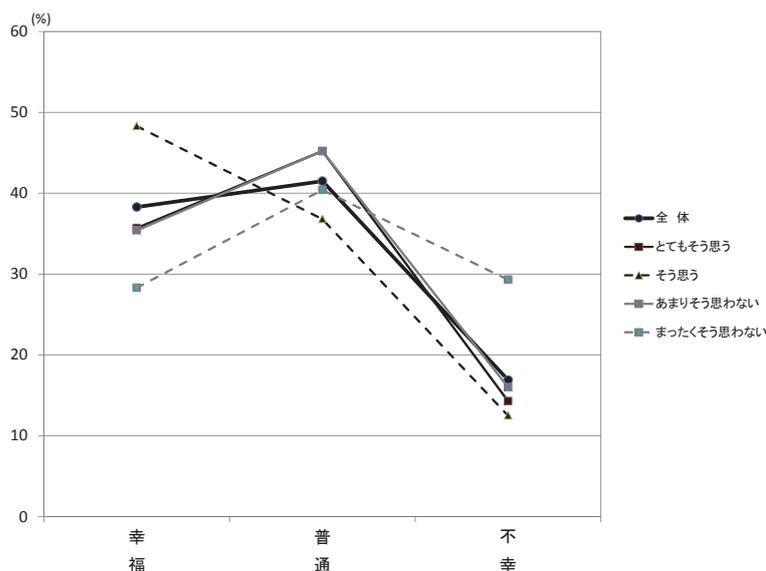
構成要素と決定要因の関係を見ると、「とてもそう思う」という人が環境にやさしいまちづくりに向けて実行している活動として、他の属性との差が大きいのは「自転車や公共交通の利用」であり、「そう思う」を合わせた肯定的な回答をしている人と、そうでない人との差が大きい項目としては「資源のリサイクル」が挙げられる。

幸福度と決定要因の関係を見ると、あまり大きな傾向の差は見られないが、不幸という人は「資源のリサイクル」をしているという人の比率が低く、「騒音・振動」「悪臭の有無」といった環境について「悪い」と評価している比率がやや高い。

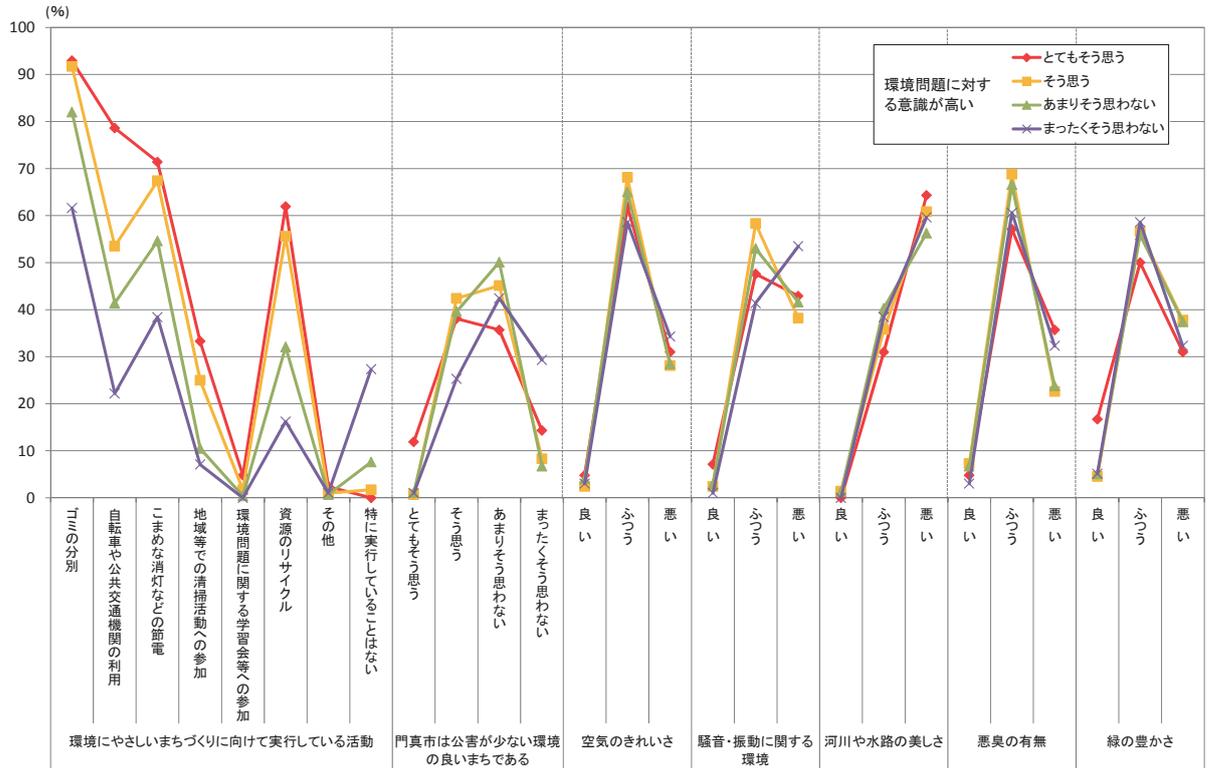
#### ア. 構成要素の回答状況



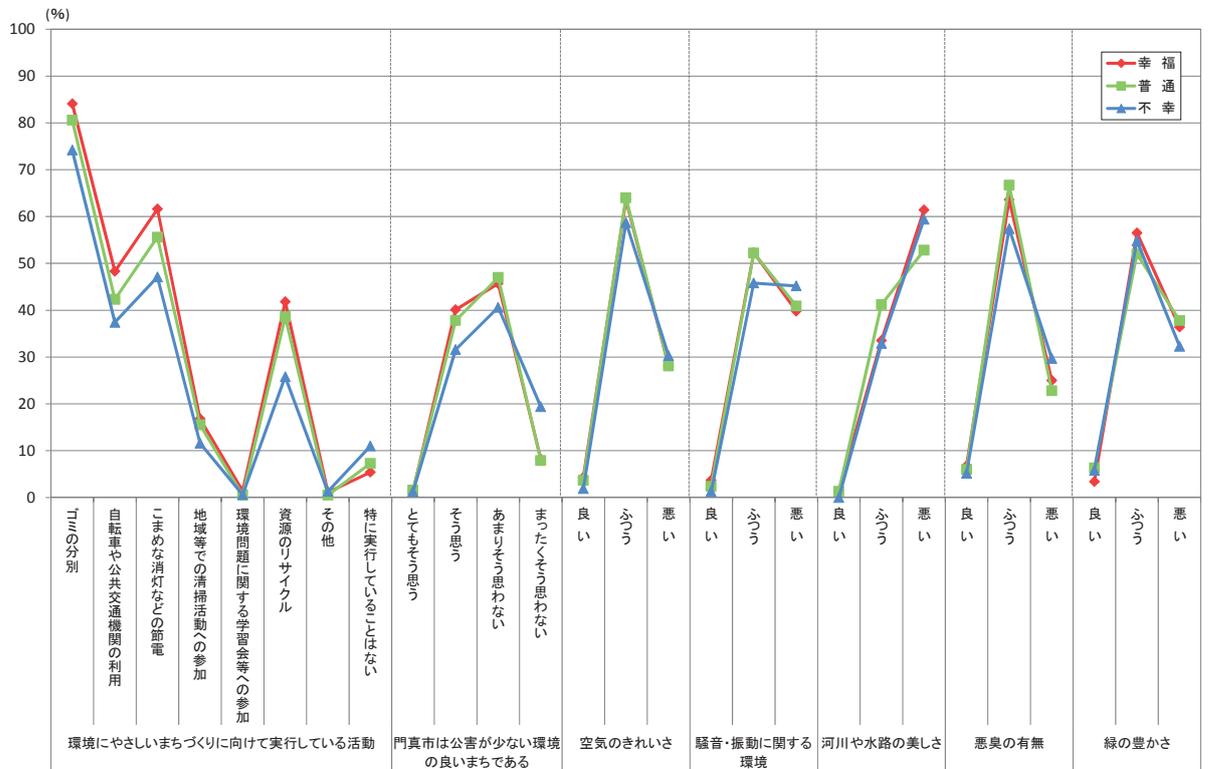
#### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



## ② 自然・うるおい実感(構成要素⑯)

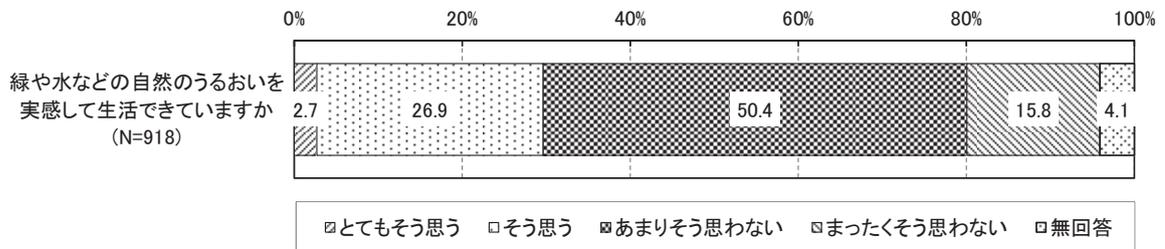
自然のうるおいを実感して生活できているか、という問いに対しては、「あまりそう思わない」という回答が約半数を占め、「とてもそう思う」「そう思う」と肯定的な回答をしている人は3割弱にとどまっている。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「とてもそう思う」という人は幸福という人の比率がやや高く、「まったくそう思わない」という人は不幸という人の比率が高い。

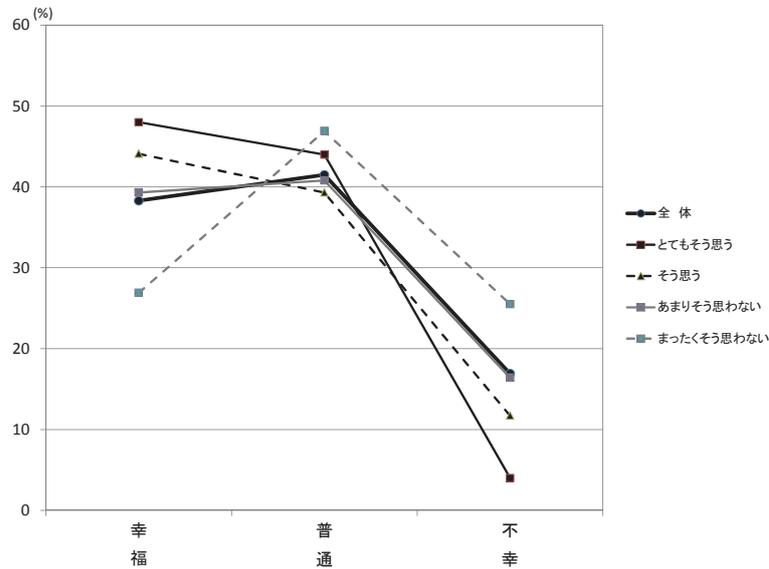
構成要素と決定要因の関係を見ると、肯定的な回答をしている人は、「門真市は公園や親水空間が整備されたうるおいのあるまちである」という問いや、「門真市の公園や緑地を身近に感じるか」という問いに対して肯定的な回答をしている比率が高い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、回答の傾向にあまり大きな差はないが、門真市内で自然のうるおいを感じるために行く場所があるか、という問いに対して「そのような場所に行かない」という人の比率が不幸という人において高くなっている。

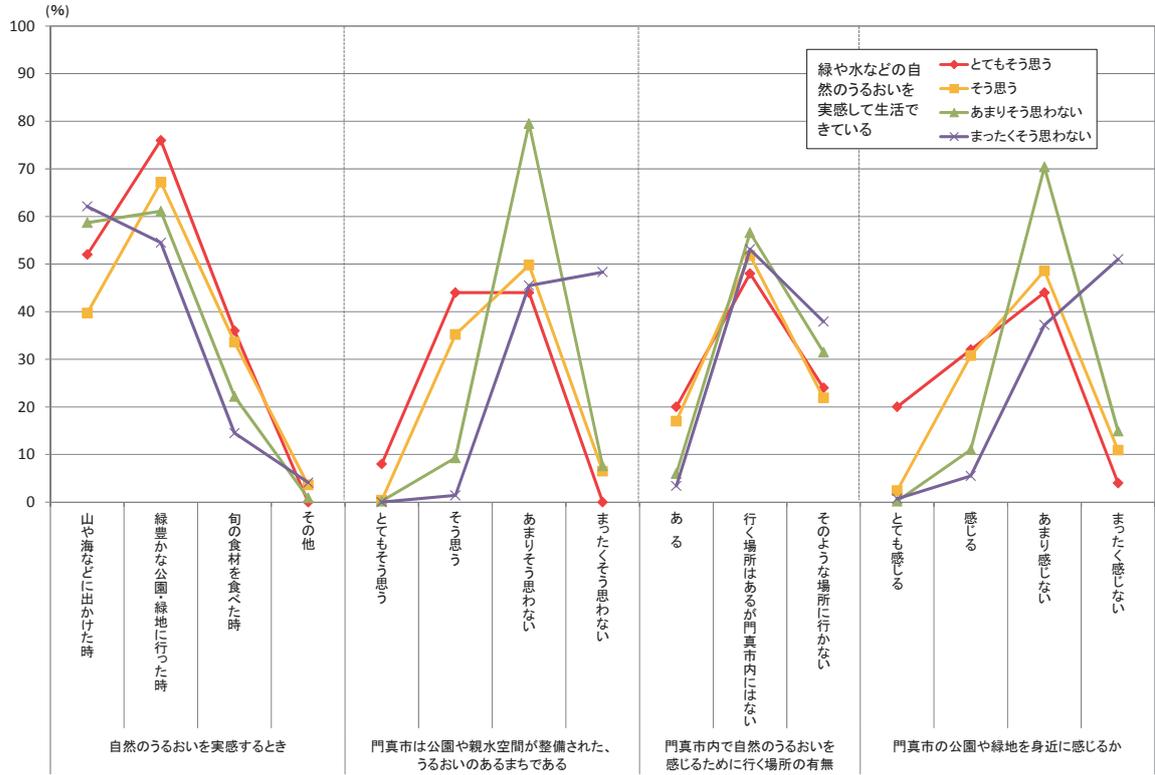
### ア. 構成要素の回答状況



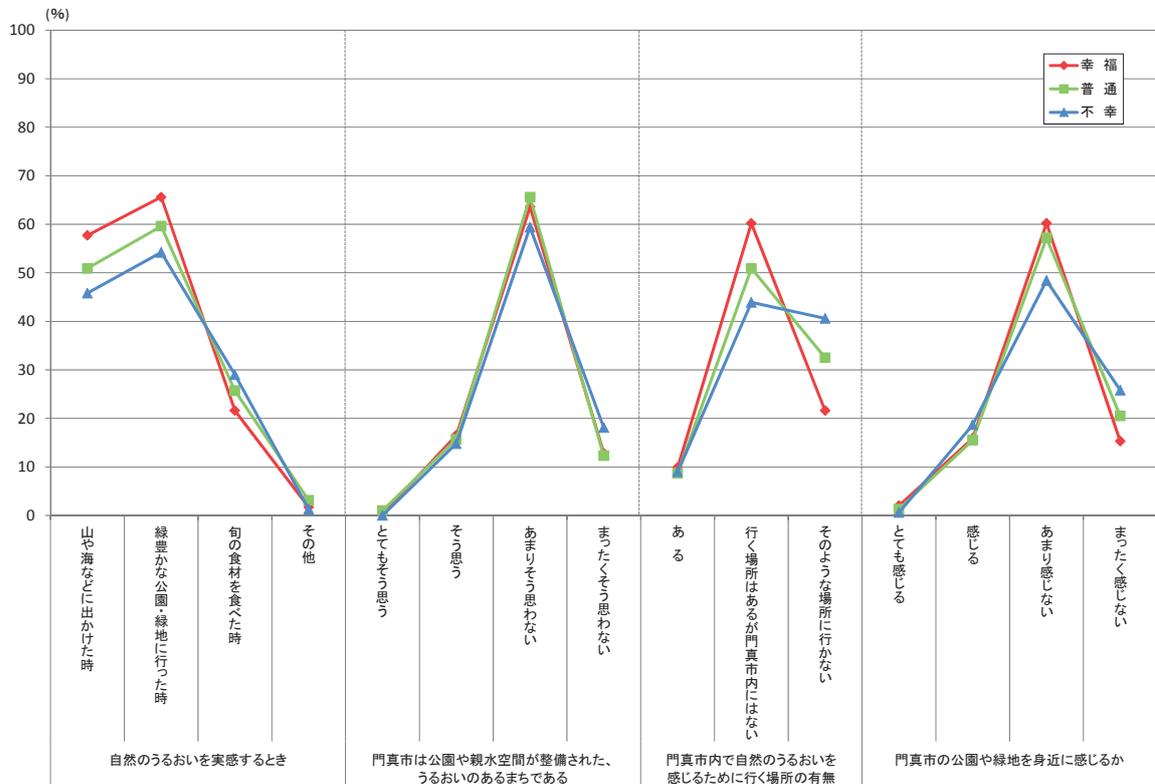
### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



### ③ ワークライフバランスの実感(構成要素⑱)

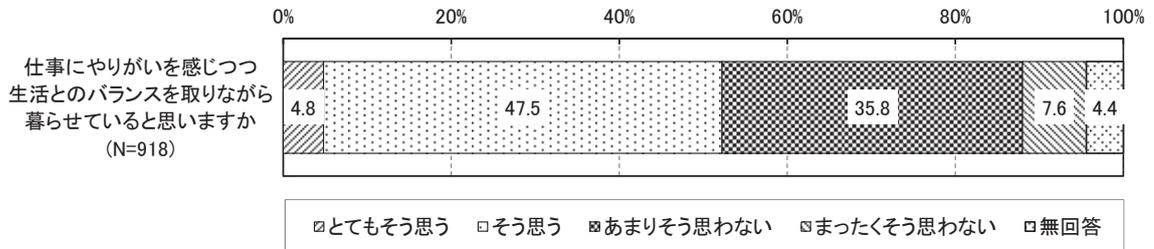
仕事にやりがいを感じつつ生活とのバランスを取りながら暮らしているか、というワークライフバランスの実感について問う設問に対しては、「とてもそう思う」「そう思う」という肯定的な回答を合わせると半数をやや超える。

構成要素と幸福度の関係を見ると、肯定的な回答をしている人は、幸福という人の比率が顕著に高い一方で、「まったくそう思わない」という人は不幸という人の比率が顕著に高い。

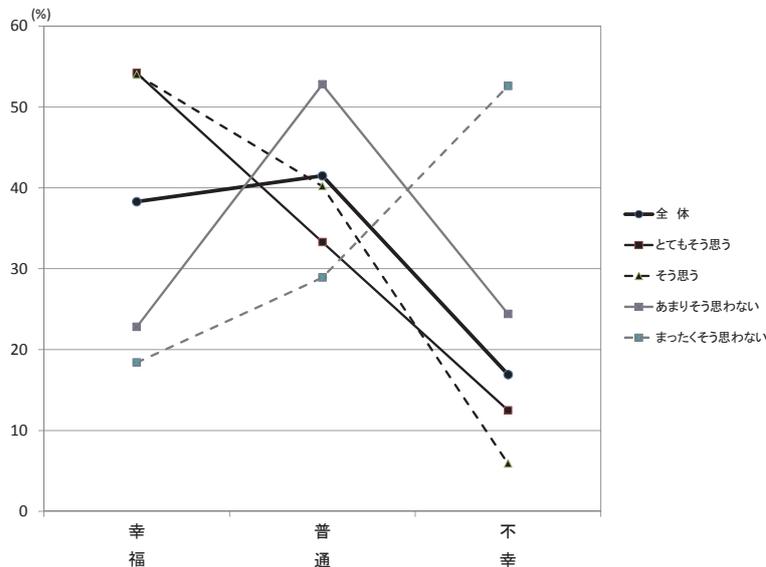
構成要素と決定要因の関係を見ると、肯定的な回答をしている人は、「門真市は働きやすく、生活とのバランスが取りやすいまちである」という問いに対しても肯定的な回答をしている比率が高い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、不幸という人において「家事を担う割合」という問いに対して、「すべて自分でやっている」という人の比率が顕著に高いが、これは単身者において幸福度が低い人の比率が高いためと思われる。

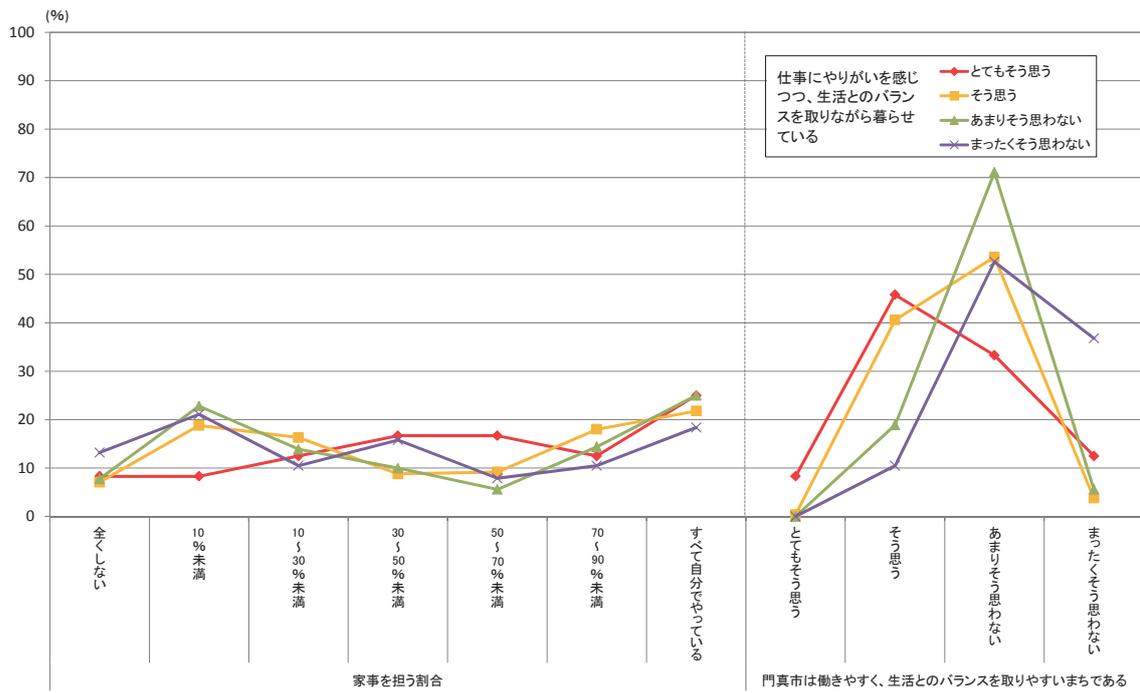
#### ア. 構成要素の回答状況



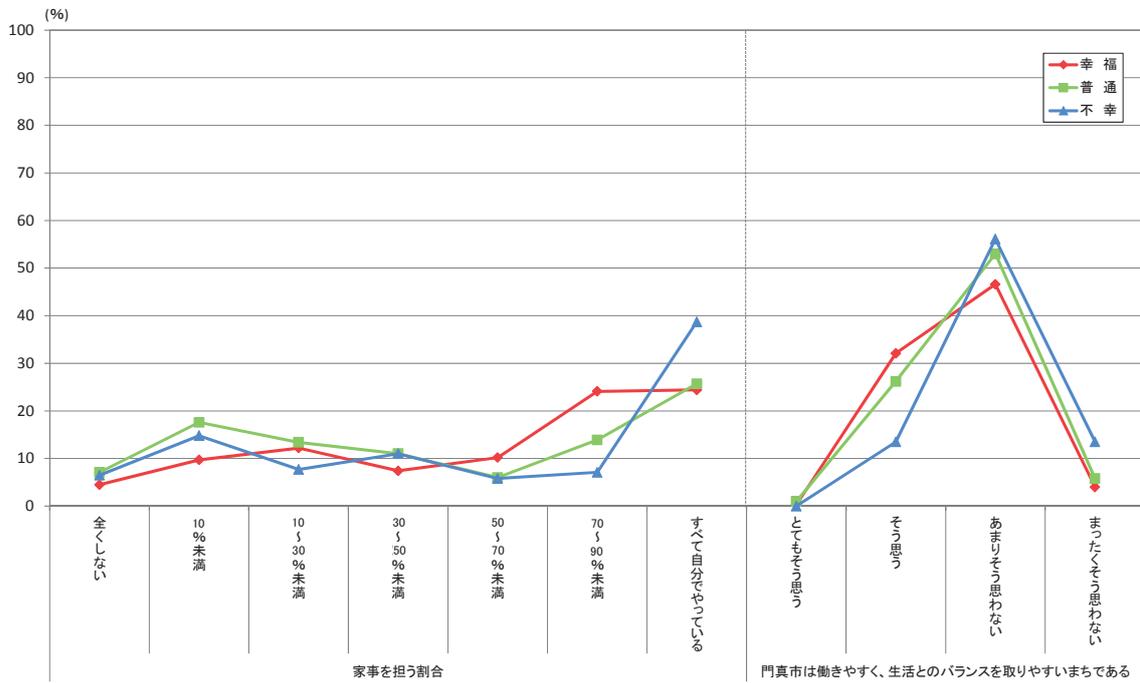
#### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係



#### ④ 産業の振興(構成要素⑱)

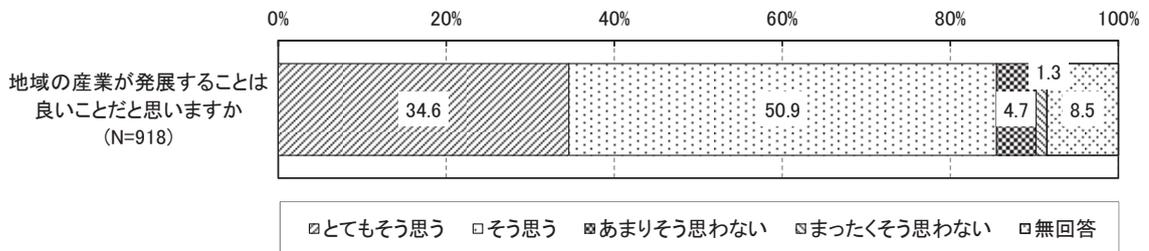
地域の産業が発展することは良いことだと思うかという問いに対しては、「とてもそう思う」という回答が3割を超え、「そう思う」を合わせると肯定的な回答をしている人は8割を超える。

構成要素と幸福度の関係を見ると、「まったくそう思わない」という人は、幸福という人の比率が顕著に低い。

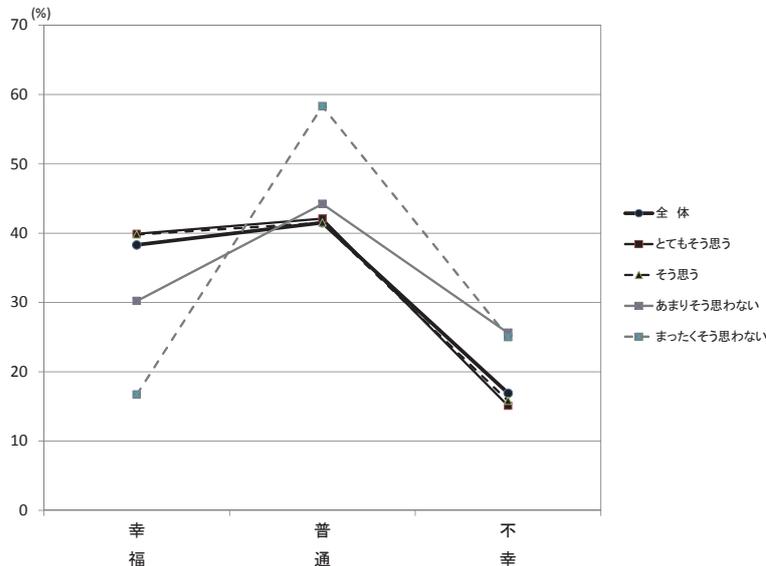
構成要素と決定要因の関係を見ると、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」という否定的な回答をしている人は、住まいの近くにもものづくりの工場があるかどうか「知らない、わからない」という人が多く、「門真市は産業の盛んな活力のあるまちである」という問いに対しても否定的な回答の比率が高い。

幸福度と決定要因の関係を見ると、これらの項目については幸福度の高低によって大きく傾向が異なっているものは見られない。

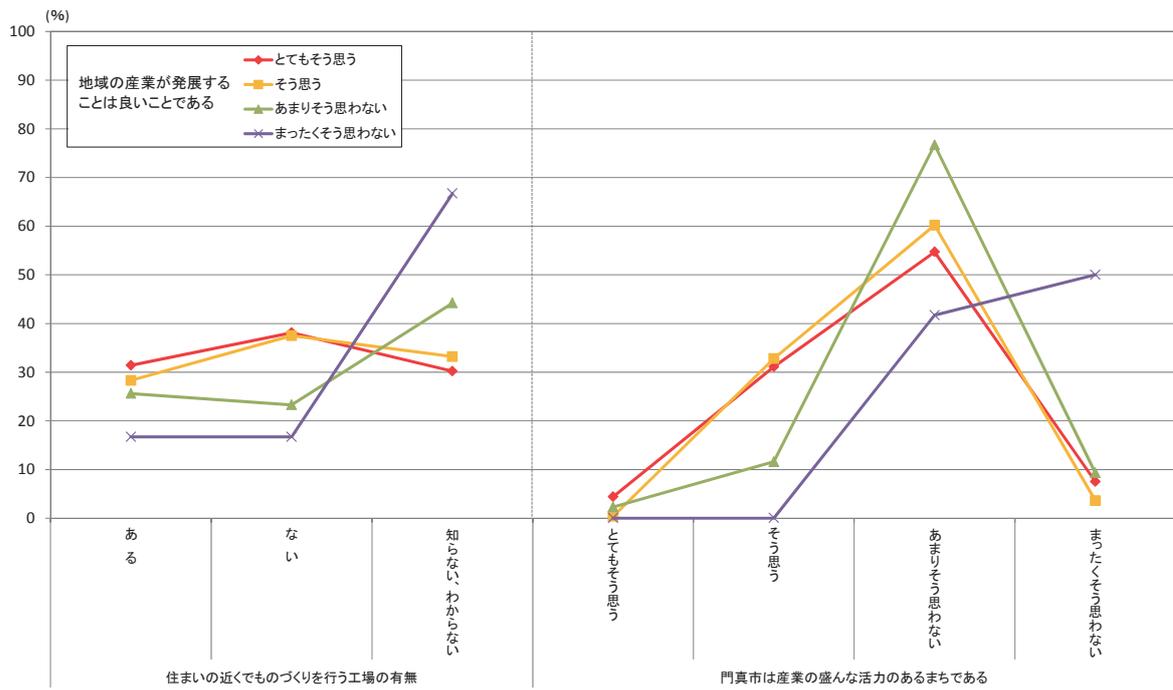
#### ア. 構成要素の回答状況



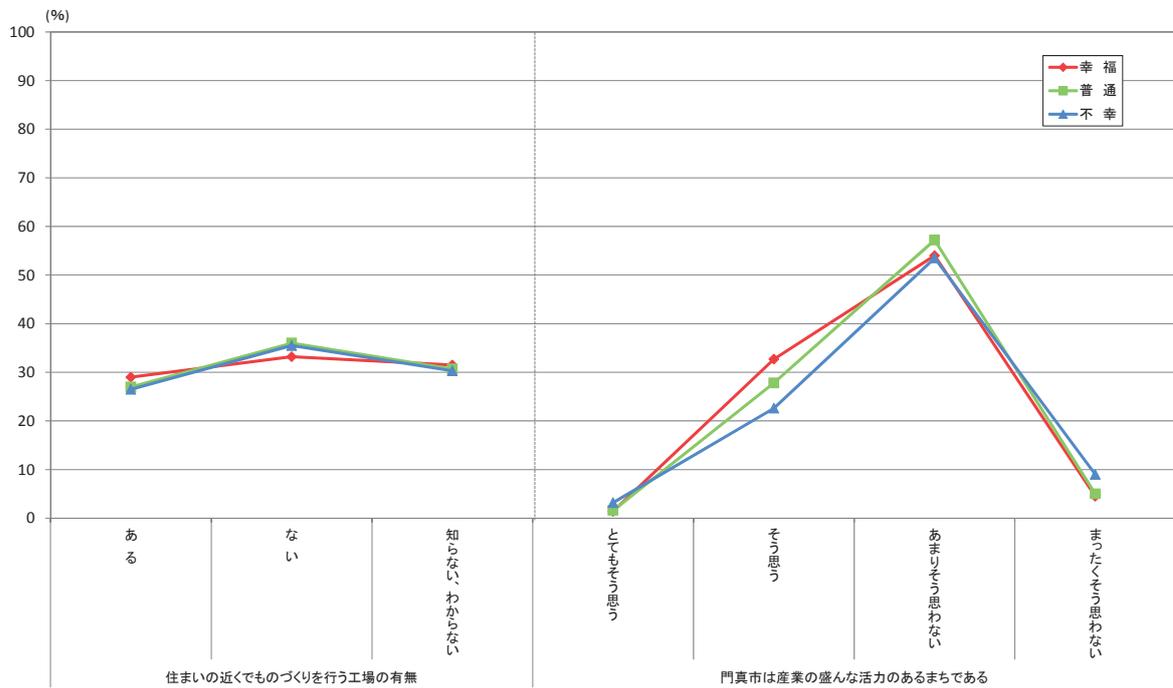
#### イ. 構成要素と幸福度の関係



## ウ. 構成要素と決定要因の関係



## エ. 幸福度と決定要因の関係

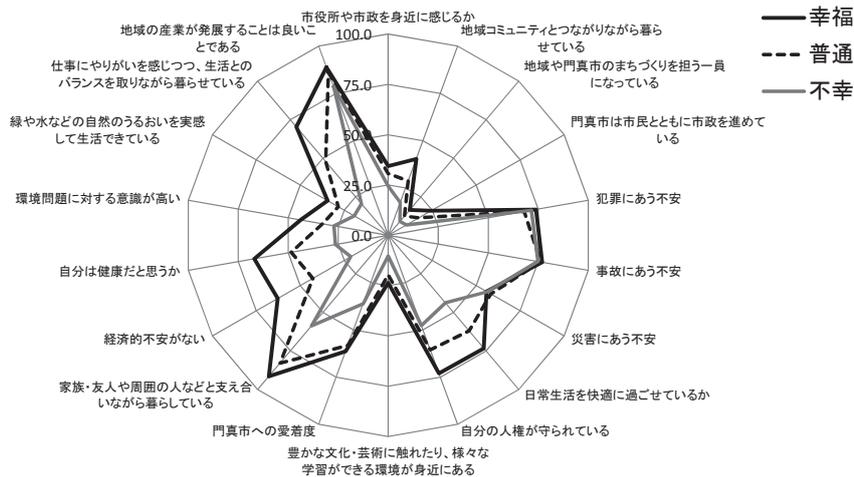


## 5. 構成要素ごとの幸福度の比較

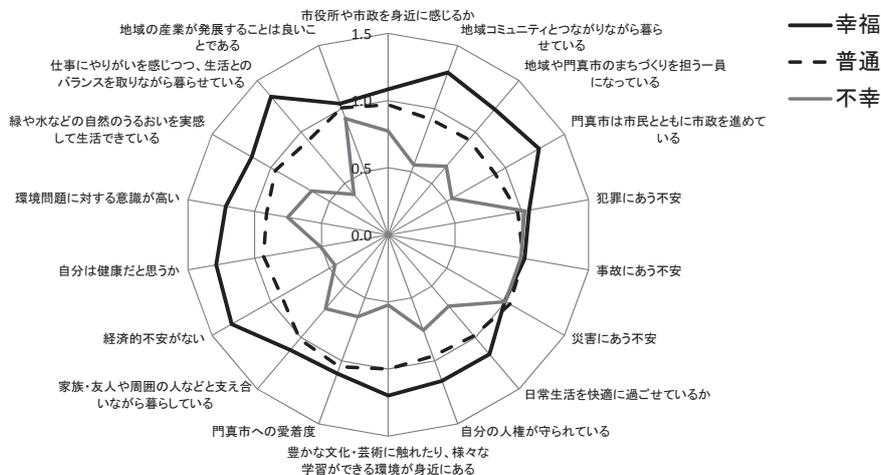
各構成要素間において、各人の幸福度の違いによる回答の傾向を比較すると、幸福という人において回答の比率が高いのは「家族・友人や周囲の人などと支え合いながら暮らしている」「地域の産業が発展することは良いことである」といった要素となっている。しかしながら、「地域の産業が発展することは良いことである」については、普通という人や不幸という人についても回答の比率が高いのに対し、「家族・友人や周囲の人などと支え合いながら暮らしている」については、幸福という人と不幸という人の間で回答に大きな差が出ている。

全体の回答状況状況を「1」として、各属性（幸福・普通・不幸）を指数化して、幸福度ごとの回答状況の差の大きさを見ると、「仕事にやりがいを感じつつ、生活とのバランスを取りながら暮らしている」「経済的不安がない」「豊かな文化・芸術に触れたり、様々な学習ができる環境が身近にある」「地域コミュニティとつながりながら暮らしている」「門真市は市民とともに市政を進めている」といった構成要素において、不幸という人は、幸福・普通という人に対して回答の比率がかなり低く、大きな傾向の差となって現れている。

(アンケートにおける回答の比率をそのまま示した実数)



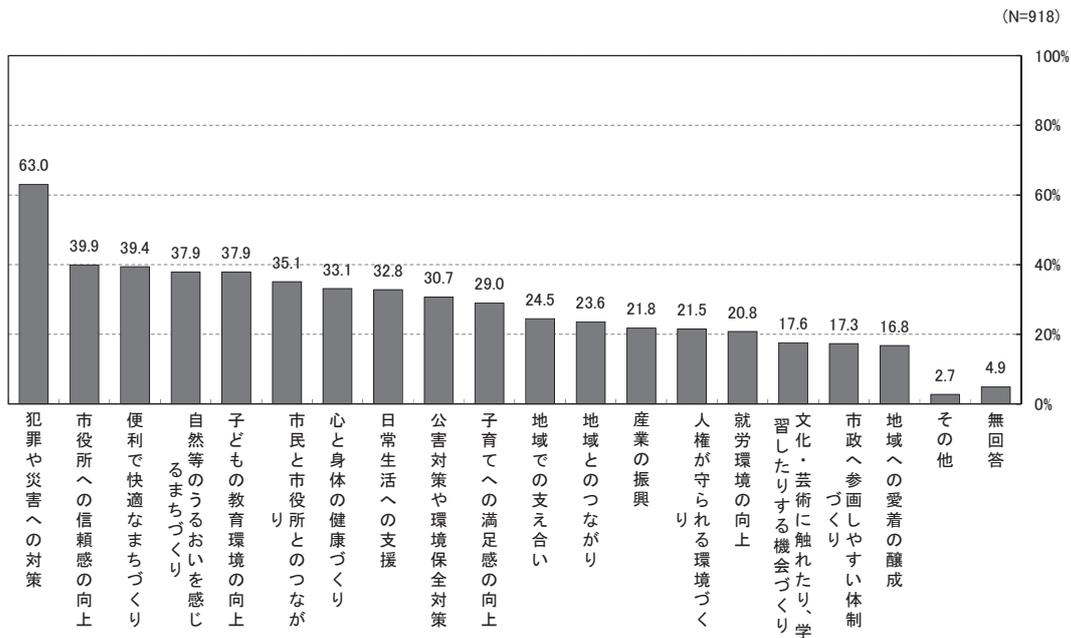
(全体の回答状況を「1」として、全体と各属性〈幸福・普通・不幸〉との差を指数化)



## 6. 幸福度の向上に向けて市役所が取り組むべきこと

アンケートの最後において、幸福度の向上に向けて、行政が取り組むべき項目について尋ねたところ、「犯罪や災害への対策」という回答の比率が群を抜いて高かった。ただし、この項目については、不幸という人において他の属性に比べて回答の比率が低くなっている。不幸という人が、他の属性に比べて特に回答の比率が高い項目としては「日常生活への支援」が挙げられる。逆に幸福という人においては、「子育てへの満足感の向上」「子どもの教育環境の向上」という項目において、他の属性に比べて回答の比率が高い。

市役所が取り組むべき項目



	調査数	門真市が市民の幸福度の向上のために取り組む必要があると思う事項																				
		市民と市役所とのつながり	市政へ参画しやすい体制づくり	市役所への信頼感の向上	地域とのつながり	子育てへの満足感の向上	子どもの教育環境の向上	犯罪や災害への対策	便利で快適なまちづくり	人権が守られる環境づくり	文化・芸術に触れたり、学習したりする機会づくり	地域への愛着の醸成	地域での支え合い	日常生活への支援	心と身体の健康づくり	公害対策や環境保全対策	自然等のうらおいを感じるまちづくり	就業環境の向上	産業の振興	その他	無回答	
全体	918	35.1	17.3	39.9	23.6	29.0	37.9	63.0	39.4	21.5	17.6	16.8	24.5	32.8	33.1	30.7	37.9	20.8	21.8	2.7	4.9	
幸福度	10点	52	<b>40.4</b>	<b>26.9</b>	42.3	<b>28.6</b>	<b>36.5</b>	<b>46.2</b>	<b>69.2</b>	44.2	<b>26.9</b>	<b>30.8</b>	<b>25.0</b>	<b>32.7</b>	34.6	<b>42.3</b>	<b>40.4</b>	<b>46.2</b>	23.1	23.1	5.8	9.6
	9点	52	34.6	17.3	<b>25.0</b>	21.2	32.7	<b>50.0</b>	<b>71.2</b>	44.2	25.0	19.2	17.3	25.0	30.8	28.8	30.8	<b>46.2</b>	<i>15.4</i>	<b>30.8</b>	3.8	5.8
	8点	127	<i>24.4</i>	13.4	43.3	<i>18.1</i>	<b>40.2</b>	<b>48.0</b>	66.1	<b>47.2</b>	22.8	20.5	21.3	23.6	<i>27.6</i>	34.6	35.4	<b>43.3</b>	19.7	<i>16.5</i>	1.6	1.6
	7点	121	39.7	17.4	38.8	25.6	28.9	<b>45.5</b>	62.8	37.2	<i>14.0</i>	21.5	14.0	24.8	<i>24.0</i>	<i>26.4</i>	<i>25.6</i>	38.8	24.8	<b>28.9</b>	1.7	1.7
	6点	82	<b>41.5</b>	18.3	<i>30.5</i>	26.8	29.3	37.8	<b>68.3</b>	40.2	<i>15.9</i>	17.1	15.9	29.3	<i>26.8</i>	32.9	<b>36.6</b>	39.0	<i>12.2</i>	<b>26.8</b>	1.2	-
	5点	234	34.6	16.2	<b>45.3</b>	23.9	25.6	34.2	65.4	38.5	23.1	16.2	16.7	24.8	30.3	34.6	32.9	34.2	20.9	18.4	3.8	6.0
	4点	65	30.8	18.5	<i>32.3</i>	23.1	27.7	36.9	60.0	35.4	<i>13.8</i>	20.0	15.4	21.5	<b>43.1</b>	29.2	26.2	<i>32.3</i>	20.0	21.5	3.1	1.5
	3点	78	39.7	14.1	43.6	28.2	<i>19.2</i>	<i>24.4</i>	60.3	38.5	<b>30.8</b>	<i>10.3</i>	<i>11.5</i>	20.5	<b>50.0</b>	34.6	25.6	37.2	23.1	19.2	3.8	2.6
	2点	36	36.1	22.2	41.7	27.8	25.0	33.3	<i>50.0</i>	33.3	19.4	13.9	<b>22.2</b>	22.2	<b>41.7</b>	<b>38.9</b>	27.8	33.3	<b>36.1</b>	<b>30.6</b>	-	8.3
	1点	27	37.0	<i>11.1</i>	<i>29.6</i>	<i>14.8</i>	<i>22.2</i>	<i>18.5</i>	<i>33.3</i>	<i>22.2</i>	<i>14.8</i>	-	14.8	<i>11.1</i>	37.0	<i>22.2</i>	<i>11.1</i>	<i>25.9</i>	<i>11.1</i>	<i>7.4</i>	3.7	<b>18.5</b>
0点	14	35.7	14.3	<b>57.1</b>	21.4	<i>21.4</i>	<i>28.6</i>	<i>35.7</i>	<b>50.0</b>	21.4	<i>7.1</i>	14.3	28.6	35.7	35.7	28.6	35.7	<b>35.7</b>	21.4	-	<b>21.4</b>	
幸福度	幸福	352	33.5	17.3	38.9	22.7	<b>34.9</b>	<b>47.2</b>	66.2	42.9	20.7	22.2	18.8	25.6	27.8	32.1	32.1	42.6	21.3	23.9	2.6	3.4
	普通	381	35.4	17.1	39.9	24.4	26.8	35.4	65.1	38.3	19.9	17.1	16.3	25.2	31.8	33.3	32.5	34.9	18.9	20.7	3.1	3.9
	不幸	155	38.1	15.5	41.9	25.2	<i>21.3</i>	<i>25.8</i>	<i>51.0</i>	35.5	24.5	<i>9.0</i>	14.8	20.0	<b>44.5</b>	33.5	<i>23.0</i>	34.2	25.2	20.0	2.6	8.4

全体よりも10ポイント以上大きい値については**白抜き**、5ポイント以上は**太字**、10ポイント以上小さい値については**斜体**、5ポイント以上は**斜体**で表記している。

### III. 門真市幸福度指標

先述のアンケート結果について、統計的な検定を行って幸福度との関係等の相関関係を確認した上で、既存の統計調査や総合計画における「達成度を測る指標」などを参考にしながら、幸福度指標の検討を行った。最終的には市役所庁内、および幸福度指標策定委員会の議論を通じて、門真市幸福度指標の体系を定めた（図表 III-1）。

幸福度指標は「概念指標」と「モニタリング指標」の二層構造とした。「概念指標」は幸福度の構成要素の考え方を背景としており、「これらの要素が市民の幸せにつながっているのではないか」という観点で策定したものである。これらが満たされているかどうかで、幸福度に高低が生じるという「概念」を示している。

これらの「概念」を具体的な行動等に落としこみ、検証可能なものにするために設定した指標が「モニタリング指標」である。これらは、アンケート調査において構成要素や幸福度との間に有意な相関があった決定要因や、決定要因に関連する既存統計のデータ、総合計画における「達成度を測る指標」などを参考に設定した。

「概念指標」の検討にあたっては、幸福度と構成要素との分析において、前述のとおり、災害、犯罪への不安は幸福度との間に相関は見られなかったが、市民の幸福度の向上に向けて市役所が取り組むべきことについては「犯罪や災害への対策」が最も多い回答であったため、指標として位置付けている。

また、構成要素のうち「市役所が身近に感じられる」と「市民が市役所を信頼している」の2つについては、それぞれが幸福度との相関があるものの、類似する要素も多く、概念の境界が不明確であることが、策定委員会で活発に議論され、結果として、「わがまちのことがよくわかり、市役所が信頼できる」という概念指標として、一本化した。

なお、策定した幸福度指標が市民に実感として受け入れていただけるものにするのが何より重要であると考えていたことから、最終的な指標体系については、策定委員会での委員の率直な発言を重視したことはもちろん、市民委員と事務局との意見交換会や勉強会を別途開催し、市民の率直な感想や意見の把握に努めた。

このことにより、概念指標の順番について、「幸福」とのつながりが実感しやすくなるよう、市民の生活に直結する概念を先に位置付けたり、指標の表現について、できるだけ平易で馴染みやすい表現を用いたりするなど、改めて全般的に見直しを図り、市民にとって、分かりやすく親しみやすい指標群となるように工夫した。

図表Ⅲ-1 門真市幸福度指標

門真市幸福度指標	
<b>概念指標①</b>	<b>心と体が健康である</b>
モニタリング指標	1 健康づくりをしやすい環境だと感じる人の割合 2 持病を抱えていない人の割合 3 朝食を毎日食べている人の割合 4 週2回以上運動する人の割合 5 睡眠が6時間以上取れている人の割合 6 お気に入りの散歩・ジョギングコースがある人の割合 7 たばこを吸っている人の割合 8 健康診断を毎年受けている人の割合 9 定期的に歯科健診を受けている人の割合 10 医療施設が整備され、医療サービスがいつでも利用しやすい環境ができていると感じる人の割合 11 救急医療体制が整っていると感じる人の割合 12 かかりつけ医がある人の割合
<b>概念指標②</b>	<b>仕事にやりがいを感じ、生活とのバランスが取れている</b>
モニタリング指標	1 働きやすく、生活とのバランスを取りやすいまちだと感じる人の割合 2 子育てや介護等の家庭の事情に応じて、バランスのとれた生活を過ごすことができていると感じる人の割合 3 家族で家事がバランスよく分担できていると思う人の割合 4 自由に過ごす時間がある人の割合
<b>概念指標③</b>	<b>日常生活に対する身体的・経済的不安が小さい</b>
モニタリング指標	1 日常生活に不安を抱える人に十分な支援ができていると感じる人の割合 2 経済的環境が恵まれていると思う人の割合 3 日常生活を送る上で経済的負担は感じていない人の割合 4 行政から経済的支援を受けていない人の割合 5 所得割納税義務者1人当たりの総所得額
<b>概念指標④</b>	<b>安心して楽しく子育てができる</b>
モニタリング指標	1 安心して楽しく子育てができる環境だと感じる人の割合 2 子育てについて「相談できる人が少なく孤独を感じる」ことがない人の割合 3 子育てについて、相談したり助けてくれる人がいる人の割合 4 子どもとよく遊びに行く公園がある人の割合 5 0歳から小学校6年生まででかかりつけ医を持っている人の割合 6 子育て応援ポータルサイト「すくすくかどまっ子ナビ」へのアクセス月間件数 7 ファミリー・サポート・センター登録者数 8 キッズサポーター登録者数 9 子ども女性比(ある年の0-4歳の人口(男女計)を、同年の15-49歳女性人口で割った値)
<b>概念指標⑤</b>	<b>子どもの健やかな成長を実感できる</b>
モニタリング指標	1 子どもが健やかに育つことの出来る環境であると感じる人の割合 2 自分の子どもが基本的な生活習慣が身についていると思う人の割合 3 自分の子どもが「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を身につけていると思う人の割合 4 朝ごはんを毎日食べる子どもの割合 5 家庭におけるコミュニケーションが取れていると感じる人の割合 6 公立小中学校の教育内容や学校施設等が良いと感じる人の割合 7 全国学力・学習状況調査における全国平均正答率に対する門真市平均正答率の割合(門真市平均/全国平均) 8 小学校・中学校の学校図書館の1人当たりの貸出点数 9 サタスタ事業の参加人数 10 まなび舎Kidsの年間延べ参加者数 11 不登校児童・生徒数(千人率)
<b>概念指標⑥</b>	<b>人と人との支え合いが実感できる</b>
モニタリング指標	1 互いに助け合い、支え合う地域のつながりがあるまちだと感じる人の割合 2 頼りになる親類・友人がいる人の割合 3 頼りにされている親類・友人がいる人の割合 4 電車やバスなどで座席を譲ったことがある人の割合 5 民生委員の顔と名前を知っている人の割合

門真市幸福度指標																															
<b>概念指標⑦</b>	<b>隣近所や地域コミュニティとのつながりがある</b> <table border="1"> <tr><td>モニタリング指標</td><td>1 地域や市民活動を通じてつながりが強い地域と感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>2 市役所が地域・市民活動を活性化するために努力していると感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>3 隣近所と付き合いがある人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>4 地域のまつりなどの行事に参加したことのある人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>5 自治会の加入率</td></tr> <tr><td></td><td>6 地域会議を知っている人の割合</td></tr> </table>	モニタリング指標	1 地域や市民活動を通じてつながりが強い地域と感じる人の割合		2 市役所が地域・市民活動を活性化するために努力していると感じる人の割合		3 隣近所と付き合いがある人の割合		4 地域のまつりなどの行事に参加したことのある人の割合		5 自治会の加入率		6 地域会議を知っている人の割合																		
モニタリング指標	1 地域や市民活動を通じてつながりが強い地域と感じる人の割合																														
	2 市役所が地域・市民活動を活性化するために努力していると感じる人の割合																														
	3 隣近所と付き合いがある人の割合																														
	4 地域のまつりなどの行事に参加したことのある人の割合																														
	5 自治会の加入率																														
	6 地域会議を知っている人の割合																														
<b>概念指標⑧</b>	<b>まちづくりを担っている一員であると実感できる</b> <table border="1"> <tr><td>モニタリング指標</td><td>1 ボランティアや市民活動への取組みが盛んなまちだと感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>2 NPOやボランティア活動に参加している人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>3 人・まち・元気事業(出前講座、市民講座、市民大学)に参加したことのある人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>4 協働によるまちづくり人材バンクの登録者数</td></tr> <tr><td></td><td>5 自治基本条例(の内容)を知っている人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>6 市民公益活動支援センターを知っている人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>7 市内に主たる事務所を置くNPO法人の法人数</td></tr> </table>	モニタリング指標	1 ボランティアや市民活動への取組みが盛んなまちだと感じる人の割合		2 NPOやボランティア活動に参加している人の割合		3 人・まち・元気事業(出前講座、市民講座、市民大学)に参加したことのある人の割合		4 協働によるまちづくり人材バンクの登録者数		5 自治基本条例(の内容)を知っている人の割合		6 市民公益活動支援センターを知っている人の割合		7 市内に主たる事務所を置くNPO法人の法人数																
モニタリング指標	1 ボランティアや市民活動への取組みが盛んなまちだと感じる人の割合																														
	2 NPOやボランティア活動に参加している人の割合																														
	3 人・まち・元気事業(出前講座、市民講座、市民大学)に参加したことのある人の割合																														
	4 協働によるまちづくり人材バンクの登録者数																														
	5 自治基本条例(の内容)を知っている人の割合																														
	6 市民公益活動支援センターを知っている人の割合																														
	7 市内に主たる事務所を置くNPO法人の法人数																														
<b>概念指標⑨</b>	<b>地域への愛着がある</b> <table border="1"> <tr><td>モニタリング指標</td><td>1 地域への愛着を育むのに熱心なまちだと感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>2 地域の祭など、伝統文化行事に参加したことのある人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>3 市内の歴史文化遺産を3つ以上知っている人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>4 地域に思い出のある場所やお気に入りの場所がある人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>5 今後も住み続けたいと思う人の割合</td></tr> </table>	モニタリング指標	1 地域への愛着を育むのに熱心なまちだと感じる人の割合		2 地域の祭など、伝統文化行事に参加したことのある人の割合		3 市内の歴史文化遺産を3つ以上知っている人の割合		4 地域に思い出のある場所やお気に入りの場所がある人の割合		5 今後も住み続けたいと思う人の割合																				
モニタリング指標	1 地域への愛着を育むのに熱心なまちだと感じる人の割合																														
	2 地域の祭など、伝統文化行事に参加したことのある人の割合																														
	3 市内の歴史文化遺産を3つ以上知っている人の割合																														
	4 地域に思い出のある場所やお気に入りの場所がある人の割合																														
	5 今後も住み続けたいと思う人の割合																														
<b>概念指標⑩</b>	<b>犯罪や事故・災害への不安が小さい</b> <table border="1"> <tr><td>モニタリング指標</td><td>1 犯罪や事故、災害の心配が少ないまちであると感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>2 犯罪にあたり、あいかけたりしたことがない人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>3 消費生活センターを知っている人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>4 青色防犯パトロール及び公用車が子どもの安全見守り活動のために巡回している姿を見た人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>5 LED型防犯灯の設置率</td></tr> <tr><td></td><td>6 防犯カメラの設置台数</td></tr> <tr><td></td><td>7 夜間に歩いて、道路が明るいと感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>8 刑法犯認知件数</td></tr> <tr><td></td><td>9 道路上で交通事故にあたり、ヒヤリとしたことがない人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>10 交通事故年間発生件数</td></tr> <tr><td></td><td>11 救急・救命講習延べ参加者数(守口市門真市消防組合)</td></tr> <tr><td></td><td>12 災害に対する備えをしている人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>13 自宅から近い指定避難場所を知っている人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>14 火災年間発生件数</td></tr> <tr><td></td><td>15 消防団員の防災士認証登録者数</td></tr> </table>	モニタリング指標	1 犯罪や事故、災害の心配が少ないまちであると感じる人の割合		2 犯罪にあたり、あいかけたりしたことがない人の割合		3 消費生活センターを知っている人の割合		4 青色防犯パトロール及び公用車が子どもの安全見守り活動のために巡回している姿を見た人の割合		5 LED型防犯灯の設置率		6 防犯カメラの設置台数		7 夜間に歩いて、道路が明るいと感じる人の割合		8 刑法犯認知件数		9 道路上で交通事故にあたり、ヒヤリとしたことがない人の割合		10 交通事故年間発生件数		11 救急・救命講習延べ参加者数(守口市門真市消防組合)		12 災害に対する備えをしている人の割合		13 自宅から近い指定避難場所を知っている人の割合		14 火災年間発生件数		15 消防団員の防災士認証登録者数
モニタリング指標	1 犯罪や事故、災害の心配が少ないまちであると感じる人の割合																														
	2 犯罪にあたり、あいかけたりしたことがない人の割合																														
	3 消費生活センターを知っている人の割合																														
	4 青色防犯パトロール及び公用車が子どもの安全見守り活動のために巡回している姿を見た人の割合																														
	5 LED型防犯灯の設置率																														
	6 防犯カメラの設置台数																														
	7 夜間に歩いて、道路が明るいと感じる人の割合																														
	8 刑法犯認知件数																														
	9 道路上で交通事故にあたり、ヒヤリとしたことがない人の割合																														
	10 交通事故年間発生件数																														
	11 救急・救命講習延べ参加者数(守口市門真市消防組合)																														
	12 災害に対する備えをしている人の割合																														
	13 自宅から近い指定避難場所を知っている人の割合																														
	14 火災年間発生件数																														
	15 消防団員の防災士認証登録者数																														
<b>概念指標⑪</b>	<b>便利で快適な生活ができる</b> <table border="1"> <tr><td>モニタリング指標</td><td>1 快適な生活基盤が整っていると感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>2 安心して水道を利用できていると感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>3 生活道路が安全で便利だと感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>4 下水道の人口普及率</td></tr> <tr><td></td><td>5 持ち家1住宅当たりの延べ床面積</td></tr> <tr><td></td><td>6 快適で利便性の高いまちだと感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>7 バスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいと感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>8 市道(私道を含む)の道路幅員充足延長</td></tr> <tr><td></td><td>9 主要駅の周辺がまちの顔としてにぎわいのある魅力的な環境だと感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>10 放置自転車の年間撤去台数</td></tr> <tr><td></td><td>11 不法投棄の年間処理件数</td></tr> </table>	モニタリング指標	1 快適な生活基盤が整っていると感じる人の割合		2 安心して水道を利用できていると感じる人の割合		3 生活道路が安全で便利だと感じる人の割合		4 下水道の人口普及率		5 持ち家1住宅当たりの延べ床面積		6 快適で利便性の高いまちだと感じる人の割合		7 バスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいと感じる人の割合		8 市道(私道を含む)の道路幅員充足延長		9 主要駅の周辺がまちの顔としてにぎわいのある魅力的な環境だと感じる人の割合		10 放置自転車の年間撤去台数		11 不法投棄の年間処理件数								
モニタリング指標	1 快適な生活基盤が整っていると感じる人の割合																														
	2 安心して水道を利用できていると感じる人の割合																														
	3 生活道路が安全で便利だと感じる人の割合																														
	4 下水道の人口普及率																														
	5 持ち家1住宅当たりの延べ床面積																														
	6 快適で利便性の高いまちだと感じる人の割合																														
	7 バスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいと感じる人の割合																														
	8 市道(私道を含む)の道路幅員充足延長																														
	9 主要駅の周辺がまちの顔としてにぎわいのある魅力的な環境だと感じる人の割合																														
	10 放置自転車の年間撤去台数																														
	11 不法投棄の年間処理件数																														
<b>概念指標⑫</b>	<b>自然・うるおいを実感できる</b> <table border="1"> <tr><td>モニタリング指標</td><td>1 緑豊かな公園・広場・緑地に行った時に自然のうるおいを実感する人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>2 うるおいを感じるために、市内に行く場所がある人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>3 公園・広場・緑地を身近に感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>4 自宅や所有地の周りに花や緑を栽培している人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>5 うるおいのあるまちだと感じる人の割合</td></tr> <tr><td></td><td>6 市民1人当たりの公園・広場・緑地の面積</td></tr> </table>	モニタリング指標	1 緑豊かな公園・広場・緑地に行った時に自然のうるおいを実感する人の割合		2 うるおいを感じるために、市内に行く場所がある人の割合		3 公園・広場・緑地を身近に感じる人の割合		4 自宅や所有地の周りに花や緑を栽培している人の割合		5 うるおいのあるまちだと感じる人の割合		6 市民1人当たりの公園・広場・緑地の面積																		
モニタリング指標	1 緑豊かな公園・広場・緑地に行った時に自然のうるおいを実感する人の割合																														
	2 うるおいを感じるために、市内に行く場所がある人の割合																														
	3 公園・広場・緑地を身近に感じる人の割合																														
	4 自宅や所有地の周りに花や緑を栽培している人の割合																														
	5 うるおいのあるまちだと感じる人の割合																														
	6 市民1人当たりの公園・広場・緑地の面積																														

門真市幸福度指標

<b>概念指標⑬ 文化芸術に触れたり、スポーツや学習したりする機会に恵まれている</b>	
モニタリング指標	1 文化的なまちだと感じる人の割合
	2 文化芸術を鑑賞・体験したことがある人の割合
	3 生涯学習活動を行っている人の割合
	4 市内の文化施設を利用したことがある人の割合
	5 文化サークル活動の登録団体数
	6 図書館年間貸出点数
	7 市内のスポーツ施設を利用したことがある人の割合
	8 スポーツサークル活動の登録団体数
<b>概念指標⑭ 平和で人権が守られている</b>	
モニタリング指標	1 人権が尊重され、共生社会の形成が進んでいると感じる人の割合
	2 自分が他人の人権を尊重していると思う人の割合
	3 人権や平和に関する講演や勉強会へ参加したことがある人の割合
	4 人権にかかる講座・講演会の年間参加者数
	5 (仮称)門真市女性サポートセンターの利用者数
	6 男女共同参画が進んでいると感じる人の割合
	7 市役所の管理職員における女性比率(課長級以上)
	8 地方自治法上の委員会及び附属機関における女性委員の比率
	9 非核平和講演会の年間参加者数
	10 頼りになる親類・友人がいる人の割合
	11 頼りにされている親類・友人がいる人の割合
<b>概念指標⑮ 環境保全に対する意識が高い</b>	
モニタリング指標	1 環境にやさしい活動をしている人の割合
	2 公害の少ない環境の良いまちだと感じる人の割合
	3 ごみの減量や省エネルギー対策、リサイクルの取組が行われていると感じる人の割合
	4 ノーマイカーデーは車を利用しない人の割合
	5 市域の1人当たりごみの年間排出量
	6 一般廃棄物の排出量
	7 市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量
	8 地域清掃活動の登録団体数
<b>概念指標⑯ 地域の産業が盛んで活力がある</b>	
ンモニタリング指標	1 企業連携に伴う新規事業の創出数
	2 有効求人倍率
	3 法人税割額
<b>概念指標⑰ わがまちのことがよくわかり、市役所が信頼できる</b>	
モニタリング指標	1 「広報かどま」を読んでいる人の割合
	2 「議会だより」を読んでいる人の割合
	3 市長の顔と名前を知っている人の割合
	4 知っている市議がいる人の割合
	5 市のイメージキャラクター「ガラスケ」を知っている人の割合
	6 パブリックコメント制度を知っている市民の割合
	7 ホームページのアクセス月間件数
	8 市公式ツイッターのフォロワー数
	9 行政情報が分かりやすく提供されていると感じる人の割合
	10 市政に市民意見が十分反映されていると感じる人の割合
	11 各種市民相談があることを知っている人の割合
	12 迅速で明るく、わかりやすい窓口サービスがなされていると感じる人の割合
	13 組織がわかりやすく、市民にとって利用しやすいものとなっていると感じる人の割合
	14 市役所職員の対応・行動が「良い」と感じる人の割合
	15 無駄を省いた、健全で効率的な財政運営がなされていると感じる人の割合
	16 市長選挙の投票率
	17 市議会議員選挙の投票率
	18 市民ご意見番制度を知っている人の割合

## IV. 門真市幸福度指標の策定とそれに係る調査の意義

前述のように設定した幸福度指標であるが、策定の意義として、特筆すべき点を以下に2点挙げる。

### 1. これまでの施策評価では評価されにくかった施策への注目

「幸福度」を中心にしたアンケート調査により、これまでの施策評価において、あまり注目されることのなかった部分で特徴的なデータを得ることができた。

市民参加や地域コミュニティの活性化は、市政への「満足度」や今後の「重要度」を測るこれまでの施策評価の結果からは、それほど重要な施策として注目されることのない分野であったといえる。同時期に実施した総合計画の進行管理に係るアンケート調査では、「自治会活動や市民活動が活性化するような環境ができてきていること」という項目は、「満足度」と「重要度」の回答結果から算出した評価指数において、46施策中34番めの順位であり、市民全体としては高い関心を寄せていると  
は言い難い。

しかしながら、幸福度の構成要素において、「地域コミュニティとのつながりがあると感じられる」や「まちづくりを担う一員になっていると感じられる」といった要素については、幸福度との間に相関が見られ、幸福という人と不幸という人の間に大きな差がある要素となっている。幸福度の向上という見地からは、注目すべき要素となり、施策を検討する上での新たな切り口を示している。

### 2. 政策の対象となりにくかった属性への注目

今回の調査において、幸福度の低さが目立った属性として「35歳未満の男性」「単身男性」「ひとり親家庭の男性」「非正規雇用の男性」が挙げられる。一方で、幸福度の高い属性として男女とも高かったのは、「夫婦と子どもと親」という三世代同居している人であった。男性、とりわけ若い男性は、健康で体力も経済力もある存在として、行政による支援施策の対象とされにくい属性であり、三世代同居については、これまで政策的なテーマとして必ずしも注目が高いものではなかったといえる。ただ、今回の調査の結果、これらの属性は他の属性に比べてかなり異なる幸福度を示しており、幸福度の向上を図っていくためには、これらの属性にどのようなアプローチをしていくか、検討していく必要があるだろう。

# 資料編

- ・門真市幸福度指標策定委員会諮問
- ・門真市幸福度指標策定委員会答申
- ・門真市幸福度指標策定経過
- ・門真市附属機関に関する条例（抜粋）
- ・門真市附属機関に関する条例施行規則（抜粋）
- ・門真市幸福度指標策定委員会委員名簿

## 門真市幸福度指標策定委員会諮問

門政企第 332 号  
平成 26 年 8 月 28 日

門真市幸福度指標策定委員会委員長 様

門真市長 園部 一成

門真市幸福度指標策定委員会について（諮問）

門真市幸福度指標の策定に際し、貴委員会の意見を求めます。

## 門真市幸福度指標策定委員会答申

門 幸 指 第 4 号  
平成 27 年 1 月 23 日

門真市長 園部 一成 様

門真市幸福度指標策定委員会  
委員長 諸富 徹

門真市幸福度指標の策定について（答申）

平成 26 年 8 月 28 日付け門政企第 332 号で諮問された、門真市幸福度指標の策定について、下記のとおり答申します。

記

門真市幸福度指標（案）については、別紙のとおりとする。

## 「門真市幸福度指標（案）」の答申にあたって

門真市幸福度指標策定委員会は、平成 26 年 8 月 28 日に、門真市長から門真市幸福度指標の策定について諮問を受け、審議・検討を進めてきました。その一連の審議・検討の結果を下記の通りまとめ、「門真市幸福度指標（案）」としてまとめましたので、ここに答申いたします。

基礎自治体における幸福度指標の策定は、まだ先行事例が少なく、理論的背景をもとに取りまとめられた門真市の幸福度指標は、全国において先進的な事例になるものと考えられます。本答申をもとに、門真市政において幸福度指標を十分に活用し、市民の幸福度の向上に向け取り組みを進め、持続可能な「人・まら“元気”体感都市 門真」の実現に努力されることを強く希望します。

### 記

#### ① 門真市幸福度指標検討の経緯

平成 26 年 8 月 28 日に市長から諮問を受け、事務局より提示された「門真市幸福度指標案」について、3 回にわかって審議を行いました。委員会における以下の主要な意見を盛り込み、「門真市幸福度指標（案）」として取りまとめました。

【門真市幸福度指標策定委員会（会の経過）】

	開催日	審議内容
第1回	平成26年8月28日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長、副委員長の選出について</li> <li>・諮問</li> <li>・会議の公開について</li> <li>・幸福度指標に関する、門真市におけるこれまでの検討経緯について</li> <li>・幸福度市民アンケート調査の結果について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
第2回	平成26年10月28日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の幸福度に関するアンケート調査結果の報告について</li> <li>・門真市幸福度指標（案）の検討について</li> </ul>
第3回	平成27年1月23日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民の幸福度に関するアンケート調査」の調査結果について</li> <li>・門真市幸福度指標（案）の答申案について</li> <li>・門真市幸福度指標の市政への活用について</li> <li>・答申</li> </ul>

【幸福度指標策定に向けた主な委員会意見】

- ・ 概念指標は、市民の皆さんが門真市のこれからの姿をイメージでき、関心を持てるものにしてください。
- ・ 概念指標の設定にあたっては、「これが感じられたら幸せか」と反響しながる、市民の実感に即した表現になるよう、工夫してください。
- ・ 概念指標の中には、幸福度と統計上の相関があったとしても、市民の実感に即してなじみにくい指標もあることから、指標の順序や表現については、十分に検討してください。
- ・ 指標については、独自性にはこだわりすぎず、他市と相比較可能な項目を入れておくようにしてください。

② 策定された幸福度指標等の取扱いについて

策定委員会では、指標案だけでなく、指標の今後の取り扱い等についても意見交換がなされたので、下記の意見を踏まえて、幸福度指標に対する市民への周知と、市政への活用を図ってください。

【指標の取扱いについての主な委員会意見】

- ・ 指標があることで、目指すまちの姿が明確になって良いが、この指標が市民にどう理解され、地域にどうつながっていくかが大切なので、市役所はこのことを十分に意識して具体的な取り組みを進めてください。
- ・ 幸福度指標については、中間見直しが行われを丹波市の3次総合計画のもとで、指標の進捗管理を図るPDCAサイクルをしっかりと確立して運用してください。
- ・ 本委員会の成果の公表にあたっては、幸福度指標がどういうものか、市民におかりやすい形で簡易グラフ、資料などを示してください。

## 門真市幸福度指標策定経過

年 月 日	事 項
平成 26 年	
1 月 29 日	第 1 回 門真市幸福度指標調査研究会 講演 「包括的な富と持続可能性指標」 京都大学経済研究所 准教授 佐藤 正弘 氏 議題 ・国内各自治体における幸福度指標の導入状況について ・「市民幸福実感意識調査（案）」について ・今後の展開について
3 月 28 日	第 2 回 門真市幸福度指標調査研究会 講演 「持続可能性と幸福度」 京都大学大学院 経済学研究科 教授 諸富 徹 氏 議題 ・市民意識調査について ・平成 25 年度研究会の総括
4 月 23 日	第 3 回 門真市幸福度指標調査研究会 議題 ・市民意識調査における調査項目について ・今後の取組み及びスケジュールについて
7 月 23 日	第 1 回 門真市幸福度指標策定委員会ワーキンググループ 議題 ・幸福度指標の導入に至った経緯について ・幸福度指標調査研究会の経過について ・本WGで取り組む課題について
8 月 28 日	第 1 回 門真市幸福度指標策定委員会 議題 ・委員長、副委員長の選出について ・諮問 ・会議の公開について ・幸福度指標に関する、門真市におけるこれまでの検討経緯について ・幸福度市民アンケート調査の結果について ・今後のスケジュールについて
9 月 3 日	第 2 回 門真市幸福度指標策定委員会ワーキンググループ 議題 ・第 1 回幸福度指標策定委員会の報告について ・幸福度市民アンケート調査の結果について ・幸福度指標（案）の検討について

年 月 日	事 項
9月8日	第3回 門真市幸福度指標策定委員会ワーキンググループ 議題 ・幸福度指標（素案）の検討について
10月24日	門真市幸福度指標策定委員会 公募市民委員による意見交換会
10月28日	第2回 門真市幸福度指標策定委員会 議題 ・市民の幸福感に関するアンケート調査結果の報告について ・門真市幸福度指標（案）の検討について
平成27年	
1月23日	第3回 門真市幸福度指標策定委員会 議題 ・「市民の幸福感に関するアンケート調査」の主な調査結果について ・門真市幸福度指標（案）の答申案について ・門真市幸福度指標の市政への活用について ・答申
2月9日	庁議 ・「門真市幸福度指標」（案）にかかる審議
2月23日	「門真市幸福度指標」の決定
3月13日	門真市幸福度指標策定委員会 公募市民委員による勉強会

## 門真市附属機関に関する条例(抜粋)

○門真市附属機関に関する条例

平成25年3月28日門真市条例第3号

門真市附属機関に関する条例

附属機関に関する条例（昭和33年条例第6号）の全部を改正する。

（設置）

**第1条** 法律若しくはこれに基づく政令又は別に条例の定めのあるものを除くほか、執行機関の附属機関は、別表に定めるとおりとする。

（委任）

**第2条** 法律若しくはこれに基づく政令又は別に条例の定めのあるものを除くほか、別表に規定する附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、当該附属機関の属する執行機関が定める。

**附 則**

（施行期日）

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

**別表（第1条関係）**

1 市長の附属機関

名称	担任する事務
門真市幸福度指標策定委員会	門真市幸福度指標を策定するために必要な事項についての調査審議に関する事務

## 門真市附属機関に関する条例施行規則(抜粋)

○門真市附属機関に関する条例施行規則

平成25年3月29日門真市規則第16号

門真市附属機関に関する条例施行規則

(趣旨)

**第1条** この規則は、法律若しくはこれに基づく政令又は別に条例若しくは規則の定めのあるものを除くほか、門真市附属機関に関する条例（平成25年門真市条例第3号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

**第2条** 条例別表1の項に規定する附属機関（以下「附属機関」という。）の組織、委員の定数、構成及び任期並びに庶務担当機関は、別表に定めるとおりとする。

(委嘱又は任命)

**第3条** 附属機関の委員（以下「委員」という。）は、別表の委員の構成の欄に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

2 委員は、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長等及び副会長等)

**第4条** 別表の組織の欄に掲げる会長又は委員長（以下「会長等」という。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長等」という。）は、委員の互選により定める。

2 会長等は、会務を総理し、当該附属機関を代表する。

3 副会長等は、会長等を補佐し、会長等に事故があるとき又は会長等が欠けたときは、その職務を代理する。

4 副会長等を置かない附属機関において当該附属機関の会長等に事故があるとき又は会長等が欠けたときは、会長等があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

**第5条** 附属機関の会議（以下「会議」という。）は、会長等が招集し、その議長となる。ただし、会長等が定められていないときは、市長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

**第6条** 会長等が必要と認めるときは、附属機関に専門的事項を分掌させるため、部会を置くことができる。

2 前2条の規定は、部会について準用する。

3 前項に定めるもののほか、部会の組織及び運営に関し必要な事項は、会長等が定める。

(関係者の出席等)

**第7条** 附属機関は、必要に応じて関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(守秘義務)

**第8条** 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(委任)

**第9条** この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

## 附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

別表 (第2条—第4条関係)

名称	組織	委員の定数	委員の構成	委員の任期	庶務担当機関
門真市幸福度指標 策定委員会	委員長 副委員長	25人以内	(1) 学識経験者 (2) 市民の代表 (3) 本市の職員	1年	総合政策 部企画課

## 門真市幸福度指標策定委員会委員名簿

	氏 名	備 考	
1号委員 学識経験者 (3名)	窪田 好男	京都府立大学公共政策学部准教授	
	清水 万由子	龍谷大学政策学部准教授	○
	諸富 徹	京都大学大学院経済学研究科教授	◎
2号委員 市民の代表 (6名)	礪部 嘉嗣	公募市民	
	勝川 喜美子	公募市民	
	亀井 一夫	公募市民	
	郷頭 博美	公募市民	
	田嶋 清見	公募市民	
	中島 麗子	公募市民	
3号委員 本市の職員 (8名)	市原 昌亮	門真市市民生活部長	
	河合 敏和	門真市こども未来部長	
	柴田 昌彦	門真市生涯学習部長	
	下治 正和	門真市保健福祉部長	
	中道 寿一	門真市まちづくり部長	
	西口 孝	門真市上下水道局長	
	藤井 良一	門真市学校教育部長	
	森本 訓史	門真市総務部長	

※50音順

◎：委員長    ○：副委員長





門真市幸福度指標について（概要版）

平成 27 年 3 月

発行／門真市

〒571-8585 門真市中町 1 番 1 号

電話：06-6902-1231

編集／門真市総合政策部 企画課